

大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町の奄美大島4町村は、男女共同参画計画策定に向けて住民の意識や現状を把握するため、共同で調査を実施しました。

男女共同参画に関する 住民意識調査

報告書

2024年3月

瀬戸内町

目 次

I 調査の概要	1	4 職業生活について	35
1 調査の目的	1	(1) 職場における性別による格差の状況	35
2 調査の方法	1	(2) 女性が職業生活で能力を発揮するために必要なこと	37
3 回答者の属性	1		
4 本書を読むに当たったの注意事項	4		
5 主に参考とした調査	4	5 ジェンダーに起因する暴力について	39
		(1) 交際相手や元交際相手から暴力を受けた経験	39
II 調査結果		(2) 配偶者や元配偶者からの暴力を受けた経験	41
1 男女の地位の平等感と固定的な性別役割分担意識について	5	(3) 暴力を受けたときの相談先	45
(1) 各分野の男女の地位の平等感	5	6 男性の生きづらさや不便さについて	47
(2) 男女の地位が不平等と感じていること	13	(1) 男性としての生きづらさや不便さの有無	47
(3) 女性が職業を持つことに対する考え	16	(2) 男性として生きづらさや不便さを感じること	49
(4) 固定的な性別役割分担意識	18	(3) 男性として生きづらさや不便さを感じたエピソード	50
(5) 性別による固定的な役割分担を肯定する理由	20		
(6) 性別による固定的な役割分担を否定する理由	22	7 生活上の困難について	51
2 家庭生活・地域活動について	24	(1) 相談窓口に必要な配慮	51
(1) 家事、育児、介護・看護、地域活動における夫婦の役割分担	24	(2) 生活上の不安や困難	53
(2) 男性が家庭や地域活動に積極的に参加するために必要なこと	30	8 役場の男女共同参画施策について	61
		男女共同参画社会を実現するために役場が力を入れていくべきこと	
3 子育てに関する考え方について	32	9 男女共同参画社会の実現に向けての意見・要望	64
		調査票	67

I 調査の概要

1 調査の目的

住民の男女平等感やジェンダーに関する意識、家庭や職場、地域における現状、抱えている困難な問題を把握し、男女共同参画社会の形成に向けた施策や地域づくりの参考にする。

2 調査の方法

- (1) 対象 18歳以上で瀬戸内町に居住する住民
- (2) 抽出方法 住民基本台帳に基づく無作為抽出
- (3) 回収状況 配布数：2,600
回収数：611（回収率 23.5%）
有効回収数：607（有効回収率 23.3%）
- (4) 調査期間 2023年8月1日～31日
- (5) 調査方法 大和村、宇検村、龍郷町の3町村と同じ調査票により共同で実施し、郵送による配布・回収

3 回答者の属性

(1) 性別

性別は、「女性」が50.2%、「男性」が47.6%となっている。

図表 1-1 性別

瀬戸内町		女性	男性	それ以外	無回答
今回調査	(n=607)	50.2%	47.6%	0.0%	2.1%
前回調査	(n=473)	52.2%	44.6%	0.0%	3.2%
奄美大島4町村	(n=2,147)	51.7%	46.1%	0.1%	2.1%
県調査	(n=2,094)	57.3%	41.8%	0.0%	0.9%
内閣府調査	(n=2,847)	53.9%	46.1%	0.0%	0.0%

(2) 年代

年代は、「60代」(25.2%)の割合が最も高く、次いで「70代」(20.1%)、「50代」(15.2%)。60代から年代が下がるほど構成比は低くなっている。

図表 1-2 年代

瀬戸内町		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	
今回調査	総計	(n=607)	4.9%	7.9%	12.0%	15.2%	25.2%	20.1%	8.6%	6.1%
	女性	(n=305)	5.2%	10.2%	13.1%	13.4%	26.2%	18.0%	11.1%	2.6%
	男性	(n=289)	4.8%	5.9%	11.4%	17.6%	25.3%	23.2%	6.2%	5.5%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	5.0%	7.7%	11.9%	15.1%	22.7%	20.9%	11.1%	5.5%
	女性	(n=1,109)	5.2%	8.7%	12.4%	15.0%	23.6%	19.7%	12.2%	3.3%
	男性	(n=990)	4.9%	6.9%	11.7%	16.1%	22.7%	23.1%	10.1%	4.4%
県調査	総計	(n=2,094)	6.4%	9.0%	15.1%	14.9%	23.6%	30.0%		0.9%
	女性	(n=1,200)	7.5%	9.6%	16.1%	15.9%	23.1%	27.2%		0.3%
	男性	(n=875)	5.2%	8.2%	14.2%	13.8%	24.9%	33.6%		0.1%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	9.5%	10.8%	15.6%	17.6%	17.7%	19.1%	9.7%	0.0%

(3) 結婚の状況

結婚の状況については、「結婚している」人（60.8%）の割合が最も高く、次いで「離別・死別」（17.5%）、「未婚」（15.3%）。

図表 1-3 結婚の状況

瀬戸内町			結婚している	事実婚	離別・死別	未婚	無回答
今回調査	総計	(n=607)	60.8%	1.0%	17.5%	15.3%	5.4%
	女性	(n=305)	59.3%	1.0%	26.2%	11.1%	2.3%
	男性	(n=289)	64.7%	1.0%	9.0%	20.4%	4.8%
奄美大島4町村	総計	(n=2,147)	62.4%	1.2%	17.0%	14.2%	5.3%
	女性	(n=1,109)	60.6%	1.2%	22.8%	12.2%	3.2%
	男性	(n=990)	66.7%	1.2%	11.2%	17.0%	3.9%
県調査	総計	(n=2,094)	70.4%	0.9%	13.8%	14.0%	1.0%
	女性	(n=1,200)	65.8%	1.2%	17.7%	15.3%	0.2%
	男性	(n=875)	78.1%	0.5%	8.5%	12.6%	0.5%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	65.8%	1.9%	12.8%	19.2%	0.2%

(4) 世帯構成

世帯構成については、「夫婦世帯」の人（38.9%）の割合が最も高く、次いで「二世帯世帯」（28.8%）、「単身世帯」（21.7%）。

図表 1-4 世帯構成

瀬戸内町		単身世帯	夫婦世帯	二世帯世帯	三世帯世帯	その他	無回答
今回調査	(n=607)	21.7%	38.9%	28.8%	1.0%	1.6%	7.9%
前回調査	(n=473)	22.6%	32.8%	33.8%	3.4%	5.5%	1.9%
奄美大島4町村	(n=2,147)	20.1%	38.8%	28.5%	1.5%	2.0%	9.0%
県調査	(n=2,094)	13.8%	41.2%	37.4%	3.5%	1.5%	2.6%

(5) 夫婦の就労状況

夫婦の就労状況については、男女とも「二人とも仕事がある」（女性52.7%、男性48.4%）の割合が最も高い。次いで、女性は「配偶者（パートナー）のみ仕事がある」と「どちらも仕事がない」（13.6%）、男性は「自分のみ仕事がある」（20.0%）、「どちらも仕事がない」（18.2%）。

図表 1-5 夫婦の就労状況

瀬戸内町			二人とも仕事がある	自分のみ仕事がある	配偶者のみ仕事がある	どちらも仕事がない	その他	無回答
今回調査	総計	(n=375)	50.4%	14.7%	8.8%	15.7%	2.9%	7.5%
	女性	(n=184)	52.7%	8.7%	13.6%	13.6%	2.7%	8.7%
	男性	(n=190)	48.4%	20.0%	4.2%	17.9%	3.2%	6.3%
前回調査	総計	(n=281)	47.3%	14.6%	16.4%	21.7%		
	女性	(n=152)	51.3%	7.9%	22.4%	18.4%		
	男性	(n=124)	44.4%	22.6%	9.7%	23.4%		
奄美大島4町村	総計	(n=1,365)	50.7%	11.2%	9.8%	18.6%	1.2%	8.5%
	女性	(n=685)	52.8%	7.2%	12.3%	16.4%	1.5%	9.9%
	男性	(n=672)	49.0%	15.2%	7.3%	20.8%	0.9%	6.8%
県調査	総計	(n=2,094)	49.6%	12.6%	12.0%	24.6%	0.0%	1.2%
	女性	(n=1,200)	52.1%	6.4%	15.4%	24.5%	0.0%	1.6%
	男性	(n=875)	46.7%	19.9%	8.0%	24.6%	0.0%	0.7%

(6) 仕事の状況

仕事の状況については、女性は「無職（主婦・学生を含む。）」（33.8%）の割合が最も高く、次いで「非正規の社員・職員・従業員（以下、「非正規雇用者」という。）」（23.9%）、「役員・正規の社員・職員・従業員（以下、「正規雇用者」という。）」（20.0%）。男性は「正規雇用者」（37.4%）が最も高く、次いで「無職」（29.1%）。

図表 1-6 仕事の状況

瀬戸内町			正規雇用者	非正規雇用者	自営業主	家族従事者	無職	その他	無回答
今回調査	総計	(n=607)	27.8%	17.1%	13.2%	2.1%	30.8%	1.8%	7.1%
	女性	(n=305)	20.0%	23.9%	13.8%	2.6%	33.8%	2.0%	3.9%
	男性	(n=289)	37.4%	10.7%	13.1%	1.7%	29.1%	1.7%	6.2%
前回調査	総計	(n=473)	20.7%	16.7%	19.7%		34.0%	0.0%	8.9%
	女性	(n=247)	16.6%	22.7%	14.9%		36.5%	0.0%	9.3%
	男性	(n=211)	26.1%	9.9%	26.5%		31.3%	0.0%	6.2%
奄美大島 4 町村	総計	(n=2,147)	27.4%	17.2%	9.2%	1.5%	36.3%	1.4%	7.0%
	女性	(n=1,109)	21.4%	23.2%	7.5%	1.6%	39.7%	1.8%	4.9%
	男性	(n=990)	35.3%	11.3%	11.4%	1.4%	33.9%	1.1%	5.6%
県調査	総計	(n=2,094)	30.2%	18.7%	11.2%	2.6%	34.8%	0.0%	2.5%
	女性	(n=1,200)	23.4%	25.3%	6.8%	3.6%	39.1%	0.0%	1.8%
	男性	(n=875)	39.7%	9.6%	17.4%	1.3%	29.0%	0.0%	3.1%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	35.6%	16.6%	6.9%	2.5%	35.3%	2.6%	0.5%

※本書では、「自営業主」と「家族従事者」を合わせて「自営業者」とする。

(7) 子どもの年齢

「2008年4月1日以前生まれの既婚の子ども」がいる人（24.1%）の割合が最も高く、次いで「2008年4月1日以前生まれの未婚の子ども（学生を除く。）」がいる人（18.3%）。

図表 1-7 子どもの年齢（複数回答）

瀬戸内町			乳幼児	小学生	中学生	高校・高専生・専門 学校・短大・大学生	未婚の子ども	既婚の子ども
今回調査	総計	(n=607)	6.9%	5.3%	3.3%	6.6%	18.3%	24.1%
	女性	(n=305)	7.9%	6.2%	2.6%	4.3%	19.0%	27.2%
	男性	(n=289)	6.2%	4.5%	4.2%	9.3%	18.0%	21.8%
奄美大島 4 町村	総計	(n=2,147)	7.1%	7.2%	3.6%	7.4%	17.5%	20.5%
	女性	(n=1,109)	7.7%	8.1%	3.5%	6.8%	18.1%	21.3%
	男性	(n=990)	6.8%	6.5%	3.8%	8.4%	17.5%	20.6%
県調査	総計	(n=2,094)	9.9%	9.9%	6.3%	9.8%	25.5%	38.5%
	女性	(n=1,200)	9.6%	9.8%	6.3%	10.4%	26.1%	39.3%
	男性	(n=875)	10.5%	10.3%	6.4%	9.3%	25.3%	38.3%

注：「小学生」：2011年4月2月～2017年4月1日生まれ

「中学生」：2008年4月2月～2011年4月1日生まれ

「未婚の子ども」：2008年4月1日以前生まれの未婚（学生除く）

「既婚の子ども」：2008年4月1日以前生まれで既婚（学生除く）

4 本書を読むに当たっての注意事項

(1) 設問内容

報告書のⅢでは、調査票の設問内容を簡潔にし、【 】内に調査票の該当する設問番号を記載した。（調査票は巻末に掲載）

(2) 有効回答者

調査票の設問及び属性の回答率が低い回答者についても、その回答をできる限り生かすために集計に含めた。

(3) 属性による分析

ア 無回答者

性別や年齢、結婚・職業の状況などの属性の未回答者については、属性別の分析からは除外した。

イ 年代

- ・ 年齢は、2023年7月1日現在の満年齢。
- ・ 18歳と19歳のサンプル数は少ないことから、20代と合わせて年代別の分析を行った。
- ・ 前回調査（2018年度実施）や県及び内閣府の調査では80歳以上を含めて「70歳以上」としているが、今回調査では「70代」と「80歳以上」に分けて分析した。

(4) 算出数字

- ・ 内訳の占める割合は百分率で算出し、小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答が可能な設問については、調査回答者又は当該設問の回答対象者のうち該当する選択肢を回答した人の割合を算出した。
- ・ 表中の網掛けの数値は、属性の内訳の中で最も割合が高い数値。
- ・ 総計には「性別」や「年代」など属性が不明な回答者が含まれるため、属性別の合計と異なる場合がある。
- ・ 図表の（ ）内数字は、各設問の回答対象者数。回答数が少ない属性の内訳については、統計的誤差が生じる可能性が高いため分析の対象外とした。

(5) その他記述

選択肢に「その他（具体的に）」がある設問については、その主な記述を掲載した。

(6) 自由記述

- ・ 1人の回答が複数のテーマにわたる場合は、原文の趣旨を損なわないように回答内容を分け、それぞれを1件としている。
- ・ なるべく多くの方の意見等を掲載するため、一部の回答については設問に該当する部分を原文の趣旨を損なわないように抜粋した。

5 主に参考とした調査

- | | |
|--|-----------------|
| 『男女共同参画に関する住民意識調査』（瀬戸内町 2023年度） | ※「今回調査」と表記 |
| 『町民意識調査』（瀬戸内町 2018年度） | ※「前回調査」と表記 |
| 『男女共同参画に関する住民意識調査』（大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町 2023年度）の集計 | ※「奄美大島4町村」と表記 |
| 『男女共同参画に関する県民意識調査』（鹿児島県 2021年度） | ※「県調査」と表記 |
| 『男女共同参画社会に関する世論調査』（内閣府 2022年度） | ※「内閣府調査」と表記 |
| 『男女間における暴力に関する調査』（内閣府 2020年度） | ※「内閣府 DV 調査」と表記 |

II 調査結果

1 男女の地位の平等感と固定的な性別役割分担意識について

(1) 各分野の男女の地位の平等感

Q1 「家庭生活」、「職場」、「学校教育の場」、「政治の場」、「法律や制度の上」、「社会通念・慣習・しきたりなど」及び「自治会やPTAなどの地域活動の場」の7分野と「町全体で見た場合」の、男女の地位の平等感【問1】

- ① 男性の方が非常に優遇されている 『男性が非常に優遇』
- ② どちらかといえば男性の方が優遇されている 『どちらかといえば男性優遇』 →①+②『男性優遇』
- ③ 平等である 『平等』
- ④ 女性の方が非常に優遇されている 『女性が非常に優遇』
- ⑤ どちらかといえば女性の方が優遇されている 『どちらかといえば女性優遇』 →④+⑤『女性優遇』

ア 総計 (図表1-(1)-1)

- ・ 分野別の男女の地位の平等感について訊いたところ、『平等』と回答した割合が最も高い分野は「学校教育の場」(67.5%)で、次いで「地域活動の場」(48.8%)、「法律や制度の上」(43.2%)。
- ・ 『男性優遇』と回答した割合が最も高い分野は、「政治の場」(75.9%)。次いで「社会通念・慣習・しきたりなど」(69.0%)、「家庭生活」(57.3%)、「職場」(54.4%)。うち、『男性が非常に優遇』と回答した割合が高い分野は、「政治の場」(29.2%)、「社会通念・慣習・しきたりなど」(23.7%)。
- ・ 『女性優遇』と回答した割合は、全ての分野で9%以下。うち『女性が非常に優遇』と回答した人はほとんどいない。
- ・ 「町全体で見た場合」では、『平等』と回答した割合は33.4%、『男性優遇』と回答した割合は60.6%となっている。

図表1-(1)-1 各分野と町全体で見た場合の男女の地位の平等感【総計、奄美大島4町村】

			男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性のほうが優遇されている	平等である	どちらかといえば女性のほうが優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	無回答	男性優遇	女性優遇
瀬戸内町	今回調査									
	家庭生活	(n=607)	12.0%	45.3%	36.9%	4.9%	0.5%	0.3%	57.3%	5.4%
	職場	(n=607)	13.0%	41.4%	37.6%	4.4%	0.2%	3.5%	54.4%	4.6%
	学校教育の場	(n=607)	2.5%	19.3%	67.5%	2.8%	0.2%	7.7%	21.7%	3.0%
	政治の場	(n=607)	29.2%	46.8%	20.6%	1.5%	0.2%	1.8%	75.9%	1.6%
	法律や制度の上	(n=607)	12.0%	36.1%	43.2%	6.9%	0.7%	1.2%	48.1%	7.6%
	社会通念・慣習・しきたりなど	(n=607)	23.7%	45.3%	23.1%	2.5%	0.3%	5.1%	69.0%	2.8%
	自治会やPTAなどの地域活動の場	(n=607)	7.6%	31.1%	48.8%	7.6%	0.7%	4.3%	38.7%	8.2%
町全体で見た場合	(n=607)	11.7%	48.9%	33.4%	2.1%	0.0%	3.8%	60.6%	2.1%	
奄美大島4町村	家庭生活	(n=2,147)	9.2%	46.1%	39.1%	3.7%	0.6%	1.3%	55.3%	4.3%
	職場	(n=2,147)	9.7%	41.0%	39.4%	4.5%	0.4%	5.1%	50.7%	4.8%
	学校教育の場	(n=2,147)	2.3%	18.2%	68.0%	2.8%	0.2%	8.4%	20.5%	3.1%
	政治の場	(n=2,147)	29.5%	45.7%	20.4%	1.0%	0.1%	3.2%	75.3%	1.2%
	法律や制度の上	(n=2,147)	10.7%	33.3%	46.2%	6.1%	0.5%	3.3%	44.0%	6.5%
	社会通念・慣習・しきたりなど	(n=2,147)	21.1%	48.5%	24.2%	1.8%	0.4%	4.1%	69.5%	2.1%
	自治会やPTAなどの地域活動の場	(n=2,147)	7.8%	34.5%	46.6%	5.8%	0.4%	4.8%	42.3%	6.2%
	町村全体で見た場合	(n=2,147)	9.7%	45.6%	38.2%	2.2%	0.1%	4.1%	55.3%	2.3%

イ 性別 (図表1-(1)-2~9)

- ・ すべての分野において、『平等』と回答した割合は男性が女性より高く、『男性優遇』と回答した割合は女性が男性より高くなっている。特に「法律や制度の上」で男女の差が大きく、『平等』と回答した割合は男性が女性より20.2ポイント高く、『男性優遇』と回答した割合は女性が男性より21.3ポイント高い。次いでその差が大きい分野は「地域活動」(『平等』13.7ポイント、『男性優遇』12.7ポイント)、「政治の場」(『平等』13.2ポイント、『男性優遇』12.4ポイント)。
- ・ 男女とも『男性優遇』と回答した割合が最も高い分野は、「政治の場」(女性82.6%、男性70.2%)、次いで「社会通念・慣習・しきたりなど」(女性74.1%、男性65.7%)、「家庭生活」(女性63.6%、男性51.9%)。

- ・男性では、「法律や制度の上」と「地域活動の場」で他の分野より『女性優遇』と回答した割合が高い(9.0%)。
- ・「町全体で見た場合」においては、『平等』と回答した割合は男性より女性が低く(女性 27.9% 男性 38.4%)、その差は 10.5 ポイント、『男性優遇』と回答した割合は女性の方が高く(女性 65.9% 男性 56.1%)、その差は 9.9 ポイントとなっている。

ウ 前回調査との比較 (図表 1-(1)-2～9) ※前回調査で「地域活動の場」と「町全体で見た場合」はなし。

- ・前回調査と比較すると、『平等』と回答した割合は、「学校教育の場」で 12.3 ポイント上昇し、それ以外の分野で低下。最も低下したのは「家庭生活」で 7.7 ポイント。
- ・『男性優遇』と回答した割合はすべての分野で上昇しており、最も上昇したのは「職場」で 23.5 ポイント、次いで「家庭生活」(22.2 ポイント)、「法律や制度の上」(21.9 ポイント)。他の 3 分野も 10 ポイント以上上昇している。

エ 奄美大島 4 町村・県・内閣府調査との比較 (図表 1-(1)-2～9)

- ・奄美大島 4 町村の調査と比較すると、大きな差はみられない。(5 ポイントを超える差がない。)
- ・県調査にある「家庭生活」「職場」「学校教育の場」「法律や制度の上」「社会通念、慣習・しきたりなど」の分野で比較すると、『平等』と回答した割合は「家庭生活」以外の分野で高い。一方、『男性優遇』と回答した割合もすべての分野で高く、特に「家庭生活」で差が大きい。(県調査では無回答の割合が大きいため、単純に比較はできない。)
- ・内閣府調査の 7 分野と比較すると、『平等』と回答した割合は「学校教育の場」が同程度でそれ以外は高い。一方、『男性優遇』と回答した割合は「家庭生活」と「学校教育の場」は同程度で、それ以外の分野は低い。

図表 1-(1)-2 家庭生活における男女の地位の平等感【総計、性別、前回調査、奄美大島 4 町村、県・内閣府調査】

瀬戸内町			男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性のほうが優遇されている	平等である	どちらかといえば女性のほうが優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	無回答	男性優遇	女性優遇
今回調査	総計	(n=607)	12.0%	45.3%	36.9%	4.9%	0.5%	0.3%	57.3%	5.4%
	女性	(n=305)	16.7%	46.9%	31.8%	3.9%	0.3%	0.3%	63.6%	4.3%
	男性	(n=289)	7.3%	44.6%	41.5%	5.5%	0.7%	0.3%	51.9%	6.2%
前回調査	総計	(n=473)	8.5%	26.6%	44.6%	4.0%	0.8%	15.4%	35.1%	4.8%
	女性	(n=247)	10.5%	30.4%	38.9%	3.2%	1.6%	15.4%	40.9%	4.8%
	男性	(n=211)	6.6%	22.3%	51.7%	4.7%	0.0%	14.7%	28.9%	4.7%
奄美大島 4 町村	総計	(n=2,147)	9.2%	46.1%	39.1%	3.7%	0.6%	1.3%	55.3%	4.3%
	女性	(n=1,109)	11.8%	50.0%	33.4%	3.4%	0.3%	1.1%	61.9%	3.7%
	男性	(n=990)	6.4%	42.7%	45.1%	3.8%	0.6%	1.4%	49.1%	4.4%
県調査	総計	(n=2,094)	7.5%	37.2%	42.8%	3.9%	0.9%	9.7%	44.7%	4.8%
	女性	(n=1,200)	9.9%	40.9%	36.9%	3.1%	1.0%	8.2%	50.8%	4.1%
	男性	(n=875)	4.3%	33.0%	51.2%	5.0%	0.8%	5.6%	37.3%	5.8%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	9.0%	50.8%	31.7%	7.0%	1.0%	0.6%	59.8%	8.0%
	女性	(n=1,534)	12.1%	56.3%	25.6%	4.6%	0.7%	0.7%	68.4%	5.3%
	男性	(n=1,313)	5.3%	44.4%	38.8%	9.7%	1.4%	0.5%	49.7%	11.1%

※「無回答」には「わからない」を含む。以下、同様。

図表 1-(1)-3 職場における男女の地位の平等感【総計、性別、前回調査、奄美大島 4 町村、県・内閣府調査】

瀬戸内町			男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性のほうが優遇されている	平等である	どちらかといえば女性のほうが優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	無回答	男性優遇	女性優遇
今回調査	総計	(n=607)	13.0%	41.4%	37.6%	4.4%	0.2%	3.5%	54.4%	4.6%
	女性	(n=305)	15.1%	40.0%	37.7%	3.6%	0.0%	3.6%	55.1%	3.6%
	男性	(n=289)	11.4%	43.3%	38.1%	4.8%	0.3%	2.1%	54.7%	5.2%
前回調査	総計	(n=473)	4.7%	26.2%	40.0%	3.6%	0.4%	25.2%	30.9%	4.0%
	女性	(n=247)	6.9%	27.1%	38.5%	2.4%	0.4%	24.7%	34.0%	2.8%
	男性	(n=211)	2.4%	26.1%	41.2%	5.2%	0.5%	24.6%	28.5%	5.7%
奄美大島 4 町村	総計	(n=2,147)	9.7%	41.0%	39.4%	4.5%	0.4%	5.1%	50.7%	4.8%
	女性	(n=1,109)	11.2%	41.5%	37.2%	3.9%	0.3%	6.0%	52.7%	4.1%
	男性	(n=990)	8.3%	40.6%	42.5%	5.2%	0.3%	3.1%	48.9%	5.5%

県調査	総計	(n=2,094)	8.1%	41.2%	27.6%	5.5%	0.8%	16.8%	49.3%	6.3%
	女性	(n=1,200)	10.8%	40.7%	25.9%	4.3%	0.6%	17.9%	51.5%	4.9%
	男性	(n=875)	4.7%	42.5%	30.2%	7.4%	1.1%	14.1%	47.2%	8.5%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	16.0%	48.1%	26.4%	6.5%	1.2%	1.8%	64.1%	7.7%
	女性	(n=1,534)	19.2%	50.3%	22.5%	4.6%	0.8%	2.5%	69.5%	5.4%
	男性	(n=1,313)	12.3%	45.5%	31.0%	8.8%	1.6%	0.9%	57.8%	10.4%

図表 1-(1)-4 学校教育の場における男女の地位の平等感【総計、性別、前回調査、奄美大島4町村、県・内閣府調査】

瀬戸内町			男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性のほうが優遇されている	平等である	どちらかといえば女性のほうが優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	無回答	男性優遇	女性優遇
今回調査	総計	(n=607)	2.5%	19.3%	67.5%	2.8%	0.2%	7.7%	21.7%	3.0%
	女性	(n=305)	2.3%	24.3%	62.3%	2.6%	0.0%	8.5%	26.6%	2.6%
	男性	(n=289)	2.8%	14.9%	74.0%	2.4%	0.3%	5.5%	17.6%	2.8%
前回調査	総計	(n=473)	1.5%	9.9%	55.2%	2.1%	0.4%	30.9%	11.4%	2.5%
	女性	(n=247)	2.4%	12.6%	51.0%	1.2%	0.8%	32.0%	15.0%	2.0%
	男性	(n=211)	0.5%	7.1%	60.7%	2.8%	0.0%	29.0%	7.6%	2.8%
奄美大島4町村	総計	(n=2,147)	2.3%	18.2%	68.0%	2.8%	0.2%	8.4%	20.5%	3.1%
	女性	(n=1,109)	2.9%	21.9%	62.9%	3.0%	0.1%	9.2%	24.8%	3.1%
	男性	(n=990)	1.8%	14.3%	74.6%	2.6%	0.2%	6.4%	16.2%	2.8%
県調査	総計	(n=2,094)	0.9%	12.2%	57.9%	2.4%	0.2%	26.4%	13.1%	2.6%
	女性	(n=1,200)	1.2%	14.9%	53.9%	2.2%	0.1%	27.8%	16.1%	2.3%
	男性	(n=875)	0.6%	8.8%	64.1%	2.7%	0.5%	23.4%	9.4%	3.2%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	3.0%	21.5%	68.1%	4.7%	0.6%	2.1%	24.5%	5.3%
	女性	(n=1,534)	4.3%	25.1%	63.2%	4.0%	0.3%	3.0%	29.4%	4.3%
	男性	(n=1,313)	1.5%	17.3%	73.7%	5.5%	0.9%	1.1%	18.8%	6.4%

図表 1-(1)-5 政治の場における男女の地位の平等感【総計、性別、奄美大島4町村、内閣府調査】

瀬戸内町			男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性のほうが優遇されている	平等である	どちらかといえば女性のほうが優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	無回答	男性優遇	女性優遇
今回調査	総計	(n=607)	29.2%	46.8%	20.6%	1.5%	0.2%	1.8%	75.9%	1.6%
	女性	(n=305)	34.8%	47.9%	13.8%	1.0%	0.3%	2.3%	82.6%	1.3%
	男性	(n=289)	24.2%	46.0%	27.0%	1.4%	0.0%	1.4%	70.2%	1.4%
前回調査	総計	(n=473)	19.5%	40.0%	23.5%	1.3%	0.2%	15.7%	59.5%	1.5%
	女性	(n=247)	25.1%	40.1%	15.0%	1.2%	0.0%	18.6%	65.2%	1.2%
	男性	(n=211)	12.8%	41.7%	33.2%	1.4%	0.5%	12.3%	54.5%	1.9%
奄美大島4町村	総計	(n=2,147)	29.5%	45.7%	20.4%	1.0%	0.1%	3.2%	75.3%	1.2%
	女性	(n=1,109)	34.5%	46.2%	14.5%	0.9%	0.2%	3.7%	80.7%	1.1%
	男性	(n=990)	24.2%	45.9%	26.9%	0.9%	0.0%	2.1%	70.1%	0.9%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	46.4%	41.5%	9.6%	1.4%	0.3%	0.8%	87.9%	1.7%
	女性	(n=1,534)	52.2%	39.2%	6.7%	0.7%	0.1%	1.2%	91.4%	0.8%
	男性	(n=1,313)	39.6%	44.2%	13.0%	2.2%	0.5%	0.4%	83.8%	2.7%

図表 1-(1)-6 法律や制度の上における男女の地位の平等感【総計、性別、前回調査、奄美大島4町村、県・内閣府調査】

瀬戸内町			男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性のほうが優遇されている	平等である	どちらかといえば女性のほうが優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	無回答	男性優遇	女性優遇
今回調査	総計	(n=607)	12.0%	36.1%	43.2%	6.9%	0.7%	1.2%	48.1%	7.6%
	女性	(n=305)	13.4%	45.2%	33.1%	5.9%	0.3%	2.0%	58.7%	6.2%
	男性	(n=289)	11.1%	26.3%	53.3%	8.0%	1.0%	0.3%	37.4%	9.0%
前回調査	総計	(n=473)	5.1%	21.1%	46.7%	4.2%	0.2%	22.7%	26.2%	4.4%
	女性	(n=247)	7.7%	25.1%	41.7%	1.6%	0.4%	23.5%	32.8%	2.0%
	男性	(n=211)	1.9%	17.5%	53.1%	7.6%	0.0%	19.9%	19.4%	7.6%

奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	10.7%	33.3%	46.2%	6.1%	0.5%	3.3%	44.0%	6.5%
	女性	(n=1,109)	13.3%	39.5%	37.8%	5.1%	0.2%	4.1%	52.8%	5.3%
	男性	(n=990)	7.7%	26.3%	56.4%	7.1%	0.7%	1.9%	33.9%	7.8%
県調査	総計	(n=2,094)	6.1%	32.7%	34.9%	5.0%	0.8%	20.5%	38.8%	5.8%
	女性	(n=1,200)	8.5%	37.1%	28.2%	2.8%	0.3%	23.2%	45.6%	3.1%
	男性	(n=875)	3.0%	27.4%	44.6%	8.0%	1.4%	15.6%	30.4%	9.4%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	11.7%	40.6%	37.0%	8.3%	1.4%	1.1%	52.3%	9.7%
	女性	(n=1,534)	15.8%	46.5%	30.0%	5.5%	0.6%	1.6%	62.3%	6.1%
	男性	(n=1,313)	6.9%	33.6%	45.1%	11.7%	2.3%	0.5%	40.5%	14.0%

図表 1-(1)-7 社会通念・慣習・しきたりなどにおける男女の地位の平等感【総計、性別、奄美大島4町村、県・内閣府調査】

瀬戸内町			男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかといえば 男性のほうが優 遇されている	平等である	どちらかといえば 女性のほうが優 遇されている	女性の方が 非常に優遇 されている	無回答	男性優遇	女性優遇
今回調査	総計	(n=607)	23.7%	45.3%	23.1%	2.5%	0.3%	5.1%	69.0%	2.8%
	女性	(n=305)	27.9%	46.2%	16.7%	3.0%	0.3%	5.9%	74.1%	3.3%
	男性	(n=289)	20.4%	45.3%	28.4%	1.7%	0.3%	3.8%	65.7%	2.1%
前回調査	総計	(n=473)	12.1%	43.6%	25.8%	2.1%	0.8%	15.6%	55.7%	2.9%
	女性	(n=247)	15.0%	44.1%	21.5%	3.2%	0.8%	15.4%	59.1%	4.0%
	男性	(n=211)	9.0%	43.6%	31.8%	0.9%	0.9%	13.8%	52.6%	1.8%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	21.1%	48.5%	24.2%	1.8%	0.4%	4.1%	69.5%	2.1%
	女性	(n=1,109)	24.7%	48.6%	19.8%	1.8%	0.5%	4.6%	73.3%	2.3%
	男性	(n=990)	17.3%	49.3%	28.6%	1.6%	0.1%	3.1%	66.6%	1.7%
県調査	総計	(n=2,094)	15.6%	53.3%	15.1%	1.9%	0.2%	13.9%	68.9%	2.1%
	女性	(n=1,200)	21.1%	53.1%	10.9%	1.0%	0.1%	13.9%	74.2%	1.1%
	男性	(n=875)	8.5%	54.5%	20.9%	3.2%	0.5%	12.5%	63.0%	3.7%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	24.1%	57.8%	12.9%	3.1%	0.3%	1.9%	81.9%	3.4%
	女性	(n=1,534)	29.1%	57.0%	9.9%	1.9%	0.2%	2.0%	86.1%	2.1%
	男性	(n=1,313)	18.2%	58.7%	16.4%	4.4%	0.4%	1.9%	76.9%	4.8%

図表 1-(1)-8 自治会やPTAなどの地域活動の場における男女の地位の平等感

【総計、性別、前回調査、奄美大島4町村、内閣府調査】

瀬戸内町			男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかといえば 男性のほうが優 遇されている	平等である	どちらかといえば 女性のほうが優 遇されている	女性の方が 非常に優遇 されている	無回答	男性優遇	女性優遇
今回調査	総計	(n=607)	7.6%	31.1%	48.8%	7.6%	0.7%	4.3%	38.7%	8.2%
	女性	(n=305)	10.5%	34.8%	42.0%	7.2%	0.3%	5.2%	45.2%	7.5%
	男性	(n=289)	4.8%	27.7%	55.7%	8.0%	1.0%	2.8%	32.5%	9.0%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	7.8%	34.5%	46.6%	5.8%	0.4%	4.8%	42.3%	6.2%
	女性	(n=1,109)	10.2%	38.8%	41.2%	4.6%	0.2%	5.0%	49.0%	4.8%
	男性	(n=990)	5.5%	30.0%	53.1%	7.0%	0.6%	3.8%	35.5%	7.6%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	10.2%	37.6%	40.2%	8.8%	1.1%	2.1%	47.8%	9.9%
	女性	(n=1,534)	13.6%	41.7%	34.7%	7.3%	0.6%	2.2%	55.3%	7.9%
	男性	(n=1,313)	6.2%	32.8%	46.7%	10.6%	1.6%	2.1%	39.0%	12.2%

図表 1-(1)-9 町全体で見た場合における男女の地位の平等感【総計、性別、奄美大島4町村】

瀬戸内町			男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかといえば 男性のほうが優 遇されている	平等である	どちらかといえば 女性のほうが優 遇されている	女性の方が 非常に優遇 されている	無回答	男性優遇	女性優遇
今回調査	総計	(n=607)	11.7%	48.9%	33.4%	2.1%	0.0%	3.8%	60.6%	2.1%
	女性	(n=305)	13.4%	52.5%	27.9%	2.0%	0.0%	4.3%	65.9%	2.0%
	男性	(n=289)	10.0%	46.0%	38.4%	2.1%	0.0%	3.5%	56.1%	2.1%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	9.7%	45.6%	38.2%	2.2%	0.1%	4.1%	55.3%	2.3%
	女性	(n=1,109)	12.3%	48.3%	32.6%	2.0%	0.0%	4.8%	60.6%	2.0%
	男性	(n=990)	7.0%	42.9%	44.3%	2.4%	0.2%	3.1%	49.9%	2.6%

オ 性・年代別（図表 1-(1)-10～13）

（ア）概要

- ・ 男女とも、70代が他の年代に比べて『平等』と回答した割合が低く、『男性優遇』と回答した割合が高い傾向にある。一方、29歳以下では逆の傾向になっている。
- ・ 『女性優遇』と回答した割合は、すべての年代で『平等』、『男性優遇』を大きく下回り、うち『女性が非常に優遇』と回答した人はほとんどいないが、40代の男性は他の性・年代より『どちらかといえば女性優遇』と回答した割合が高い傾向にある。（「家庭生活」「職場」「地域活動の場」で9.1%）

（イ）家庭生活

『男性優遇』と回答した割合は、60代と70代の女性が7割を超え、80歳以上と50代の女性、60代の男性が6割を超えている。一方、男女とも29歳以下は『平等』と回答した割合が高い（女性87.5%、男性64.3%）。

（ウ）職場

『男性優遇』と回答した割合は、男女とも70代（女性65.5%、男性68.6%）と80歳以上（女性64.7%、男性66.7%）が高い。一方、『平等』と回答した割合は、29歳以下の男女が高い（女性75.0%、男性57.1%）。

（エ）学校教育の場

すべての年代で『平等』と回答した割合が高く、20代と30代の女性、50代以下の男性では8割を超えるものの、40、60、70代の女性の3割以上が『男性優遇』と回答している。

（オ）政治の場

30～50代の女性では『男性が非常に優遇』と回答した割合が4割を超え、全ての年代で『平等』より『男性優遇』と回答した割合がきわめて高く、30代の女性で9割、40～60代の女性で8割を超えている。ただし、29歳以下の男女、30代と70代の男性の3割以上が『平等』と回答。

（カ）法律や制度の上

すべての年代の男性と29歳以下の女性で『平等』と回答した割合が高く、80歳以上の男性では7割を超えている。女性では、30代以上で『平等』より『男性優遇』と回答した割合が高く、50代で7割、30代で7割を超えている。

（キ）社会通念、慣習・しきたりなど

『男性が非常に優遇』と回答した割合は、30代と40代の女性では4割を超え、50代以上の女性、29歳以下と40～60代の男性も2割を超えている。29歳以下の男性以外は『平等』より『男性優遇』と回答した割合が高く、30～50代の女性で8割以上、それ以外の年代の女性と40～60代の男性も7割前後。

（ク）地域活動の場

男性ではすべての年代、女性では50～70代以外の年代で『平等』と回答した割合が高く、特に29歳以下は高い（女性62.5%、男性78.6%）。一方、50～70代の女性は、『平等』より『男性優遇』と回答した割合が高く、50代は56.1%。

（ケ）町全体で見た場合

29歳以下の男女、30代と80歳以上の男性で、『平等』と回答した割合が高いが、その他の年代では『平等』より『男性優遇』と回答した割合が高く、女性は50代で80.5%、29歳以下を除くその他の年代で7割前後。

図表 1-(1)-10 家庭生活と職場における男女の地位の平等感【性・年代別】

	サンプル数	家庭生活						職場						
		男性の方が非常に優遇さ	どちらが優遇さ	平等である	どちらが優遇さ	女性の方が非常に優遇さ	無回答	男性の方が非常に優遇さ	どちらが優遇さ	平等である	どちらが優遇さ	女性の方が非常に優遇さ	無回答	
総計	607	73	275	224	30	3	2	79	251	228	27	1	21	
	100.0%	12.0%	45.3%	36.9%	4.9%	0.5%	0.3%	13.0%	41.4%	37.6%	4.4%	0.2%	3.5%	
性・年代別	女性	305	51	143	97	12	1	1	46	122	115	11	0	11
		100.0%	16.7%	46.9%	31.8%	3.9%	0.3%	0.3%	15.1%	40.0%	37.7%	3.6%	0.0%	3.6%
	18~29歳	16	0	1	14	1	0	0	0	2	12	1	0	1
		100.0%	0.0%	6.3%	87.5%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	75.0%	6.3%	0.0%	6.3%
	30~39歳	31	5	13	11	2	0	0	4	13	12	2	0	0
		100.0%	16.1%	41.9%	35.5%	6.5%	0.0%	0.0%	12.9%	41.9%	38.7%	6.5%	0.0%	0.0%
	40~49歳	40	9	13	16	2	0	0	7	12	19	2	0	0
		100.0%	22.5%	32.5%	40.0%	5.0%	0.0%	0.0%	17.5%	30.0%	47.5%	5.0%	0.0%	0.0%
	50~59歳	41	8	17	15	1	0	0	8	13	17	2	0	1
		100.0%	19.5%	41.5%	36.6%	2.4%	0.0%	0.0%	19.5%	31.7%	41.5%	4.9%	0.0%	2.4%
	60~69歳	80	11	48	18	2	1	0	11	35	31	2	0	1
		100.0%	13.8%	60.0%	22.5%	2.5%	1.3%	0.0%	13.8%	43.8%	38.8%	2.5%	0.0%	1.3%
	70~79歳	55	10	30	12	2	0	1	11	25	12	1	0	6
		100.0%	18.2%	54.5%	21.8%	3.6%	0.0%	1.8%	20.0%	45.5%	21.8%	1.8%	0.0%	10.9%
	80歳以上	34	6	16	10	2	0	0	4	18	9	1	0	2
		100.0%	17.6%	47.1%	29.4%	5.9%	0.0%	0.0%	11.8%	52.9%	26.5%	2.9%	0.0%	5.9%
	男性	289	21	129	120	16	2	1	33	125	110	14	1	6
		100.0%	7.3%	44.6%	41.5%	5.5%	0.7%	0.3%	11.4%	43.3%	38.1%	4.8%	0.3%	2.1%
18~29歳	14	1	4	9	0	0	0	1	3	8	2	0	0	
	100.0%	7.1%	28.6%	64.3%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	21.4%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	
30~39歳	17	1	6	10	0	0	0	3	5	9	0	0	0	
	100.0%	5.9%	35.3%	58.8%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	29.4%	52.9%	0.0%	0.0%	0.0%	
40~49歳	33	1	15	14	3	0	0	6	13	11	3	0	0	
	100.0%	3.0%	45.5%	42.4%	9.1%	0.0%	0.0%	18.2%	39.4%	33.3%	9.1%	0.0%	0.0%	
50~59歳	51	4	23	22	1	1	0	2	24	21	3	1	0	
	100.0%	7.8%	45.1%	43.1%	2.0%	2.0%	0.0%	3.9%	47.1%	41.2%	5.9%	2.0%	0.0%	
60~69歳	73	7	37	23	5	0	1	9	24	35	2	0	3	
	100.0%	9.6%	50.7%	31.5%	6.8%	0.0%	1.4%	12.3%	32.9%	47.9%	2.7%	0.0%	4.1%	
70~79歳	67	5	29	25	7	1	0	9	37	17	3	0	1	
	100.0%	7.5%	43.3%	37.3%	10.4%	1.5%	0.0%	13.4%	55.2%	25.4%	4.5%	0.0%	1.5%	
80歳以上	18	0	6	12	0	0	0	2	10	4	0	0	2	
	100.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	55.6%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	

図表 1-(1)-11 学校教育と政治の場における男女の地位の平等感【性・年代別】

	サンプル数	学校教育の場						政治の場						
		男性の方が非常に優遇さ	どちらが優遇さ	平等である	どちらが優遇さ	女性の方が非常に優遇さ	無回答	男性の方が非常に優遇さ	どちらが優遇さ	平等である	どちらが優遇さ	女性の方が非常に優遇さ	無回答	
総計	607	15	117	410	17	1	47	177	284	125	9	1	11	
	100.0%	2.5%	19.3%	67.5%	2.8%	0.2%	7.7%	29.2%	46.8%	20.6%	1.5%	0.2%	1.8%	
性・年代別	女性	305	7	74	190	8	0	26	106	146	42	3	1	7
		100.0%	2.3%	24.3%	62.3%	2.6%	0.0%	8.5%	34.8%	47.9%	13.8%	1.0%	0.3%	2.3%
	18~29歳	16	0	1	13	1	0	1	2	8	5	0	0	1
		100.0%	0.0%	6.3%	81.3%	6.3%	0.0%	6.3%	12.5%	50.0%	31.3%	0.0%	0.0%	6.3%
	30~39歳	31	1	3	27	0	0	0	14	16	1	0	0	0
		100.0%	3.2%	9.7%	87.1%	0.0%	0.0%	0.0%	45.2%	51.6%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	40~49歳	40	2	10	23	1	0	4	17	16	6	0	0	1
		100.0%	5.0%	25.0%	57.5%	2.5%	0.0%	10.0%	42.5%	40.0%	15.0%	0.0%	0.0%	2.5%
	50~59歳	41	0	11	22	2	0	6	20	16	5	0	0	0
		100.0%	0.0%	26.8%	53.7%	4.9%	0.0%	14.6%	48.8%	39.0%	12.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	60~69歳	80	2	23	49	2	0	4	28	43	8	0	0	1
		100.0%	2.5%	28.8%	61.3%	2.5%	0.0%	5.0%	35.0%	53.8%	10.0%	0.0%	0.0%	1.3%
	70~79歳	55	1	17	27	1	0	9	15	27	9	1	0	3
		100.0%	1.8%	30.9%	49.1%	1.8%	0.0%	16.4%	27.3%	49.1%	16.4%	1.8%	0.0%	5.5%
	80歳以上	34	1	7	24	1	0	1	9	15	6	2	1	1
		100.0%	2.9%	20.6%	70.6%	2.9%	0.0%	2.9%	26.5%	44.1%	17.6%	5.9%	2.9%	2.9%
	男性	289	8	43	214	7	1	16	70	133	78	4	0	4
		100.0%	2.8%	14.9%	74.0%	2.4%	0.3%	5.5%	24.2%	46.0%	27.0%	1.4%	0.0%	1.4%
18~29歳	14	0	2	12	0	0	0	3	6	5	0	0	0	
	100.0%	0.0%	14.3%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%	21.4%	42.9%	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
30~39歳	17	1	2	14	0	0	0	3	6	6	1	0	1	
	100.0%	5.9%	11.8%	82.4%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	35.3%	35.3%	5.9%	0.0%	5.9%	
40~49歳	33	0	4	28	1	0	0	8	18	6	1	0	0	
	100.0%	0.0%	12.1%	84.8%	3.0%	0.0%	0.0%	24.2%	54.5%	18.2%	3.0%	0.0%	0.0%	
50~59歳	51	1	6	42	1	1	0	14	22	13	2	0	0	
	100.0%	2.0%	11.8%	82.4%	2.0%	2.0%	0.0%	27.5%	43.1%	25.5%	3.9%	0.0%	0.0%	
60~69歳	73	3	16	47	1	0	6	17	38	17	0	0	1	
	100.0%	4.1%	21.9%	64.4%	1.4%	0.0%	8.2%	23.3%	52.1%	23.3%	0.0%	0.0%	1.4%	
70~79歳	67	3	8	48	2	0	6	18	23	25	0	0	1	
	100.0%	4.5%	11.9%	71.6%	3.0%	0.0%	9.0%	26.9%	34.3%	37.3%	0.0%	0.0%	1.5%	
80歳以上	18	0	1	14	1	0	2	3	10	5	0	0	0	
	100.0%	0.0%	5.6%	77.8%	5.6%	0.0%	11.1%	16.7%	55.6%	27.8%	0.0%	0.0%	0.0%	

図表 1-(1)-12 法律や制度の上と社会通念・慣習・しきたりなどにおける男女の地位の平等感【性・年代別】

性・年代別	サンプル数	法律や制度の上						社会通念・慣習・しきたりなど						
		男性の方が非常に優遇さ	ほど優遇さ	平等である	ほど優遇さ	女性の方が非常に優遇さ	無回答	男性の方が非常に優遇さ	ほど優遇さ	平等である	ほど優遇さ	女性の方が非常に優遇さ	無回答	
		100.0%						100.0%						
総計	607	73	219	262	42	4	7	144	275	140	15	2	31	
	100.0%	12.0%	36.1%	43.2%	6.9%	0.7%	1.2%	23.7%	45.3%	23.1%	2.5%	0.3%	5.1%	
女性	305	41	138	101	18	1	6	85	141	51	9	1	18	
	100.0%	13.4%	45.2%	33.1%	5.9%	0.3%	2.0%	27.9%	46.2%	16.7%	3.0%	0.3%	5.9%	
	18~29歳	16	1	5	8	1	0	1	1	10	4	0	1	
	100.0%	6.3%	31.3%	50.0%	6.3%	0.0%	6.3%	6.3%	62.5%	25.0%	0.0%	0.0%	6.3%	
	30~39歳	31	4	19	8	0	0	0	13	12	6	0	0	
	100.0%	12.9%	61.3%	25.8%	0.0%	0.0%	0.0%	41.9%	38.7%	19.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
	40~49歳	40	6	16	13	5	0	0	16	16	6	2	0	
	100.0%	15.0%	40.0%	32.5%	12.5%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	15.0%	5.0%	0.0%	0.0%	
	50~59歳	41	9	20	10	2	0	0	15	20	6	0	0	
	100.0%	22.0%	48.8%	24.4%	4.9%	0.0%	0.0%	36.6%	48.8%	14.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
	60~69歳	80	10	37	27	5	0	1	20	40	9	3	1	
	100.0%	12.5%	46.3%	33.8%	6.3%	0.0%	1.3%	25.0%	50.0%	11.3%	3.8%	1.3%	8.8%	
	70~79歳	55	8	22	18	3	0	4	11	25	11	3	0	
	100.0%	14.5%	40.0%	32.7%	5.5%	0.0%	7.3%	20.0%	45.5%	20.0%	5.5%	0.0%	9.1%	
	80歳以上	34	3	15	13	2	1	0	8	15	7	1	0	
	100.0%	8.8%	44.1%	38.2%	5.9%	2.9%	0.0%	23.5%	44.1%	20.6%	2.9%	0.0%	8.8%	
	男性	289	32	76	154	23	3	1	59	131	82	5	1	11
		100.0%	11.1%	26.3%	53.3%	8.0%	1.0%	0.3%	20.4%	45.3%	28.4%	1.7%	0.3%	3.8%
		18~29歳	14	0	6	6	2	0	0	4	2	8	0	0
		100.0%	0.0%	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%
30~39歳		17	3	2	10	2	0	0	2	7	8	0	0	
100.0%		17.6%	11.8%	58.8%	11.8%	0.0%	0.0%	11.8%	41.2%	47.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
40~49歳		33	3	10	16	2	1	1	8	14	8	1	1	
100.0%		9.1%	30.3%	48.5%	6.1%	3.0%	3.0%	24.2%	42.4%	24.2%	3.0%	3.0%	3.0%	
50~59歳		51	8	11	26	5	1	0	15	22	12	1	0	
100.0%		15.7%	21.6%	51.0%	9.8%	2.0%	0.0%	29.4%	43.1%	23.5%	2.0%	0.0%	2.0%	
60~69歳	73	11	21	34	7	0	0	15	36	18	1	0		
100.0%	15.1%	28.8%	46.6%	9.6%	0.0%	0.0%	20.5%	49.3%	24.7%	1.4%	0.0%	4.1%		
70~79歳	67	6	18	38	4	1	0	13	28	20	2	0		
100.0%	9.0%	26.9%	56.7%	6.0%	1.5%	0.0%	19.4%	41.8%	29.9%	3.0%	0.0%	6.0%		
80歳以上	18	0	4	13	1	0	0	0	11	6	0	1		
100.0%	0.0%	22.2%	72.2%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	61.1%	33.3%	0.0%	0.0%	5.6%		

図表 1-(1)-13 地域活動の場と町全体で見た場合における男女の地位の平等感【性・年代別】

性・年代別	サンプル数	自治会やPTAなどの地域活動の場						町全体で見た場合						
		男性の方が非常に優遇さ	ほど優遇さ	平等である	ほど優遇さ	女性の方が非常に優遇さ	無回答	男性の方が非常に優遇さ	ほど優遇さ	平等である	ほど優遇さ	女性の方が非常に優遇さ	無回答	
		100.0%						100.0%						
総計	607	46	189	296	46	4	26	71	297	203	13	0	23	
	100.0%	7.6%	31.1%	48.8%	7.6%	0.7%	4.3%	11.7%	48.9%	33.4%	2.1%	0.0%	3.8%	
女性	305	32	106	128	22	1	16	41	160	85	6	0	13	
	100.0%	10.5%	34.8%	42.0%	7.2%	0.3%	5.2%	13.4%	52.5%	27.9%	2.0%	0.0%	4.3%	
	18~29歳	16	1	3	10	1	0	1	0	3	12	0	1	
	100.0%	6.3%	18.8%	62.5%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	18.8%	75.0%	0.0%	0.0%	6.3%	
	30~39歳	31	5	10	13	3	0	0	4	17	8	0	2	
	100.0%	16.1%	32.3%	41.9%	9.7%	0.0%	0.0%	12.9%	54.8%	25.8%	0.0%	0.0%	6.5%	
	40~49歳	40	5	12	18	4	0	1	7	20	11	1	1	
	100.0%	12.5%	30.0%	45.0%	10.0%	0.0%	2.5%	17.5%	50.0%	27.5%	2.5%	0.0%	2.5%	
	50~59歳	41	5	18	16	2	0	0	6	27	8	0	0	
	100.0%	12.2%	43.9%	39.0%	4.9%	0.0%	0.0%	14.6%	65.9%	19.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
	60~69歳	80	9	28	31	5	1	6	12	40	20	3	0	
	100.0%	11.3%	35.0%	38.8%	6.3%	1.3%	7.5%	15.0%	50.0%	25.0%	3.8%	0.0%	6.3%	
	70~79歳	55	6	18	23	5	0	3	10	26	17	1	0	
	100.0%	10.9%	32.7%	41.8%	9.1%	0.0%	5.5%	18.2%	47.3%	30.9%	1.8%	0.0%	1.8%	
	80歳以上	34	1	13	14	2	0	4	2	21	7	1	0	
	100.0%	2.9%	38.2%	41.2%	5.9%	0.0%	11.8%	5.9%	61.8%	20.6%	2.9%	0.0%	8.8%	
	男性	289	14	80	161	23	3	8	29	133	111	6	0	10
		100.0%	4.8%	27.7%	55.7%	8.0%	1.0%	2.8%	10.0%	46.0%	38.4%	2.1%	0.0%	3.5%
		18~29歳	14	1	0	11	1	1	0	1	6	7	0	0
		100.0%	7.1%	0.0%	78.6%	7.1%	7.1%	0.0%	7.1%	42.9%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30~39歳		17	0	5	10	2	0	0	2	6	9	0	0	
100.0%		0.0%	29.4%	58.8%	11.8%	0.0%	0.0%	11.8%	35.3%	52.9%	0.0%	0.0%	0.0%	
40~49歳		33	2	7	20	3	0	1	4	14	13	2	0	
100.0%		6.1%	21.2%	60.6%	9.1%	0.0%	3.0%	12.1%	42.4%	39.4%	6.1%	0.0%	0.0%	
50~59歳		51	2	15	28	4	0	2	7	24	18	1	0	
100.0%		3.9%	29.4%	54.9%	7.8%	0.0%	3.9%	13.7%	47.1%	35.3%	2.0%	0.0%	2.0%	
60~69歳	73	7	20	39	6	0	1	7	36	27	1	0		
100.0%	9.6%	27.4%	53.4%	8.2%	0.0%	1.4%	9.6%	49.3%	37.0%	1.4%	0.0%	2.7%		
70~79歳	67	2	21	37	4	1	2	7	31	24	1	0		
100.0%	3.0%	31.3%	55.2%	6.0%	1.5%	3.0%	10.4%	46.3%	35.8%	1.5%	0.0%	6.0%		
80歳以上	18	0	7	9	0	1	1	0	8	9	0	1		
100.0%	0.0%	38.9%	50.0%	0.0%	5.6%	5.6%	0.0%	44.4%	50.0%	0.0%	0.0%	5.6%		

カ 性別による固定的な役割分担に対する考え方別（図表 1-(1)-14）

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方の賛否別で各分野における男女の地位の平等感をみると、「地域活動の場」以外の分野で『平等』と回答した割合は、その考え方に「賛成」と回答した人が、「反対」と回答した人より高くなっている。一方、「地域活動」以外の分野で『男性優遇』と回答した割合は、その考え方に「反対」と回答した人が、「賛成」と回答した人より高くなっている。これらの傾向は、「政治の場」と「職場」で顕著にみられる。

図表 1-(1)-14 男女の地位の平等感【性別による固定的な役割分担の考え方別】

瀬戸内町			男性の方が	どちらかといえば		どちらかといえば	女性の方が	無回答	男性優遇	女性優遇
			非常に優遇されている	男性のほうが優遇されている	平等である	女性のほうが優遇されている	非常に優遇されている			
家庭生活	賛成	(n=15)	33.3%	20.0%	46.7%	0.0%	0.0%	0.0%	53.3%	0.0%
	どちらかといえば賛成	(n=154)	11.7%	44.2%	37.0%	6.5%	0.0%	0.6%	55.8%	6.5%
	どちらかといえば反対	(n=209)	7.2%	47.4%	37.3%	6.2%	1.4%	0.5%	54.5%	7.7%
	反対	(n=220)	15.5%	46.8%	35.0%	2.7%	0.0%	0.0%	62.3%	2.7%
職場	賛成	(n=15)	20.0%	13.3%	60.0%	6.7%	0.0%	0.0%	33.3%	6.7%
	どちらかといえば賛成	(n=154)	12.3%	45.5%	29.2%	4.5%	0.6%	7.8%	57.8%	5.2%
	どちらかといえば反対	(n=209)	6.7%	44.5%	42.1%	4.8%	0.0%	1.9%	51.2%	4.8%
	反対	(n=220)	19.1%	37.7%	37.7%	4.1%	0.0%	1.4%	56.8%	4.1%
学校教育の場	賛成	(n=15)	13.3%	6.7%	73.3%	6.7%	0.0%	0.0%	20.0%	6.7%
	どちらかといえば賛成	(n=154)	2.6%	16.2%	66.2%	3.2%	0.6%	11.0%	18.8%	3.9%
	どちらかといえば反対	(n=209)	1.4%	17.7%	68.4%	4.8%	0.0%	7.7%	19.1%	4.8%
	反対	(n=220)	2.3%	24.5%	67.7%	0.5%	0.0%	5.0%	26.8%	0.5%
政治の場	賛成	(n=15)	46.7%	13.3%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%
	どちらかといえば賛成	(n=154)	24.0%	44.2%	24.7%	3.9%	0.0%	3.2%	68.2%	3.9%
	どちらかといえば反対	(n=209)	23.0%	51.7%	23.0%	1.0%	0.0%	1.4%	74.6%	1.0%
	反対	(n=220)	38.2%	45.9%	13.6%	0.5%	0.5%	1.4%	84.1%	0.9%
法律や制度の上	賛成	(n=15)	26.7%	13.3%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%
	どちらかといえば賛成	(n=154)	10.4%	29.2%	52.6%	3.9%	1.9%	1.9%	39.6%	5.8%
	どちらかといえば反対	(n=209)	10.5%	39.7%	41.1%	8.1%	0.0%	0.5%	50.2%	8.1%
	反対	(n=220)	14.1%	39.1%	38.6%	6.8%	0.5%	0.9%	53.2%	7.3%
社会通念・慣習・しきたりなど	賛成	(n=15)	26.7%	33.3%	26.7%	6.7%	0.0%	6.7%	60.0%	6.7%
	どちらかといえば賛成	(n=154)	17.5%	42.2%	29.2%	3.2%	1.3%	6.5%	59.7%	4.5%
	どちらかといえば反対	(n=209)	16.3%	55.5%	23.0%	1.4%	0.0%	3.8%	71.8%	1.4%
	反対	(n=220)	35.9%	40.5%	18.2%	2.7%	0.0%	2.7%	76.4%	2.7%
自治会やPTAなどの地域活動の場	賛成	(n=15)	26.7%	26.7%	26.7%	6.7%	6.7%	6.7%	53.3%	13.3%
	どちらかといえば賛成	(n=154)	3.9%	29.9%	51.3%	9.1%	1.3%	4.5%	33.8%	10.4%
	どちらかといえば反対	(n=209)	5.3%	32.5%	50.7%	8.1%	0.0%	3.3%	37.8%	8.1%
	反対	(n=220)	11.4%	32.3%	47.3%	6.4%	0.0%	2.7%	43.6%	6.4%
町全体で見た場合	賛成	(n=15)	26.7%	26.7%	40.0%	0.0%	0.0%	6.7%	53.3%	0.0%
	どちらかといえば賛成	(n=154)	11.0%	44.8%	35.7%	5.2%	0.0%	3.2%	55.8%	5.2%
	どちらかといえば反対	(n=209)	6.7%	53.6%	35.4%	0.5%	0.0%	3.8%	60.3%	0.5%
	反対	(n=220)	16.4%	50.5%	29.5%	1.4%	0.0%	2.3%	66.8%	1.4%

(2) 男女の地位が不平等と感じていること

Q2 男女の地位が不平等と感じていること（自由記述）【問2】

男女の地位が不平等と感じていることを聞いたところ、117件の回答があり、主なものは以下のとおり。内訳は、「家庭生活」についてが22件、「職場」について25件、「学校教育」について1件、「政治・行政の場」について17件、「法律や制度」について4件、「社会通念・慣習・しきたりなど」について17件、「自治会やPTAなどの地域活動」について10件、「全体・その他」21件となっている。

■家庭生活（22件）

- ・ 家事は女性がするものが普通と感じること(70代男性)
- ・ 家事は女性の仕事という考えが当たり前になっている。(60代女性)
- ・ 家事全般や介護、子育て(60代男性)
- ・ 家事全般が女がするべき風習がある。(60代女性)
- ・ 家庭生活では特に家事は女性が中心になって動かざるをえない立場に立たされているが、子どものことや家事等、動ける人が動いたらいいんじゃないかと思う。夫婦で協力してやっていけたら一番。(60代女性)
- ・ 子育て、葬式等(40代女性)
- ・ 女性の場合、家事等の負担が大きい。(70代男性)
- ・ 子育て(50代女性)
- ・ 幼児教育や介護に男の参加が難しい。(50代男性)
- ・ 家事全般(70代女性)
- ・ 家事(80代以上女性)
- ・ 家庭生活における家事、育児(年代不明男性)
- ・ 家庭内の仕事は女性がするものだという考えが根深く、男性は手伝い程度にしか思っていない。(60代女性)
- ・ 世間一般論として、家事と育児は女性主体という考えがあるが、高学歴社会で教育にお金がかかり子どもの大学進学のためには共稼ぎが必要な現代では、女性の仕事と家事・育児の負担は大きいと思っている。男性自身が、自分のことは自分で行い、結婚しても自立できるよう幼少期からの躾が大切だと考える。(50代女性)
- ・ 男性が飲みに行くのは当たり前で、女性が行くと後ろ指を指され、家事の女性の負担が多い。共働きなのに不平等だと思う。(40代女性)
- ・ 男性は仕事だけしていれば祖父母や親世代から賞賛されるが、女性は家庭の維持・子育てをした上で、職場でも責任を求められ、何役もこなしているのに、それが当たり前な環境。下手したら、もっと男性を立てると言われる。男が子育てをしているとイクメンと言われて褒められているけど、自分の子どもを育ててなぜ褒められる？(40代女性)
- ・ 家事や育児を妻がするのは当たり前。夫がすることに対して、「家庭的」や「イクメン」などと言われる。(30代女性)
- ・ 男性も女性も働いて家庭生活を営んでいるので、ある意味「平等」だが、家の仕事も平等でないと本当の平等とは言えない。(80代以上女性)
- ・ 昔からの町の風習なのか、女性は働いていても家事全般をすることが残っている。(50代女性)
- ・ 夫婦ともにフルタイムで仕事をしていても、家庭内での役割が女性の方が圧倒的に多いこと。(30代女性)
- ・ 風呂は男から入る。共働きでも女性が先に起きて朝食を作る。(60代男性)
- ・ 子どもが風邪等で休みを取るの母親ばかり。(30代女性)

■職場（25件）

- ・ 管理職に就いている女性がとても少ない。(40代女性)
- ・ 公的機関や民間企業等でも女性管理職が非常に少なく、男性が優遇されていると感じる。女性でも能力のある人がおり、男性にも負けないくらい仕事ができる人もいる。(70代男性)
- ・ 女性の管理職の数が少ない。(60代男性)
- ・ 職場によっては、女性に実力があっても職場の管理職にはなれないと思われる。(70代女性)
- ・ 職場の管理職や役員などで男性優位、育休の取得など子育ては女性に偏っていると感じる時がある。(50代男性)
- ・ 給料や昇進等(40代女性)
- ・ 給料が違う。(50代女性)
- ・ 賃金の格差(50代男性)
- ・ 賃金に当然のように男女格差がある！！(60代女性)
- ・ 給与・賃金、仕事内容(50代女性)
- ・ 職場（会社）の男女の格差、役職の差
- ・ 雇用は男が多く、優遇されている。(40代男性)
- ・ 仕事の種類では男性優位はあると思う。(60代男性)

- ・ 仕事内容で男性優遇(60代男性)
- ・ 職員採用で男性が優遇(40代男性)
- ・ 職種によって男女で偏りがまだあるかなと思う程度です。(40代男性)
- ・ 職場で女性が排除をしなければならない。(50代女性)
- ・ 男が出来る仕事、女が出来る仕事があり、仕事によっては出来ない場合に不平等を感じる。(70代男性)
- ・ 特に中小企業の労働時間が長過ぎて、家事や趣味に時間を費やすことが難しい。それが家庭で女性の家事労働が増える要因となっている。(70代男性)
- ・ 男性中心の職場環境(女性の職種、産休制度)(年代不明男性)
- ・ いい会社ほど不平等と感じています。(80代以上女性)
- ・ 仕事で失敗した時に個人ではなく「これだから女は」と一括りにされてチャンスを失う時。(40代女性)
- ・ 今の職場は男女平等だが、前の職場は上司が男性ということもあり、女性の体調(生理痛)の理解度が低く、有休を取ることも言いにくい職場だった。(40代女性)
- ・ 「育休」や「介護休暇」は制度上は男性も申請できるようになっていて、都会では取得する人がいるが、本町では取得したとい話は聞いたことがない。(60代女性)
- ・ 男性の育休取得が難しい。(30代女性)

■ 学校教育の場 (1件)

- ・ いい学校ほど不平等と感じる。(80代以上女性)

■ 政治・行政の場 (17件)

- ・ 議会の議員、役場職員の管理職は圧倒的に男性が多い。(70代男性)
- ・ 女性議員が2人しかいない。役場役職に就いている女性があまりに少ない。(50代女性)
- ・ 女性議員が少なすぎる。(70代男性)
- ・ 長い間、女性議員が不在だったことはとても残念でしたが、女性の議員が選ばれ、大変うれしいと思っています。(40代女性)
- ・ 議員がほとんど男性。(40代女性)
- ・ 女性の議員が少ない。(60代男性)
- ・ 各町村議会議員の女性議員が増えることを望みます。(80代以上男性)
- ・ 政治家、議員の数を見ると不平等を感じる。(80代以上男性)
- ・ 政治の場は男性議員が多く、男性の立場でしか考えられていない様を感じる。(60代女性)
- ・ 政治家の女性の少なさ(30代女性)
- ・ 女性は政治の場などへの参加が少くない。(40代女性)
- ・ 地方自治体や国の議会における女性議員の比率が低い。(70代男性)
- ・ 特に政治関係(50代男性)
- ・ 町役場の特に上司は男性が多い。他の公的機関も男性がはるかに優遇されている。(60代女性)
- ・ 役場で課長や補佐に女性がいなかったのは完全に不平等、おかし過ぎる。(50代女性)
- ・ 女性の地位向上が叫ばれて久しいが、議会に女性が少ないことは言うに及ばず、役場の役職も男女格差がある!!(60代女性)
- ・ 役場では夫の方が早く手続きが終わる。(50代女性)

■ 法律や制度の上 (4件)

- ・ 苗字の変更(30代女性)
- ・ 夫婦別姓(70代女性)
- ・ 離職時に男性の親権取得が困難なのは問題だ。(30代男性)
- ・ 専業主婦は働かなくても食べられるのに、働く主婦に対する法律は厳しい(60代女性)

■ 社会通念・慣習・しきたりなど (17件)

- ・ 「女の子が夜の街を歩くともんじゃない」と言われた時、「は？」と思った。(20代女性)
- ・ 男の人がよく「女のくせに…」と口にする。(60代女性)
- ・ 年配の方の男尊女卑感。(40代男性)
- ・ 何でも、どこでも「男が先」という風習がある(60代女性)
- ・ 奄美の生活文化の慣習に不平等あると思う。(70代男性)
- ・ 慣習、しきたりが前時代的で男性優遇(60代男性)
- ・ 昔からのしきたりなど(年代不明男性)
- ・ 年配者にはまだ慣習が残っているようだが、若い子達が徐々に変えていたり、変わっているような気がする。(60代男性)
- ・ 現在はほぼ平等と思うが、過去の名残が時々感じられる事もある。(年代不明男性)
- ・ 差別的なことはないが、文化やしきたり、生活の中でまだまだ男尊女卑は島で多いように思う。悪い意味で遅れている。祖父母や親がそうしてきた歴史があり、抜け出せていない。(40代男性)

- ・法令制度は平等だが、慣習やしきたりは歴史と根付きがあるため、無理して平等にすべきものでもなく、ケースバイケースで判断すべき。(50代男性)
 - ・祭や風土的なイベント事があったとき、他の市町村に比べ男性が優遇されているイメージがある。(50代男性)
 - ・舟こぎ大会の「オープン」と「女子の部」で賞金が違う。(40代男性)
 - ・正月、豊年祭の台所作業(50代男性)
 - ・集落の祭り等で昔からの役割をそのまま引き継いでいるため不平等が残っていると思う。(40代男性)
 - ・集落等の飲み会で、女性がお酌させられる。(20代男性)
 - ・会食の間などでは女性がお接待をさせられる。女性の意見が反映されることが少ない。(30代女性)
- 自治会やPTAなどの地域活動の場（10件）
- ・作業など女性に出来ない事が多い。男性が大変と思う。(70代女性)
 - ・公的トイレの掃除を女性のみでやっている集落があるらしい。集落の施設であればどうして男性もしないのか？公民館や道路の作業などは男女関係なくやるのに、トイレ掃除はどのようにして男性はしなくて良しとするのか。(年代不明女性)
 - ・集落の役員の数、男性5：女性2(80代以上女性)
 - ・集落役員が全員男性。(60代男性)
 - ・青年団に比べ婦人会の仕事量にとても多いことに格差を感じる。(30代女性)
 - ・地域行事や学校行事に女性が行く割合が高いと感じる。(30代女性)
 - ・地域活動など(80代以上女性)
 - ・地域において、女性がボランティアに関わることは当たり前との風潮がある。(60代女性)
 - ・学校のPTA活動の話し合いで、お母さんの出席率が高い。(40代女性)
 - ・地域行事では男性は座って飲み、女性が忙しく動いていることが多いと感じる。(40代女性)
- 全体・その他（21件）
- ・女性は子どもや家庭に関する事、他のことは男性が家長として集会や会合などに参加することが多い。(40代女性)
 - ・家事の負担が大きく働きづらい女性が多かったり、PTA活動の交流や懇談の席は男性の参加が多く、女性の多くは家で子どもを見守っているなど、まだまだ社会は男性中心の状況にあると感じる。(40代女性)
 - ・女性が発言したことは通らない。(40代女性)
 - ・まだまだ女性の考えには耳を傾けないことが多い。面倒なこと、細かいことは男性はあまりしたがらず、結論を急ぐことが多いと感じる。(年代不明男性)
 - ・質問等に対応していると、「男の人はいないか」と言われ、男性の意見に納得する。(50代女性)
 - ・要職に就いているのは男性が大半で、女性だと珍しがられる風潮が未だに根強い。(40代女性)
 - ・奄美の男性は特に高齢になるほど未だに男女共同を理解していない。(70代女性)
 - ・明らかに男性優位と思っている人も、平等だと思っている人も無意識に男性優位になる言動を行っており、男女とも潜在意識では男性優位であると認識していると思う。例えば、家事・育児に関して（夫・父親が）「手伝ってやる」、（妻・母親は）「手伝ってもらっている」という感覚。(40代女性)
 - ・両立、三立、五立しているのは女性。昔から女性はなぜ何でもしなければならぬのでしょうか？仕事、家事、育児、行事参加・活動etc男女平等なんてないのが地球人。(年代不明女性)
 - ・町や集落の役員等の女性割合が低い。特に集落では伝統的に続いている。女性が積極的に関わろうとしないことも原因ではないかと思う。イベントや会議などいろんな機会に女性の活躍の場を多く提供してほしい。(60代女性)
 - ・コンプライアンスが行き届く職場等では男女はほぼ平等にあるが、家庭内、地域社会では男性が優遇されている。(50代男性)
 - ・今の社会では「男」「女」で不平等は決められず、見るべきは「個」だと思う。(30代男性)
 - ・瀬戸内町においては、男女以前に学識経験者の優遇がひどすぎ。(70代女性)
 - ・私が40代の頃は「女性は家庭」という時代で、現在の男女平等が全く信じられない。(80代以上女性)
 - ・不平と思いがけないことで平等になっていると思う。(70代男性)
 - ・男と女は違うから家庭や職場でのやることは違って平等。力仕事はどうしようもない。(70代男性)
 - ・不平等とは思わないが、体力的に男性の方が優位だと思う。(80代以上女性)
 - ・自分が年を取って鈍感になったのかあまり感じない。(50代女性)
 - ・男女共同参画を声高らかに叫んでいる間は、不平等は解消されていないと思う。(50代男性)
 - ・男女平等と言っていることが違和感。(年代不明男性)
 - ・（少しずつ増えてきていますが）授乳室等が男子トイレの場所になかった時。(40代女性)

(3) 女性が職業を持つことに対する考え

Q3 一般的に女性が職業をもつことに対する考えについて【問3】

- ① 女性は職業をもたないほうがよい
- ② 結婚するまでは職業をもつ方がよい
- ③ 子どもができるまでは職業をもつ方がよい
- ④ 子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい
- ⑤ 子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら職業をもつ方がよい

ア 総計 (図表 1-(3)-1)

- ・ 女性が職業を持つことについて訊いたところ、『子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい』(66.7%)と回答した割合が最も高く、次いで『子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら職業をもつ方がよい』(18.3%)となっている。
- ・ 『子どもができるまで』や『結婚するまで』と回答した割合は低く(7.4%と 3.6%)、『職業をもたないほうがよい』と回答した人はほとんどいない。

イ 性別、性・年代別、性・職業別 (図表 1-(3)-1,2)

- ・ 男女とも『子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい』と回答した割合が最も高い(女性 71.5%、男性 63.3%)が、男女で差がある。
- ・ 性・年代別では、『子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい』と回答した割合は、女性の 40 代以下で 8 割を超えており、女性の 50、60 代と男性の 29 歳以下、40、50 代も 7 割を超えている。一方、『子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら職業をもつ方がよい』と回答した割合が最も高いのは、30 代の男性で 35.3%。
- ・ 職業別では、男女とも『子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい』と回答した割合は、「正規雇用者」、「非正規雇用者」、「自営業者」、「無職」の順に高く、『子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら職業をもつ方がよい』は「自営業者」の男性が高い(37.2%)。

ウ 奄美大島 4 町村・県・内閣府調査との比較 (図表 1-(3)-1)

- ・ 奄美大島 4 町村の調査と比較すると、大きな差はみられない。(5 ポイントを超える差がない。)
- ・ 県調査、内閣府調査と比較すると、総計及び男女とも『子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい』と回答した割合が高く、『子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら職業をもつ方がよい』と回答した割合が低い。

図表 1-(3)-1 女性が職業をもつことに対する考え【総計、性別、前回調査、奄美大島 4 町村、県・内閣府調査】

瀬戸内町			女性は職業をも	結婚するまでは	子どもができるま	子どもができて、	子どもができたなら職業を	無回答
			たないほうがよい	職業をもつ方が	では、職業をもつ	ずっと職業をもち	やめ、子どもが大きくなっ	
今回調査	総計	(n=607)	1.3%	3.6%	7.4%	66.7%	18.3%	2.6%
	女性	(n=305)	1.6%	2.3%	6.9%	71.5%	14.1%	3.6%
	男性	(n=289)	1.0%	4.8%	7.6%	63.3%	21.5%	1.7%
奄美大島 4 町村	総計	(n=2,147)	1.4%	3.7%	7.6%	66.1%	16.5%	4.7%
	女性	(n=1,109)	1.3%	2.1%	6.7%	70.1%	15.3%	4.6%
	男性	(n=990)	1.4%	5.3%	8.7%	63.2%	17.0%	4.4%
県調査	総計	(n=2,094)	0.2%	2.1%	4.3%	52.3%	29.4%	11.6%
	女性	(n=1,200)	0.2%	2.2%	4.3%	51.8%	29.4%	12.2%
	男性	(n=875)	0.2%	2.2%	4.1%	52.9%	29.7%	10.8%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	0.7%	2.6%	7.7%	59.5%	27.1%	2.4%
	女性	(n=1,534)	0.6%	2.4%	6.3%	61.3%	27.0%	2.4%
	男性	(n=1,313)	0.9%	2.7%	9.4%	57.4%	27.3%	2.3%

図表 1-(3)-2 女性が職業をもつことに対する考え【性・年代別、性・職業別】

		サンプル数	女性はいは うが業を よいた	結婚する 方までは よい職	子どもが よい職業 をもつま	子どもが よいつけ るとでき る職業を よ	子どもが よいつけ るとでき る職業を よ	子どもが よいつけ るとでき る職業を よ	無回答	
総計		607	8	22	45	405	111	16		
		100.0%	1.3%	3.6%	7.4%	66.7%	18.3%	2.6%		
性・年代別	女性	305	5	7	21	218	43	11		
		100.0%	1.6%	2.3%	6.9%	71.5%	14.1%	3.6%		
		18~29歳	16	0	0	1	14	0	1	
		100.0%	0.0%	0.0%	6.3%	87.5%	0.0%	6.3%		
		30~39歳	31	0	1	0	27	2	1	
		100.0%	0.0%	3.2%	0.0%	87.1%	6.5%	3.2%		
		40~49歳	40	0	0	2	32	5	1	
		100.0%	0.0%	0.0%	5.0%	80.0%	12.5%	2.5%		
		50~59歳	41	1	0	3	32	5	0	
	100.0%	2.4%	0.0%	7.3%	78.0%	12.2%	0.0%			
	60~69歳	80	0	1	8	57	10	4		
	100.0%	0.0%	1.3%	10.0%	71.3%	12.5%	5.0%			
	70~79歳	55	1	2	5	34	13	0		
	100.0%	1.8%	3.6%	9.1%	61.8%	23.6%	0.0%			
	80歳以上	34	2	3	2	18	6	3		
	100.0%	5.9%	8.8%	5.9%	52.9%	17.6%	8.8%			
男性	289	3	14	22	183	62	5			
	100.0%	1.0%	4.6%	7.2%	60.0%	20.3%	1.6%			
	18~29歳	14	0	0	2	10	2	0		
	100.0%	0.0%	0.0%	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%			
	30~39歳	17	0	0	0	11	6	0		
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	64.7%	35.3%	0.0%			
	40~49歳	33	0	1	1	24	7	0		
	100.0%	0.0%	3.0%	3.0%	72.7%	21.2%	0.0%			
	50~59歳	51	1	1	2	37	9	1		
100.0%	2.0%	2.0%	3.9%	72.5%	17.6%	2.0%				
60~69歳	73	1	2	7	50	12	1			
100.0%	1.4%	2.7%	9.6%	68.5%	16.4%	1.4%				
70~79歳	67	1	7	6	33	18	2			
100.0%	1.5%	10.4%	9.0%	49.3%	26.9%	3.0%				
80歳以上	18	0	2	2	9	4	1			
100.0%	0.0%	11.1%	11.1%	50.0%	22.2%	5.6%				
性・職業別	女性	正規雇用者	61	0	1	2	51	6	1	
		100.0%	0.0%	1.6%	3.3%	83.6%	9.8%	1.6%		
		非正規雇用者	73	0	0	2	61	9	1	
		100.0%	0.0%	0.0%	2.7%	83.6%	12.3%	1.4%		
	男性	自営業者	50	1	1	2	37	6	3	
		100.0%	2.0%	2.0%	4.0%	74.0%	12.0%	6.0%		
		無職	103	3	5	13	60	18	4	
		100.0%	2.9%	4.9%	12.6%	58.3%	17.5%	3.9%		
女性	正規雇用者	108	1	1	7	79	19	1		
	100.0%	0.9%	0.9%	6.5%	73.1%	17.6%	0.9%			
	非正規雇用者	31	1	0	3	22	5	0		
	100.0%	3.2%	0.0%	9.7%	71.0%	16.1%	0.0%			
男性	自営業者	43	1	2	2	22	16	0		
	100.0%	2.3%	4.7%	4.7%	51.2%	37.2%	0.0%			
	無職	84	0	10	8	46	16	4		
	100.0%	0.0%	11.9%	9.5%	54.8%	19.0%	4.8%			

※「自営業者」には家族従業員を含み、「無職」には主婦・主夫及び学生を含む。

(4) 固定的な性別役割分担意識

Q4 「男性(夫)は外で働き、女性(妻)は家庭を守るべきである」といった性別を理由に役割を固定的にわける考え方（固定的性別役割分担）について【問4】

- ①賛成
- ②どちらかという賛成 ①+②『肯定』
- ③どちらかという反対
- ④反対 ③+④『否定』

ア 総計 (図表 1-(4)-1)

- ・ 「男性(夫)は外で働き、女性(妻)は家庭を守るべきである」といった性別を理由に役割を固定的にわける考え方について訊いたところ、「反対」と回答した割合(36.2%)が最も高く、次いで「どちらかという反対」(34.4%)。
- ・ 「反対」と「どちらかという反対」を合わせた『否定』(70.7%)と回答した割合が、「どちらかという賛成」と「賛成」を合わせた『肯定』(27.8%)と回答した割合より42.9ポイント高くなっている。

イ 性別 (図表 1-(4)-1)

- ・ 女性は「反対」(42.3%)、男性は「どちらかという反対」(34.9%)と回答した割合が最も高く、女性の76.4%、男性の65.7%が『否定』と回答している。
- ・ 男女とも『否定』が『肯定』を大きく上回り、女性は54.8ポイント、男性は32.1ポイント高くなっている。

ウ 前回調査との比較 (図表 1-(4)-1)

- ・ 男女とも「反対」と回答した割合が上昇し、特に女性の上昇幅が20.8ポイントと大きい。『否定』の割合も男女とも上昇(14.8ポイントと14.1ポイント)。
- ・ 男女とも「賛成」と「どちらかといえば賛成」と回答した割合は低下している。

エ 奄美大島4町村・県・内閣府調査との比較 (図表 1-(4)-1)

- ・ 奄美大島4町村の調査と比較すると、同様の傾向。
- ・ 県調査及び内閣府調査と比較すると、男女とも「反対」と回答した割合が高く、『否定』が10ポイント以上高い。また、男女とも『肯定』が低くなっている。

図表 1-(4)-1 性別による固定的な役割分担に対する考え方【総計、性別、前回調査、奄美大島4町村、県・内閣府調査】

調査対象	性別	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	無回答	肯定	否定
瀬戸内町 今回調査	総計 (n=607)	2.5%	25.4%	34.4%	36.2%	1.5%	27.8%	70.7%
	女性 (n=305)	2.0%	19.7%	34.1%	42.3%	2.0%	21.6%	76.4%
	男性 (n=289)	2.8%	30.8%	34.9%	30.8%	0.7%	33.6%	65.7%
前回調査	総計 (n=281)	6.3%	28.8%	35.5%	20.3%	9.1%	35.1%	55.8%
	女性 (n=152)	5.3%	24.7%	40.1%	21.5%	8.5%	30.0%	61.6%
	男性 (n=124)	7.1%	33.6%	32.2%	19.4%	7.6%	40.7%	51.6%
奄美大島 4町村	総計 (n=2,147)	4.0%	23.8%	36.4%	34.0%	1.9%	27.8%	70.4%
	女性 (n=1,109)	2.9%	19.2%	35.8%	40.1%	2.0%	22.1%	75.9%
	男性 (n=990)	4.9%	28.6%	36.9%	28.2%	1.4%	33.5%	65.1%
県調査	総計 (n=2,094)	4.0%	31.5%	35.7%	24.7%	4.1%	35.5%	60.4%
	女性 (n=1,200)	3.5%	27.4%	38.2%	26.6%	4.3%	30.9%	64.8%
	男性 (n=875)	4.7%	37.3%	31.9%	22.4%	3.8%	41.9%	54.3%
内閣府調査	総計 (n=2,847)	4.0%	29.4%	38.2%	26.1%	2.2%	33.4%	64.3%
	女性 (n=1,534)	3.0%	25.4%	40.4%	29.0%	2.2%	28.4%	69.4%
	男性 (n=1,313)	5.3%	34.2%	35.6%	22.7%	2.2%	39.5%	58.3%

オ 性・年代別 (図表 1-(4)-2)

- ・ 男女ともすべての年代で『否定』と回答した割合が『肯定』を上回っている。
- ・ 女性は年代が低いほど『否定』と回答した割合が高く、年代が高いほど『肯定』と回答した割合が高くなっている。男性は40代以上は女性と同じ傾向にあるが、30代以下はその傾向にない。

- ・「反対」と回答した割合は40代の女性(70.0%)が最も高く、次いで29歳以下の男女(ともに50.0%)、30代の男女(女性48.4%、男性47.1%)。
- ・「どちらかといえば反対」を合わせ『否定』と回答した割合は、女性は30代以下で9割を超え、40代と50代は8割。男性は、40代が75.8%で最も高い。
- ・『肯定』と回答した割合は、70代以上の男性で4割を超えている。

図表 1-(4)-2 性別による固定的な役割分担に対する考え方【性・年代別】

		サンプル数	賛成	どちら ば賛成と	どちら ば反対と	反対	無回答	『肯定』	『否定』
総計		607	15	154	209	220	9	27.8%	70.7%
		100.0%	2.5%	25.4%	34.4%	36.2%	1.5%		
性・年代別	女性	305	6	60	104	129	6	21.6%	76.4%
		100.0%	2.0%	19.7%	34.1%	42.3%	2.0%		
	18~29歳	16	1	0	7	8	0	6.3%	93.8%
		100.0%	6.3%	0.0%	43.8%	50.0%	0.0%		
	30~39歳	31	0	3	13	15	0	9.7%	90.3%
		100.0%	0.0%	9.7%	41.9%	48.4%	0.0%		
	40~49歳	40	1	6	4	28	1	17.5%	80.0%
		100.0%	2.5%	15.0%	10.0%	70.0%	2.5%		
	50~59歳	41	1	7	16	17	0	19.5%	80.5%
		100.0%	2.4%	17.1%	39.0%	41.5%	0.0%		
	60~69歳	80	2	13	33	30	2	18.8%	78.8%
		100.0%	2.5%	16.3%	41.3%	37.5%	2.5%		
	70~79歳	55	1	17	17	19	1	32.7%	65.5%
		100.0%	1.8%	30.9%	30.9%	34.5%	1.8%		
	80歳以上	34	0	11	11	10	2	32.4%	61.8%
		100.0%	0.0%	32.4%	32.4%	29.4%	5.9%		
	男性	289	8	89	101	89	2	33.6%	65.7%
		100.0%	2.8%	30.8%	34.9%	30.8%	0.7%		
18~29歳	14	0	4	3	7	0	28.6%	71.4%	
	100.0%	0.0%	28.6%	21.4%	50.0%	0.0%			
30~39歳	17	0	5	4	8	0	29.4%	70.6%	
	100.0%	0.0%	29.4%	23.5%	47.1%	0.0%			
40~49歳	33	1	7	14	11	0	24.2%	75.8%	
	100.0%	3.0%	21.2%	42.4%	33.3%	0.0%			
50~59歳	51	0	14	19	18	0	27.5%	72.5%	
	100.0%	0.0%	27.5%	37.3%	35.3%	0.0%			
60~69歳	73	2	22	27	22	0	32.9%	67.1%	
	100.0%	2.7%	30.1%	37.0%	30.1%	0.0%			
70~79歳	67	4	26	27	9	1	44.8%	53.7%	
	100.0%	6.0%	38.8%	40.3%	13.4%	1.5%			
80歳以上	18	1	7	4	5	1	44.4%	50.0%	
	100.0%	5.6%	38.9%	22.2%	27.8%	5.6%			

(5) 性別による固定的な役割分担を肯定する理由

Q5 Q4で「賛成」又は「どちらかといえば賛成」と回答した人のそう考える理由（複数回答）【問5】

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| ①日本の伝統的な考え方や男女・夫婦の在り方だと思うから | 『伝統的な考え方や在り方だ』 |
| ②自分の父親は外で働き、母親は家を守っているから・いたから | 『親がそう(だった)』 |
| ③男性が外で働いた方が、多くの収入が得られると思うから | 『収入が多く得られる』 |
| ④女性が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから | 『子どもの成長などにとって良い』 |
| ⑤育児・介護・家事と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから | 『女性が働き続けることは大変』 |
| ⑥性別によって特性や能力、向き・不向きが違うと思うから | 『性別によって特性や能力は違う』 |
| ⑦その他 | |

ア 総計 (図表 1-(5)-1)

- 「男性(夫)は外で働き、女性(妻)は家庭を守るべきである」といった性別を理由に役割を固定的にわける考え方について、「賛成」と「どちらかといえば賛成」と回答した人にその理由を訊いたところ、『子どもの成長などにとって良い』と回答した割合が最も高く(47.3%)、次いで『女性が働き続けることが大変』(43.2%)。
- 『収入が多く得られる』と『親がそう(だった)』は、24.3%と23.7%

イ 性別、性・年代別 (図表 1-(5)-1,2)

- 女性では、『女性が働き続けることは大変』と回答した割合が最も高く(43.9%)、次いで『子どもの成長などにとって良い』(42.4%)、『収入が多く得られる』(33.3%)。男性では、『子どもの成長などにとって良い』と回答した割合が最も高く(49.5%)、次いで『女性が働き続けることは大変』(44.3%)。
- 男女で差が大きいのは、『収入が多く得られる』で、15.8ポイント女性が高い。
- 対象者(サンプル数)が一定数ある40代以上の年代別を見ると、40～50代の女性と80歳以上の男女で『女性が働き続けることは大変』と回答した割合が高い。一方、50代の男性と60～70代の男女では『子どもの成長などにとって良い』が高く、60代の女性は8割。
- 『性別によって特性や能力は違う』と回答した割合は、男女とも40代が他の年代に比べて高い(女性42.9%、男性62.5%)。

ウ 奄美大島4町村調査との比較 (図表 1-(5)-1)

- 総計では『収入が多く得られる』以外の項目で回答した割合は高くなっており、特に『女性が働き続けることは大変』について差が大きい(9.1ポイント)。
- 女性では、『親がそう(だった)』(8.4ポイント)、男性では、『女性が働き続けることは大変』(12.2ポイント)と回答した割合が高い。

エ 内閣府調査との比較 (図表 1-(5)-1)

- 『子どもの成長などにとって良い』、『女性が働き続けることは大変』及び『収入が多く得られる』と回答した割合は低く、『親がそう(だった)』と『伝統的な考え方や在り方だ』は高い。
- 女性では、『女性が働き続けることは大変』と回答した割合が16.8ポイント低く、『親がそう(だった)』が18.7ポイント高い。
- 男性では、『女性が働き続けることは大変』と『収入が多く得られる』と回答した割合がそれぞれ7.8ポイントと12.4ポイント低く、『親がそう(だった)』が13.4ポイント高い。

図表 1-(5)-1 性別による固定的な役割分担の考え方を肯定する理由 (複数回答)【総計、性別、奄美大島4町村、内閣府調査】

瀬戸内町			伝統的な考え方や在り方だ	親がそう(だった)	収入が多く得られる	子どもの成長などにとって良い	女性が働き続けることは大変	性別によって特性や能力は違う	その他	無回答
今回調査	総計	(n=169)	17.8%	23.7%	24.3%	47.3%	43.2%	21.3%	1.2%	0.0%
	女性	(n=66)	16.7%	25.8%	33.3%	42.4%	43.9%	24.2%	1.5%	0.0%
	男性	(n=97)	18.6%	22.7%	17.5%	49.5%	44.3%	20.6%	1.0%	0.0%
奄美大島4町村	総計	(n=715)	14.3%	17.3%	22.8%	42.0%	34.1%	18.2%	1.3%	0.6%
	女性	(n=304)	13.8%	17.4%	26.3%	35.5%	36.8%	18.8%	0.7%	0.7%
	男性	(n=389)	14.1%	17.2%	20.1%	46.0%	32.1%	18.5%	1.8%	0.3%
内閣府調査	総計	(n=953)	11.1%	8.3%	32.1%	59.0%	56.0%	-	-	0.9%
	女性	(n=435)	10.1%	7.1%	34.7%	53.8%	60.7%	-	-	0.0%
	男性	(n=518)	12.0%	9.3%	29.9%	63.3%	52.1%	-	-	0.0%

※各項目回答者数=Q4①②回答者数

図表 1-(5)-2 性別による固定的な役割分担の考え方を肯定する理由（複数回答）【性・年代別】

		サンプル数	だえ伝や統在的りな方考	（親だがつたう）	得取ら入れがる多く	と長子つなどども良にの成	は続女大け性がこ働とき	力て性は特別にうやよ能つ	その他	無回答
総計		169	30	40	41	80	73	36	2	0
		-	17.8%	23.7%	24.3%	47.3%	43.2%	21.3%	1.2%	0.0%
性・年代別	女性	66	11	17	22	28	29	16	1	0
		-	16.7%	25.8%	33.3%	42.4%	43.9%	24.2%	1.5%	0.0%
	18～29歳	1	0	0	0	0	1	1	0	0
		-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	3	0	0	2	1	1	0	0	0
		-	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	7	0	3	0	2	4	3	0	0
		-	0.0%	42.9%	0.0%	28.6%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%
	50～59歳	8	1	2	1	2	5	0	1	0
		-	12.5%	25.0%	12.5%	25.0%	62.5%	0.0%	12.5%	0.0%
	60～69歳	15	4	3	8	12	5	5	0	0
		-	26.7%	20.0%	53.3%	80.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	70～79歳	18	4	6	7	7	5	4	0	0
		-	22.2%	33.3%	38.9%	38.9%	27.8%	22.2%	0.0%	0.0%
	80歳以上	11	1	3	3	3	7	1	0	0
		-	9.1%	27.3%	27.3%	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%	0.0%
	男性	97	18	22	17	48	43	20	1	0
	-	18.6%	22.7%	17.5%	49.5%	44.3%	20.6%	1.0%	0.0%	
18～29歳	4	0	2	1	1	2	1	0	0	
	-	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
30～39歳	5	1	0	1	0	2	1	0	0	
	-	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
40～49歳	8	2	2	1	2	2	5	0	0	
	-	25.0%	25.0%	12.5%	25.0%	25.0%	62.5%	0.0%	0.0%	
50～59歳	14	2	1	3	10	8	3	0	0	
	-	14.3%	7.1%	21.4%	71.4%	57.1%	21.4%	0.0%	0.0%	
60～69歳	24	7	7	3	13	8	4	1	0	
	-	29.2%	29.2%	12.5%	54.2%	33.3%	16.7%	4.2%	0.0%	
70～79歳	30	5	7	8	16	14	4	0	0	
	-	16.7%	23.3%	26.7%	53.3%	46.7%	13.3%	0.0%	0.0%	
80歳以上	8	1	2	0	3	4	2	0	0	
	-	12.5%	25.0%	0.0%	37.5%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	

「⑦その他」

- ・ 現在の子どもは学校から帰っても「おかえり」と言う両親がおらず親の愛情がないせいで非行者が多いのでは。(60代男性)
- ・ 固定観念は変わりづらい(50代女性)

(6) 性別による固定的な役割分担を否定する理由

Q6 Q4で「どちらかといえば反対」又は「反対」と回答した人のそう考える理由（複数回答）【問6】

①男女平等に反すると思うから	『男女平等に反する』
②自分の両親は共働きだから・だったから	『親が共働き（だった）』
③共働きする方が、多くの収入が得られると思うから	『共働きの方が収入が多い』
④女性が働いて能力を発揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから	『女性が能力を発揮したほうが個人にも社会にも良い』
⑤育児・介護・家事を男女で分担したり、職場環境や社会制度の整備などにより、女性が働き続けることは可能だと思うから	『男女の分担や職場環境・制度の整備等で女性が働き続けることは可能』
⑥個性や能力、向き・不向きは性別では決まらないと思うから	『個性や能力は性別では決まらない』
⑦その他	

ア 総計（図表 1-(6)-1）

- 性別によって固定的に役割をわける考え方について、「反対」と「どちらかといえば反対」と回答した人にその理由を訊いたところ、『個性や能力は性別では決まらない』(57.6%)と回答した割合が最も高く、次いで『男女の分担や職場環境・制度の整備等で女性が働き続けることは可能』(56.2%)。
- 『女性が能力を発揮したほうが個人にも社会にも良い』、『男女平等に反する』は3割を超える人が回答。

イ 性別、性・年代別（図表 1-(6)-1,2）

- 男女とも、『個性や能力は性別では決まらない』と回答した割合が最も高く(女性 60.9%、男性 54.2%)、次いで『男女の分担や職場環境・制度の整備等で女性が働き続けることは可能』(女性 60.5%、男性 51.6%)。
- 『個性や能力は性別では決まらない』と回答した割合は、40代の女性で8割を超え、30代と50代の女性、40～50代と80代の男性で6割以上。
- 『男女の分担や職場環境・制度の整備等で女性が働き続けることは可能』と回答した割合は、29歳以下の女性が8割と最も高く、40～60代の女性と40～50代の男性は6割を超えている。
- 男性は、『女性が能力を発揮したほうが個人にも社会にも良い』(40.0%)と回答した割合が女性より7.0ポイント高い。その割合は、年代が上がるほど高くなっていて、80歳以上では55.6%。

ウ 奄美大島4町村・内閣府調査との比較（図表 1-(6)-1）

- 奄美大島4町村の調査と比較すると、同様の傾向。
- 内閣府の調査と比較すると、『男女の分担や職場環境・制度の整備等で女性が働き続けることは可能』と回答した割合が総計で37.8ポイント高く、『共働きの方が収入が多い』が総計で15.0ポイント低いが、それ以外はほぼ同様の傾向。

図表 1-(6)-1 性別による固定的な役割分担の考え方を否定する理由（複数回答）【総計、性別、奄美大島4町村、内閣府調査】

調査対象	性別	回答者数	男女平等に反する	親が共働き(だった)	共働きの方が収入が多い	女性が能力を発揮した方が個人にも社会にも良い	男女の分担や職場環境・制度の整備等で女性が働き続けることは可能	個性や能力は性別では決まらない	その他	無回答
瀬戸内町	今回調査	総計 (n=429)	34.5%	10.5%	29.8%	35.7%	56.2%	57.6%	3.7%	0.7%
		女性 (n=233)	35.2%	9.4%	30.5%	33.0%	60.5%	60.9%	4.3%	0.9%
		男性 (n=190)	33.7%	11.6%	28.9%	40.0%	51.6%	54.2%	3.2%	0.0%
奄美大島4町村	今回調査	総計 (n=1,511)	35.5%	9.5%	31.0%	34.0%	55.8%	55.9%	3.5%	1.2%
		女性 (n=842)	35.2%	9.6%	31.2%	28.6%	60.9%	61.9%	3.8%	0.8%
		男性 (n=644)	36.5%	9.5%	30.9%	41.5%	49.5%	49.2%	3.1%	1.2%
内閣府調査	今回調査	総計 (n=1,831)	35.7%	13.3%	44.8%	40.0%	18.4%	-	70.8%	0.9%
		女性 (n=1,065)	36.9%	13.8%	45.0%	37.6%	18.3%	-	74.9%	0.7%
		男性 (n=766)	33.9%	12.7%	44.5%	43.3%	18.5%	-	65.0%	1.2%

※各項目回答者数：Q4③④回答者数

※内閣府調査の「その他」は、「固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから」

図表 1-(6)-2 性別による固定的な役割分担の考え方を否定する理由（複数回答）【性・年代別】

		サンプル数	男女平等に反する	た親が共働き（だつ	が共働きの方が収入	社女性に方も良個人に発揮	け等環男の環境の分担任の職場	で個性や能力は性別	その他	無回答
総計		429	148	45	128	153	241	247	16	3
		-	34.5%	10.5%	29.8%	35.7%	56.2%	57.6%	3.7%	0.7%
性・年代別	女性	233	82	22	71	77	141	142	10	2
		-	35.2%	9.4%	30.5%	33.0%	60.5%	60.9%	4.3%	0.9%
	18～29歳	15	3	4	8	3	12	8	0	0
		-	20.0%	26.7%	53.3%	20.0%	80.0%	53.3%	0.0%	0.0%
	30～39歳	28	7	4	7	9	14	19	1	0
		-	25.0%	14.3%	25.0%	32.1%	50.0%	67.9%	3.6%	0.0%
	40～49歳	32	15	3	11	14	20	26	2	1
		-	46.9%	9.4%	34.4%	43.8%	62.5%	81.3%	6.3%	3.1%
	50～59歳	33	16	4	9	9	22	21	2	0
		-	48.5%	12.1%	27.3%	27.3%	66.7%	63.6%	6.1%	0.0%
	60～69歳	63	25	5	21	16	44	37	3	0
		-	39.7%	7.9%	33.3%	25.4%	69.8%	58.7%	4.8%	0.0%
	70～79歳	36	8	0	9	16	20	19	1	1
		-	22.2%	0.0%	25.0%	44.4%	55.6%	52.8%	2.8%	2.8%
	80歳以上	21	6	1	5	8	7	8	0	0
		-	28.6%	4.8%	23.8%	38.1%	33.3%	38.1%	0.0%	0.0%
	男性	190	64	22	55	76	98	103	6	0
		-	33.7%	11.6%	28.9%	40.0%	51.6%	54.2%	3.2%	0.0%
18～29歳	10	4	3	3	2	2	5	1	0	
	-	40.0%	30.0%	30.0%	20.0%	20.0%	50.0%	10.0%	0.0%	
30～39歳	12	6	3	4	4	8	6	1	0	
	-	50.0%	25.0%	33.3%	33.3%	66.7%	50.0%	8.3%	0.0%	
40～49歳	25	9	5	8	9	16	16	2	0	
	-	36.0%	20.0%	32.0%	36.0%	64.0%	64.0%	8.0%	0.0%	
50～59歳	37	10	3	11	14	18	23	1	0	
	-	27.0%	8.1%	29.7%	37.8%	48.6%	62.2%	2.7%	0.0%	
60～69歳	49	15	4	13	21	25	17	0	0	
	-	30.6%	8.2%	26.5%	42.9%	51.0%	34.7%	0.0%	0.0%	
70～79歳	36	13	2	9	16	17	19	0	0	
	-	36.1%	5.6%	25.0%	44.4%	47.2%	52.8%	0.0%	0.0%	
80歳以上	9	4	1	3	5	5	6	0	0	
	-	44.4%	11.1%	33.3%	55.6%	55.6%	66.7%	0.0%	0.0%	

「⑦その他」

- ・それぞれの夫婦が話し合っで決めることだと思うから。(60代女性)
- ・男とか女とか関係なく、夫婦で好きにしたいと思う。(40代男性)
- ・個々の自由だから。(50代女性)
- ・個人の気持ちを優先した方が良いと思う。(60代女性)
- ・好きにすればいい。(30代男性)
- ・専業主夫の選択もあると思う。(40代男性)
- ・仕事をするつもりはないから。(年代不明男性)
- ・性別に関係なく、社会に出るべき。(40代女性)
- ・女性もやりたい仕事があれば勤め上げることができる社会をつくる事が公平だから。(50代男性)
- ・性別により役割が固定することは次世代に対しても負の遺産を残すことになる。(40代女性)
- ・共働きでも収入が低い。(30代女性)
- ・昔と違い、給料が少ないから。(20代男性)
- ・二人で働かないと食べられない人もいる。(60代女性)
- ・現在に至るまで収入を得て、ずっと仕事を続けている。(70代女性)
- ・(性別による固定的な役割分担は)大昔の男尊女卑的な考え方だと思うから。(50代女性)
- ・未だに正社員でない仕事だと思わず、家事・子育ては女性の仕事だという人が多い。(年代不明女性)

2 家庭生活・地域活動について

(1) 家事、育児、介護・看護、地域活動における夫婦の役割分担

Q7 現在結婚（事実婚を含む。）している人の家事、育児、介護・看護、地域活動の参加における夫婦の分担の状況（育児と介護・看護については過去の経験も含む。）について【問9】

- ①配偶者(パートナー)で半分ずつ分担
- ②妻(女性パートナー)の方が多く分担
※女性では「自分の方が配偶者(パートナー)より多く分担」、男性では「配偶者(パートナー)の方が自分より多く分担」
- ③夫(男性パートナー)の方が多く分担
※女性では「配偶者(パートナー)の方が自分より多く分担」、男性では「自分の方が配偶者(パートナー)より多く分担」
- ④その他の方法で分担
- ⑤該当なし

ア 総計（図表 2-(1)-1）

- ・ 配偶者（事実婚のパートナーを含む。）がいる人に家庭生活や地域活動の参加についての夫婦の分担を聞いたところ、「妻が多く分担」と回答した割合が、「家事」(63.2%)、「育児」(55.5%)、「介護」(38.9%)、「地域活動」(34.4%)のすべての項目で最も高くなっている。
- ・ 「夫が多く分担」と回答した割合は、「地域活動」(25.6%)を除くすべての項目で低い。
- ・ 「半分ずつ分担」と回答した人の割合は、「地域活動」(22.4%) が最も高く、次いで「家事」(18.7%)。「育児」と「介護・看護」はともに 11.7%。
- ・ 「育児」では 20.0%、「介護・看護」では 38.7%が「該当なし」と回答しているため、実際に育児や介護・看護を行っている家庭では、「育児」は 7 割以上、「介護・看護」は 7 割近くが「妻が多く分担」していることになる。

図表 2-(1)-1 家庭生活・地域活動における夫婦の役割分担【総計】

瀬戸内町			夫が多く分担	妻が多く分担	半分ずつ分担	その他の方法で分担	該当なし	無回答
今回調査	家事	(n=375)	11.2%	63.2%	18.7%	3.7%	0.0%	3.2%
	育児	(n=375)	5.1%	55.5%	11.7%	2.1%	20.0%	5.6%
	介護・看護	(n=375)	5.6%	38.9%	11.7%	0.8%	38.7%	4.3%
	地域活動	(n=375)	25.6%	34.4%	22.4%	1.3%	10.7%	5.6%

イ 性別（図表 2-(1)-2～5）

- ・ 「家事」「育児」「介護・看護」については、男女で夫婦の役割分担の状況の認識はほとんど変わらない。
- ・ 「地域活動」については、女性では「妻が多く分担」と回答した割合が 40.8%、男性では 28.4%となっている一方、「夫が多く負担」と回答した割合は女性が 19.6%、男性が 31.6%となっており、男女間で認識のギャップがみられる。

ウ 前回調査との比較（図表 2-(1)-2～5）

- ・ 「家事」については、「半分ずつ分担」と回答した割合が低下し、「夫が多く分担」が上昇。
- ・ 「育児」「介護・看護」「地域活動」については、「半分ずつ分担」と回答した割合が低下し、「妻が多く分担」が上昇。特に「育児」と「介護・看護」で「妻が多く分担」と回答した男性の割合が上昇し、それぞれ 24.7 ポイント、21.8 ポイント高くなっている。
- ・ 「家事」「育児」「介護・看護」については、「妻が多く分担」と回答した割合は上昇したものの、男女間の差は縮小している。

エ 奄美大島 4 町村・県調査との比較（図表 2-(1)-5）

- ・ 奄美大島 4 町村の調査と比較すると、ほぼ同様の傾向。
- ・ 県調査と比較すると、すべての項目で「半分ずつ分担」と回答した割合が低く、「家事」以外で「妻が多く分担」と回答した割合が高くなっている。また、回答した割合は低いものの、「地域活動」以外では「夫が多く分担」と回答した割合が高くなっている。

図表 2-(1)-2 家事における夫婦の役割分担【総計、性別、前回調査、奄美大島4町村、県調査】

瀬戸内町			夫が多く分担	妻が多く分担	半分ずつ分担	その他の方法で分担	該当なし	無回答
今回調査	総計	(n=375)	11.2%	63.2%	18.7%	3.7%	0.0%	3.2%
	女性	(n=184)	9.8%	63.0%	20.1%	3.8%	0.0%	3.3%
	男性	(n=190)	12.6%	63.7%	17.4%	3.7%	0.0%	2.6%
前回調査	総計	(n=281)	2.2%	66.1%	27.7%	2.4%	1.7%	0.0%
	女性	(n=152)	0.0%	73.9%	22.4%	2.5%	1.2%	0.0%
	男性	(n=124)	4.7%	56.7%	33.9%	2.4%	2.4%	0.0%
奄美大島 4町村	総計	(n=1,365)	8.6%	64.8%	17.6%	4.2%	0.0%	4.8%
	女性	(n=685)	7.0%	66.4%	18.4%	4.1%	0.0%	4.1%
	男性	(n=672)	10.4%	64.0%	17.0%	4.3%	0.0%	4.3%
県調査	総計	(n=1,493)	2.1%	63.2%	28.9%	0.5%	0.8%	4.5%
	女性	(n=803)	1.2%	67.9%	25.5%	0.2%	0.1%	5.0%
	男性	(n=687)	3.1%	58.1%	32.8%	0.9%	1.6%	3.6%

※前回調査の一部推計(以下、同様)

図表 2-(1)-3 育児における夫婦の役割分担【総計、性別、前回調査、奄美大島4町村、県調査】

瀬戸内町			夫が多く分担	妻が多く分担	半分ずつ分担	その他の方法で分担	該当なし	無回答
今回調査	総計	(n=375)	5.1%	55.5%	11.7%	2.1%	20.0%	5.6%
	女性	(n=184)	4.9%	56.0%	12.0%	2.2%	21.2%	3.8%
	男性	(n=190)	5.3%	55.3%	11.6%	2.1%	18.9%	6.8%
前回調査	総計	(n=281)	0.4%	35.2%	26.7%	0.4%	35.2%	2.1%
	女性	(n=152)	0.0%	39.5%	27.6%	0.0%	32.9%	0.0%
	男性	(n=124)	0.8%	30.6%	25.8%	0.8%	37.9%	4.0%
奄美大島 4町村	総計	(n=1,365)	4.1%	54.5%	13.3%	2.1%	18.2%	7.8%
	女性	(n=685)	4.4%	56.6%	12.3%	1.8%	17.8%	7.2%
	男性	(n=672)	3.9%	53.0%	14.6%	2.5%	18.5%	7.6%
県調査	総計	(n=1,493)	0.5%	38.4%	24.2%	0.1%	27.3%	9.5%
	女性	(n=803)	0.4%	43.1%	22.0%	0.2%	25.3%	9.0%
	男性	(n=687)	0.6%	33.0%	26.8%	0.0%	29.5%	10.0%

図表 2-(1)-4 介護・看護における夫婦の役割分担【性別、前回調査、奄美大島4町村、県調査】

瀬戸内町			夫が多く分担	妻が多く分担	半分ずつ分担	その他の方法で分担	該当なし	無回答
今回調査	総計	(n=375)	5.6%	38.9%	11.7%	0.8%	38.7%	4.3%
	女性	(n=184)	4.9%	41.8%	10.3%	1.1%	38.0%	3.8%
	男性	(n=190)	6.3%	36.3%	12.6%	0.5%	39.5%	4.7%
前回調査	総計	(n=281)	0.7%	24.6%	21.0%	3.6%	47.3%	2.8%
	女性	(n=152)	0.0%	33.1%	16.9%	5.2%	44.8%	0.0%
	男性	(n=124)	1.6%	14.5%	25.0%	1.6%	50.0%	7.3%
奄美大島 4町村	総計	(n=1,365)	6.0%	35.9%	12.9%	1.2%	37.7%	6.3%
	女性	(n=685)	5.3%	38.8%	12.3%	1.2%	36.2%	6.3%
	男性	(n=672)	6.8%	33.3%	13.4%	1.3%	39.3%	5.8%
県調査	総計	(n=1,493)	2.6%	24.8%	20.0%	1.3%	42.8%	8.4%
	女性	(n=803)	1.1%	30.4%	16.6%	1.5%	42.2%	8.2%
	男性	(n=687)	4.4%	18.5%	24.2%	1.0%	43.4%	8.6%

図表 2-(1)-5 地域活動における夫婦の役割分担【性別、前回調査、奄美大島4町村、県調査】

瀬戸内町			夫が多く分担	妻が多く分担	半分ずつ分担	その他の方法で分担	該当なし	無回答
今回調査	総計	(n=375)	25.6%	34.4%	22.4%	1.3%	10.7%	5.6%
	女性	(n=184)	19.6%	40.8%	20.1%	0.5%	13.6%	5.4%
	男性	(n=190)	31.6%	28.4%	24.7%	2.1%	7.9%	5.3%
前回調査	総計	(n=281)	27.4%	23.2%	32.6%	2.8%	14.0%	0.0%
	女性	(n=152)	18.6%	27.6%	34.6%	3.2%	16.0%	0.0%
	男性	(n=124)	39.5%	17.7%	30.6%	2.4%	9.6%	0.0%
奄美大島 4町村	総計	(n=1,365)	28.3%	30.8%	25.3%	2.0%	8.1%	5.6%
	女性	(n=685)	20.3%	37.8%	25.1%	1.9%	8.9%	6.0%
	男性	(n=672)	36.8%	24.0%	25.7%	2.1%	6.8%	4.6%
県調査	総計	(n=1,493)	23.1%	27.8%	31.7%	1.1%	10.9%	5.4%
	女性	(n=803)	16.4%	34.5%	31.9%	1.0%	10.5%	5.7%
	男性	(n=687)	31.0%	20.1%	31.6%	1.3%	11.4%	4.7%

オ 性・年代別 (図表 2-(1)-6,7)

- 「家事」「育児」「介護・看護」については、男女ともほぼすべての年代で「妻が多く分担」と回答した割合が高くなっており、その割合は男女とも 50～70 代で高く、30 代以下で低くなっている。
- 「家事」「育児」については、若い年代ほど「半分ずつ分担」と回答した割合が高い傾向にあり、「家事」では 30 代以下の男女の 3 割以上となっている。
- 「介護・看護」については、「半分ずつ分担」又は「夫が多く分担」と回答した割合が高いのは、(介護・看護の必要な家族等がないため「該当なし」と回答した人の割合を勘案すると) 50 代男女(実質 女性約 39%、男性約 50%)。
- 「地域活動」については、40 代以上の女性は「妻が多く分担」、50 代以上の男性は「夫が多く分担」と回答した割合が高い。

カ 性・就労状況別 (図表 2-(1)-6,7)

- 「家事」「育児」「介護・看護」については、男女とも就労状況にかかわらず「妻の方が多く分担」と回答した割合が高く、特に「自分のみ仕事がある」女性が高い傾向にある。
- 「家事」については、「妻の方が多く分担」と回答した割合が最も高いのは、「自分のみ仕事がある」女性で 81.3%。一方、「半分ずつ分担」又は「夫が多く分担」と回答した割合が高いのは、女性は「二人とも仕事がある」人と「どちらもない」人(34.0%、32.0%)、男性は「自分のみ仕事がある」人(39.5%)と「妻のみ仕事がある」人(37.5%)。
- 「育児」については、「半分ずつ分担」又は「夫が多く分担」と回答した割合が高いのは、「二人とも仕事がある」男女と「自分のみ仕事がある」男性で約 18%。「家事」より男性の分担する割合が低い。
- 「介護・看護」については、「半分ずつ分担」又は「夫が多く分担」と回答した割合が高いのは、実質では「夫のみ仕事がある」女性と「二人とも仕事がある」男性。
- 「地域活動」については、「自分のみ職業がある」男女と「どちらもない」男性で、「夫の方が多く分担」と回答した割合が高くなっている。

キ 性・職業別 (図表 2-(1)-6,7)

- 「家事」「育児」「介護・看護」については、職業にかかわらず「妻が多く分担」と回答した割合が最も高い。
- 「家事」については、「半分ずつ分担」と回答した割合が高いのは「正規雇用者」の女性(27.0%)、「夫が多く分担」を合わせると男性の「非正規雇用者」と「無職」が高い(40.0%、34.0%)。
- 「育児」については、「半分ずつ分担」又は「夫が多く分担」と回答した割合が高いのは、「非正規雇用者」の女性と「非正規雇用者」の男性(23.9%、30.0%)。
- 「介護・看護」については、「半分ずつ分担」又は「夫が多く分担」と回答した割合が高いのは、「非正規雇用者」の男性(30.0%)。
- 「地域活動」については、「半分ずつ分担」と回答した割合が高いのは「非正規雇用者」の男女(女性 26.1%、男性 45.0%)、「夫が多く分担」は「自営業者」の男性(32.3%)と「無職」の男女(女性 29.2% 男性 36.0%)。

図表 2-(1)-6 家事、育児における夫婦の役割分担【性・年代別、性・夫婦の就労別、性・職業別】

	サンプル数	家事						育児							
		妻が多く分擔	半分ずつ分擔	夫が多く分擔	その他の方法	該当なし	無回答	妻が多く分擔	半分ずつ分擔	夫が多く分擔	その他の方法	該当なし	無回答		
総計	375	237	70	42	14	0	12	208	44	19	8	75	21		
	100.0%	63.2%	18.7%	11.2%	3.7%	0.0%	3.2%	55.5%	11.7%	5.1%	2.1%	20.0%	5.6%		
性・年代別	女性	184	116	37	18	7	0	6	103	22	9	4	39	7	
		100.0%	63.0%	20.1%	9.8%	3.8%	0.0%	3.3%	56.0%	12.0%	4.9%	2.2%	21.2%	3.8%	
		9	3	6	0	0	0	0	2	2	0	0	5	0	
		100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	55.6%	0.0%	
		20	11	6	2	0	0	1	11	4	0	0	5	0	
		100.0%	55.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%	5.0%	55.0%	20.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	
		27	15	7	3	2	0	0	12	6	1	2	5	1	
		100.0%	55.6%	25.9%	11.1%	7.4%	0.0%	0.0%	44.4%	22.2%	3.7%	7.4%	18.5%	3.7%	
		27	16	7	2	2	0	0	14	4	1	0	8	0	
	100.0%	59.3%	25.9%	7.4%	7.4%	0.0%	0.0%	51.9%	14.8%	3.7%	0.0%	29.6%	0.0%		
	56	39	4	8	2	0	3	35	4	5	1	6	5		
	100.0%	69.6%	7.1%	14.3%	3.6%	0.0%	5.4%	62.5%	7.1%	8.9%	1.8%	10.7%	8.9%		
	34	24	5	3	1	0	1	20	2	1	1	9	1		
	100.0%	70.6%	14.7%	8.8%	2.9%	0.0%	2.9%	58.8%	5.9%	2.9%	2.9%	26.5%	2.9%		
	9	8	1	0	0	0	0	7	0	1	0	1	0		
	100.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	77.8%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%		
	男性	190	121	33	24	7	0	5	105	22	10	4	36	13	
		100.0%	63.7%	17.4%	12.6%	3.7%	0.0%	2.6%	55.3%	11.6%	5.3%	2.1%	18.9%	6.8%	
3		2	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0		
100.0%		66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%		
11		6	4	1	0	0	0	7	1	1	0	2	0		
100.0%		54.5%	36.4%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	63.6%	9.1%	9.1%	0.0%	18.2%	0.0%		
22		11	6	3	2	0	0	11	3	1	1	5	1		
100.0%		50.0%	27.3%	13.6%	9.1%	0.0%	0.0%	50.0%	13.6%	4.5%	4.5%	22.7%	4.5%		
40		27	7	3	3	0	0	24	5	3	2	6	0		
100.0%	67.5%	17.5%	7.5%	7.5%	0.0%	0.0%	60.0%	12.5%	7.5%	5.0%	15.0%	0.0%			
44	31	7	5	1	0	0	26	4	4	0	9	1			
100.0%	70.5%	15.9%	11.4%	2.3%	0.0%	0.0%	59.1%	9.1%	9.1%	0.0%	20.5%	2.3%			
49	30	7	8	0	0	4	21	7	1	0	11	9			
100.0%	61.2%	14.3%	16.3%	0.0%	0.0%	8.2%	42.9%	14.3%	2.0%	0.0%	22.4%	18.4%			
17	12	0	4	0	0	1	11	1	0	1	2	2			
100.0%	70.6%	0.0%	23.5%	0.0%	0.0%	5.9%	64.7%	5.9%	0.0%	5.9%	11.8%	11.8%			
性・夫婦の就労状況別	女性	二人とも仕事がある	97	56	23	10	5	0	3	50	14	5	2	24	2
		100.0%	57.7%	23.7%	10.3%	5.2%	0.0%	3.1%	51.5%	14.4%	5.2%	2.1%	24.7%	2.1%	
		16	13	1	0	1	0	1	11	1	0	1	2	1	
		100.0%	81.3%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	68.8%	6.3%	0.0%	6.3%	12.5%	6.3%	
	25	17	4	4	0	0	0	16	2	2	0	4	1		
	100.0%	68.0%	16.0%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%	64.0%	8.0%	8.0%	0.0%	16.0%	4.0%		
	25	17	6	2	0	0	0	15	2	1	0	6	1		
	100.0%	68.0%	24.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	8.0%	4.0%	0.0%	24.0%	4.0%		
	男性	二人とも仕事がある	92	64	17	6	5	0	0	56	9	7	1	17	2
		100.0%	69.6%	18.5%	6.5%	5.4%	0.0%	0.0%	60.9%	9.8%	7.6%	1.1%	18.5%	2.2%	
		38	21	7	8	2	0	0	16	6	1	2	11	2	
		100.0%	55.3%	18.4%	21.1%	5.3%	0.0%	0.0%	42.1%	15.8%	2.6%	5.3%	28.9%	5.3%	
8	5	3	0	0	0	0	6	1	0	0	1	0			
100.0%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%			
34	21	4	5	0	0	4	17	3	2	1	5	6			
100.0%	61.8%	11.8%	14.7%	0.0%	0.0%	11.8%	50.0%	8.8%	5.9%	2.9%	14.7%	17.6%			
性・職業別	女性	正規雇用者	37	23	10	2	1	0	1	22	7	1	1	5	1
		100.0%	62.2%	27.0%	5.4%	2.7%	0.0%	2.7%	59.5%	18.9%	2.7%	2.7%	13.5%	2.7%	
		46	29	8	6	2	0	1	22	8	3	2	10	1	
		100.0%	63.0%	17.4%	13.0%	4.3%	0.0%	2.2%	47.8%	17.4%	6.5%	4.3%	21.7%	2.2%	
	33	20	5	2	3	0	3	18	1	1	0	11	2		
	100.0%	60.6%	15.2%	6.1%	9.1%	0.0%	9.1%	54.5%	3.0%	3.0%	0.0%	33.3%	6.1%		
	65	42	13	8	1	0	1	38	6	4	1	13	3		
	100.0%	64.6%	20.0%	12.3%	1.5%	0.0%	1.5%	58.5%	9.2%	6.2%	1.5%	20.0%	4.6%		
男性	正規雇用者	80	57	17	2	4	0	0	52	9	4	3	11	1	
	100.0%	71.3%	21.3%	2.5%	5.0%	0.0%	0.0%	65.0%	11.3%	5.0%	3.8%	13.8%	1.3%		
	20	12	4	4	0	0	0	8	3	3	0	6	0		
	100.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	15.0%	15.0%	0.0%	30.0%	0.0%		
31	17	3	7	3	0	1	11	2	1	0	11	6			
100.0%	54.8%	9.7%	22.6%	9.7%	0.0%	3.2%	35.5%	6.5%	3.2%	0.0%	35.5%	19.4%			
50	29	8	9	0	0	4	28	6	1	1	8	6			
100.0%	58.0%	16.0%	18.0%	0.0%	0.0%	8.0%	56.0%	12.0%	2.0%	2.0%	16.0%	12.0%			

図表 2-(1)-7 介護・看護、地域活動への参加における夫婦の役割分担【性・年代別、性・夫婦の就労状況別、性・職業別】

	サンプル数	介護・看護						地域活動							
		妻が多く分擔	半分ずつ分擔	夫が多く分擔	その他の方法	該当なし	無回答	妻が多く分擔	半分ずつ分擔	夫が多く分擔	その他の方法	該当なし	無回答		
総計	375	146	44	21	3	145	16	129	84	96	5	40	21		
	100.0%	38.9%	11.7%	5.6%	0.8%	38.7%	4.3%	34.4%	22.4%	25.6%	1.3%	10.7%	5.6%		
性・年代別	女性	184	77	19	9	2	70	7	75	37	36	1	25	10	
		100.0%	41.8%	10.3%	4.9%	1.1%	38.0%	3.8%	40.8%	20.1%	19.6%	0.5%	13.6%	5.4%	
		9	0	1	0	0	8	0	0	1	3	0	5	0	
		100.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	88.9%	0.0%	0.0%	11.1%	33.3%	0.0%	55.6%	0.0%	
		20	4	0	0	0	16	0	6	5	6	0	3	0	
		100.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	30.0%	25.0%	30.0%	0.0%	15.0%	0.0%	
		27	9	2	1	0	15	0	12	7	3	0	5	0	
		100.0%	33.3%	7.4%	3.7%	0.0%	55.6%	0.0%	44.4%	25.9%	11.1%	0.0%	18.5%	0.0%	
	27	11	6	1	0	9	0	15	5	5	0	2	0		
	100.0%	40.7%	22.2%	3.7%	0.0%	33.3%	0.0%	55.6%	18.5%	18.5%	0.0%	7.4%	0.0%		
	56	29	6	7	2	8	4	24	11	11	1	3	6		
	100.0%	51.8%	10.7%	12.5%	3.6%	14.3%	7.1%	42.9%	19.6%	19.6%	1.8%	5.4%	10.7%		
	34	16	4	0	0	12	2	12	8	5	0	7	2		
	100.0%	47.1%	11.8%	0.0%	0.0%	35.3%	5.9%	35.3%	23.5%	14.7%	0.0%	20.6%	5.9%		
	9	7	0	0	0	1	1	4	0	3	0	0	2		
	100.0%	77.8%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	44.4%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	22.2%		
男性	190	69	24	12	1	75	9	54	47	60	4	15	10		
	100.0%	36.3%	12.6%	6.3%	0.5%	39.5%	4.7%	28.4%	24.7%	31.6%	2.1%	7.9%	5.3%		
	3	2	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0		
	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	11	2	1	0	0	8	0	1	6	1	0	3	0		
	100.0%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	72.7%	0.0%	9.1%	54.5%	9.1%	0.0%	27.3%	0.0%		
	22	3	3	0	0	15	1	9	7	1	1	3	1		
	100.0%	13.6%	13.6%	0.0%	0.0%	68.2%	4.5%	40.9%	31.8%	4.5%	4.5%	13.6%	4.5%		
40	11	8	2	1	18	0	13	9	14	2	2	0			
100.0%	27.5%	20.0%	5.0%	2.5%	45.0%	0.0%	32.5%	22.5%	35.0%	5.0%	5.0%	0.0%			
44	22	5	3	0	13	1	14	10	17	1	2	0			
100.0%	50.0%	11.4%	6.8%	0.0%	29.5%	2.3%	31.8%	22.7%	38.6%	2.3%	4.5%	0.0%			
49	17	7	6	0	13	6	11	8	18	0	4	8			
100.0%	34.7%	14.3%	12.2%	0.0%	26.5%	12.2%	22.4%	16.3%	36.7%	0.0%	8.2%	16.3%			
17	10	0	0	0	6	1	4	4	7	0	1	1			
100.0%	58.8%	0.0%	0.0%	0.0%	35.3%	5.9%	23.5%	23.5%	41.2%	0.0%	5.9%	5.9%			
性・夫婦の就労状況別	女性	二人とも仕事がある	97	36	6	5	1	47	2	38	24	16	0	16	3
		100.0%	37.1%	6.2%	5.2%	1.0%	48.5%	2.1%	39.2%	24.7%	16.5%	0.0%	16.5%	3.1%	
		16	8	4	0	1	3	0	13	0	2	0	0	1	
		100.0%	50.0%	25.0%	0.0%	6.3%	18.8%	0.0%	81.3%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	6.3%	
	25	10	6	1	0	8	0	7	6	9	1	2	0		
	100.0%	40.0%	24.0%	4.0%	0.0%	32.0%	0.0%	28.0%	24.0%	36.0%	4.0%	8.0%	0.0%		
	25	12	2	3	0	6	2	7	3	6	0	5	4		
	100.0%	48.0%	8.0%	12.0%	0.0%	24.0%	8.0%	28.0%	12.0%	24.0%	0.0%	20.0%	16.0%		
男性	二人とも仕事がある	92	30	15	5	0	41	1	29	25	26	2	8	2	
	100.0%	32.6%	16.3%	5.4%	0.0%	44.6%	1.1%	31.5%	27.2%	28.3%	2.2%	8.7%	2.2%		
	38	15	3	3	1	16	0	7	9	15	2	4	1		
	100.0%	39.5%	7.9%	7.9%	2.6%	42.1%	0.0%	18.4%	23.7%	39.5%	5.3%	10.5%	2.6%		
8	4	1	0	0	3	0	5	2	1	0	0	0			
100.0%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%	37.5%	0.0%	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%			
34	15	1	2	0	11	5	9	7	13	0	1	4			
100.0%	44.1%	2.9%	5.9%	0.0%	32.4%	14.7%	26.5%	20.6%	38.2%	0.0%	2.9%	11.8%			
性・職業別	女性	正規雇用者	37	14	6	1	1	15	0	19	8	0	10	0	
		100.0%	37.8%	16.2%	2.7%	2.7%	40.5%	0.0%	51.4%	21.6%	0.0%	0.0%	27.0%	0.0%	
		46	20	2	3	1	20	0	18	12	12	0	2	2	
		100.0%	43.5%	4.3%	6.5%	2.2%	43.5%	0.0%	39.1%	26.1%	26.1%	0.0%	4.3%	4.3%	
	33	12	2	2	0	14	3	17	4	5	0	4	3		
	100.0%	36.4%	6.1%	6.1%	0.0%	42.4%	9.1%	51.5%	12.1%	15.2%	0.0%	12.1%	9.1%		
	65	28	9	3	0	21	4	18	13	19	1	9	5		
	100.0%	43.1%	13.8%	4.6%	0.0%	32.3%	6.2%	27.7%	20.0%	29.2%	1.5%	13.8%	7.7%		
男性	正規雇用者	80	30	11	3	1	34	1	26	19	24	3	6	2	
	100.0%	37.5%	13.8%	3.8%	1.3%	42.5%	1.3%	32.5%	23.8%	30.0%	3.8%	7.5%	2.5%		
	20	5	5	1	0	9	0	4	9	5	1	1	0		
	100.0%	25.0%	25.0%	5.0%	0.0%	45.0%	0.0%	20.0%	45.0%	25.0%	5.0%	5.0%	0.0%		
31	7	3	3	0	15	3	6	6	10	0	5	4			
100.0%	22.6%	9.7%	9.7%	0.0%	48.4%	9.7%	19.4%	19.4%	32.3%	0.0%	16.1%	12.9%			
50	22	5	3	0	15	5	14	11	18	0	3	4			
100.0%	44.0%	10.0%	6.0%	0.0%	30.0%	10.0%	28.0%	22.0%	36.0%	0.0%	6.0%	8.0%			

カ 性別による固定的な役割分担に対する考え方別（図表 2-(1)-8）

- 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という性別による固定的な役割分担に対する考え方別でみると、「家事」「育児」「介護・看護」については、その考え方に「反対」と回答した人は、「賛成」と回答した人より「妻が多く分担」と回答した割合が低く、「夫が多く分担」と「半分ずつ分担」と回答した割合が高い。
- 「地域活動」については、その考え方に「反対」と回答した人は、「賛成」と回答した人より「半分ずつ分担」と回答した割合が高いものの、「妻が多く分担」と回答した割合も高く、「夫が多く分担」と回答した割合が低い。

図表 2-(1)-8 家庭生活・地域活動における夫婦の役割分担【性別による固定的な役割分担に対する考え方別】

瀬戸内町			妻が多く分担	夫が多く分担	半分ずつ分担	その他の方法で分担	該当なし	無回答
家事	賛成	(n=11)	72.7%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%
	どちらかといえば賛成	(n=100)	65.0%	9.0%	20.0%	3.0%	0.0%	3.0%
	どちらかといえば反対	(n=126)	65.9%	15.1%	15.9%	1.6%	0.0%	1.6%
	反対	(n=133)	60.2%	9.0%	21.8%	6.8%	0.0%	2.3%
育児	賛成	(n=11)	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%
	どちらかといえば賛成	(n=100)	57.0%	6.0%	6.0%	2.0%	19.0%	10.0%
	どちらかといえば反対	(n=126)	50.8%	7.1%	16.7%	2.4%	20.6%	2.4%
	反対	(n=133)	58.6%	3.0%	12.0%	2.3%	21.8%	2.3%
介護・看護	賛成	(n=11)	63.6%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	18.2%
	どちらかといえば賛成	(n=100)	35.0%	9.0%	10.0%	1.0%	36.0%	9.0%
	どちらかといえば反対	(n=126)	40.5%	7.9%	13.5%	0.0%	36.5%	1.6%
	反対	(n=133)	39.1%	1.5%	12.0%	1.5%	45.1%	0.8%
地域活動	賛成	(n=11)	36.4%	27.3%	18.2%	0.0%	0.0%	18.2%
	どちらかといえば賛成	(n=100)	28.0%	31.0%	17.0%	1.0%	10.0%	13.0%
	どちらかといえば反対	(n=126)	34.1%	29.4%	23.0%	0.8%	11.1%	1.6%
	反対	(n=133)	40.6%	16.5%	27.1%	2.3%	12.0%	1.5%

④の分担方法

■家事

- お互い何でもする。(40代男性)
- お互い協力して(50代男性、60代女性)
- できる人ができることをする。(40代女性、50代女性2、60代女性、60代男性、70代女性、年代不明男性)
- ほぼ母(40代女性)
- 適当(40代男性)
- お互いに気づいた時(年代不明男性)
- 手が空いてる人がやる。(年代性別不明)

■育児

- お互い協力して(50代男性)
- できる方ができることをする。(40代女性、年70代女性、年代不明男性)
- ほぼ母(40代女性)
- 話し合っ(60代女性)

■介護・看護

- お互いの都合で話し合っている。(60代女性)
- 弟と妹の力を借りて母親を介護(70代女性)

■地域活動

- 協力して(50代男性)
- 学校関係は妻、社会地域活動は夫(60代女性)
- 両方で(40代女性、40代男性、60代男性)

⑤の該当なし（地域活動）

- あまり参加していない。(50代男性)
- まだそういう活動がない、参加したことがない。(30代女性、40代男性)
- 高齢で無理(70代女性)
- 参加していない。(50代女性、50代男性、70代女性)
- 時間帯が合わない。(40代男性)
- 自分は身体障害者なので配偶者が出席(70代男性)
- 自分も配偶者も参加できていない。(30代女性)
- 体力的に可能なものについて参加を考える。(年代不明男性)

(2) 男性が家庭や地域活動に積極的に参加するために必要なこと

Q8 男性が家事や育児、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なこと（複数回答）【問7】

- ①男性が家事・育児に参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす 『男性の家事・育児の抵抗感をなくす』
- ②男性が育児・家事に参加することに対する女性の抵抗感をなくす 『男性が家事・育児をすることへの女性の抵抗感をなくす』
- ③夫婦や家族間のコミュニケーションをよくはかる 『夫婦や家族間のコミュニケーション』
- ④年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重する 『周囲が当事者の考え方を尊重』
- ⑤社会の中で、男性による家事・育児などの評価を高める 『社会的評価を高める』
- ⑥男性による育児・家事などについて、職場における上司や周囲の理解を進める 『職場の理解』
- ⑦労働時間の短縮や休暇制度、テレワークなどの多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること 『多様な働き方の普及により仕事以外の時間を確保』
- ⑧男性の育児・家事などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行う 『啓発や情報提供、相談、研修』
- ⑨男性が育児・家事などを行うための、仲間づくりやネットワークづくりをすすめる 『男性の仲間づくり』
- ⑩その他

ア 総計（図表2-(2)-1）

男性が家事や育児、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なことについて訊いたところ、『夫婦や家族間のコミュニケーション』(65.1%)と回答した割合が最も高く、次いで『職場の理解』(59.8%)、『男性の家事・育児の抵抗感をなくす』(48.9%)。

イ 性別（図表2-(2)-1）

- ・ 女性は、すべての項目で男性より割合が高い。男女で特に差があるのは『職場の理解』(14.0ポイント)、『周囲が当事者の考え方を尊重』(11.2ポイント)、『夫婦や家族間のコミュニケーション』(10.9ポイント)。
- ・ 女性では、『夫婦や家族間のコミュニケーション』(70.8%)と回答した割合が最も高く、次いで『職場の理解』(66.9%)、『男性の家事・育児の抵抗感をなくす』(54.1%)、『周囲が当事者の考え方を尊重』(46.9%)。
- ・ 男性では、『夫婦や家族間のコミュニケーション』(59.9%)と回答した割合が最も高く、次いで『職場の理解』(52.9%)、『男性の家事・育児の抵抗感をなくす』(44.6%)。

ウ 奄美大島4町村・県・内閣府調査との比較（図表2-(2)-1）

- ・ 奄美大島4町村の調査と比較すると、同様の傾向にある。
- ・ 県調査と比較すると、『啓発や情報提供、相談、研修』以外の項目で回答した割合が高くなっている。特に、『周囲が当事者の考え方を尊重』(25.2ポイント)、『社会的評価を高める』(20.6ポイント)が高い。
- ・ 内閣府調査と比較すると、ほぼ同様の傾向はみられるが、『男性の家事・育児の抵抗感をなくす』と回答した割合が11.8ポイント、『多様な働き方の普及により仕事以外の時間を確保』が11.1ポイント低くなっている。

図表2-(2)-1 男性の家事や地域活動への参加に必要なこと（複数回答）【総計、性別、奄美大島4町村、県・内閣府調査】

調査対象	性別	総計	男性の家事・育児の抵抗感をなくす	男性が家事・育児をすることへの女性の抵抗感をなくす	夫婦や家族間のコミュニケーション	周囲が当事者の考え方を尊重	社会的評価を高める	職場の理解	多様な働き方の普及により仕事以外の時間を確保	啓発や情報提供、相談、研修	男性の仲間づくり	その他	無回答
瀬戸内町	今回調査	総計 (n=607)	48.9%	21.3%	65.1%	41.8%	40.9%	59.8%	35.7%	21.7%	25.2%	1.5%	1.8%
		女性 (n=305)	54.1%	22.3%	70.8%	46.9%	42.0%	66.9%	39.7%	21.6%	28.5%	1.3%	1.3%
		男性 (n=289)	44.6%	19.7%	59.9%	37.0%	39.8%	52.9%	32.9%	22.1%	21.8%	1.7%	1.7%
奄美大島4町村	調査	総計 (n=2,147)	47.0%	19.8%	63.5%	41.0%	39.9%	55.0%	34.4%	20.2%	22.0%	1.7%	2.7%
		女性 (n=1,109)	51.7%	22.6%	67.5%	46.6%	43.8%	61.1%	37.7%	20.8%	24.5%	2.2%	2.3%
		男性 (n=990)	42.9%	16.6%	59.5%	35.6%	36.4%	49.4%	31.7%	19.6%	19.5%	1.3%	2.4%
県調査	調査	総計 (n=2,094)	31.6%	...	53.1%	16.6%	20.3%	...	23.3%	27.3%	7.4%	...	3.5%
		女性 (n=1,200)	32.9%	...	51.5%	18.7%	21.1%	...	22.8%	25.7%	7.3%	...	3.6%
		男性 (n=875)	29.8%	...	55.4%	13.9%	19.1%	...	24.0%	29.7%	7.4%	...	3.3%
内閣府調査	調査	総計 (n=2,847)	60.7%	...	61.8%	44.5%	44.5%	66.7%	46.8%	24.1%	24.1%	...	1.8%
		女性 (n=1,534)	66.7%	...	65.1%	52.5%	44.5%	72.3%	48.3%	25.3%	26.5%	...	1.8%
		男性 (n=1,313)	53.7%	...	58.0%	35.1%	44.4%	60.2%	44.9%	22.7%	21.2%	...	1.9%

※割合 = 当該項目選択者数 / 調査回答者数

※県調査、内閣府調査では選択項目がないものがある。

Ⅱ 性・年代別、性・職業別 (図表 2-(2)-2)

- 性・年代別では、29歳以下(81.3%)と40～70代の女性、40代の男性(72.7%)で『夫婦や家族間のコミュニケーション』、40代以下の女性(各年代8割以上)で『職場の理解』、30代の男性(76.5%)で『男性が家事・育児をすることの抵抗感をなくす』が、回答した割合が7割を超えている。
- 職業別では、「自営業者」の女性が『夫婦や家族間のコミュニケーション』(95.2%)、『職場の理解』(78.6%)及び『周囲が当事者の考え方を尊重』(69.0%)で回答した割合が高い。「正規雇用者」「非正規雇用者」の女性も、『夫婦や家族間のコミュニケーション』(72.1%と71.2%)と『職場の理解』(73.8%と71.2%)は高くなっている。

図表 2-(1)-2 男性の家事や地域活動への参加に必要なこと (複数回答)【性・年代別、性・職業別】

		サンプル数	男性の家事・育児の抵抗感をなくす	男性の女性が家事・育児をすること	夫婦や家族間のコミュニケーション	周囲が当事者の考え方を尊重	社会的評価を高める	職場の理解	多様な働き方の普及により仕事以外の時間を確保	啓発や情報提供、相談、研修	男性の仲間づくり	その他	無回答
総計		607	297 48.9%	129 21.3%	395 65.1%	254 41.8%	248 40.9%	363 59.8%	217 35.7%	132 21.7%	153 25.2%	9 1.5%	11 1.8%
性・年代別	女性	305	165 54.1%	68 22.3%	216 70.8%	143 46.9%	128 42.0%	204 66.9%	121 39.7%	66 21.6%	87 28.5%	4 1.3%	4 1.3%
	18～29歳	16	7 43.8%	2 12.5%	13 81.3%	7 43.8%	8 50.0%	14 87.5%	10 62.5%	3 18.8%	4 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30～39歳	31	14 45.2%	5 16.1%	19 61.3%	12 38.7%	14 45.2%	25 80.6%	13 41.9%	3 9.7%	8 25.8%	0 0.0%	0 0.0%
	40～49歳	40	26 65.0%	9 22.5%	30 75.0%	23 57.5%	19 47.5%	32 80.0%	22 55.0%	10 25.0%	18 45.0%	2 5.0%	0 0.0%
	50～59歳	41	23 56.1%	12 29.3%	30 73.2%	23 56.1%	22 53.7%	24 58.5%	20 48.8%	10 24.4%	16 39.0%	0 0.0%	0 0.0%
	60～69歳	80	45 56.3%	15 18.8%	60 75.0%	40 50.0%	29 36.3%	54 67.5%	31 38.8%	21 26.3%	23 28.8%	0 0.0%	2 2.5%
	70～79歳	55	26 47.3%	16 29.1%	40 72.7%	23 41.8%	21 38.2%	32 58.2%	14 25.5%	11 20.0%	8 14.5%	1 1.8%	0 0.0%
	80歳以上	34	18 52.9%	8 23.5%	19 55.9%	13 38.2%	12 35.3%	18 52.9%	8 23.5%	6 17.6%	5 14.7%	1 2.9%	2 5.9%
	男性	289	129 44.6%	57 19.7%	173 59.9%	107 37.0%	115 39.8%	153 52.9%	95 32.9%	64 22.1%	63 21.8%	5 1.7%	5 1.7%
	18～29歳	14	4 28.6%	1 7.1%	9 64.3%	3 21.4%	5 35.7%	8 57.1%	7 50.0%	4 28.6%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
	30～39歳	17	13 76.5%	4 23.5%	9 52.9%	6 35.3%	6 35.3%	11 64.7%	7 41.2%	4 23.5%	4 23.5%	0 0.0%	0 0.0%
	40～49歳	33	19 57.6%	12 36.4%	24 72.7%	13 39.4%	15 45.5%	18 54.5%	14 42.4%	10 30.3%	10 30.3%	2 6.1%	0 0.0%
	50～59歳	51	20 39.2%	8 15.7%	31 60.8%	18 35.3%	20 39.2%	30 58.8%	19 37.3%	7 13.7%	9 17.6%	0 0.0%	0 0.0%
	60～69歳	73	29 39.7%	16 21.9%	38 52.1%	29 39.7%	26 35.6%	34 46.6%	17 23.3%	19 26.0%	16 21.9%	2 2.7%	2 2.7%
70～79歳	67	28 41.8%	10 14.9%	40 59.7%	20 29.9%	28 41.8%	32 47.8%	16 23.9%	12 17.9%	11 16.4%	1 1.5%	1 1.5%	
80歳以上	18	8 44.4%	2 11.1%	10 55.6%	8 44.4%	7 38.9%	10 55.6%	5 27.8%	4 22.2%	3 16.7%	0 0.0%	2 11.1%	
性・職業別	女性	正規雇用者	61 59.0%	11 18.0%	44 72.1%	27 44.3%	25 41.0%	45 73.8%	32 52.5%	12 19.7%	20 32.8%	1 1.6%	0 0.0%
		非正規雇用者	73 64.4%	16 21.9%	52 71.2%	40 54.8%	37 50.7%	52 71.2%	37 50.7%	18 24.7%	24 32.9%	1 1.4%	0 0.0%
		自営業者	42 66.7%	16 38.1%	40 95.2%	29 69.0%	28 66.7%	33 78.6%	19 45.2%	10 23.8%	13 31.0%	0 0.0%	1 2.4%
		無職	103 46.6%	22 21.4%	67 65.0%	40 38.8%	34 33.0%	64 62.1%	29 28.2%	23 22.3%	24 23.3%	2 1.9%	2 1.9%
	男性	正規雇用者	108 51.9%	25 23.1%	72 66.7%	39 36.1%	47 43.5%	65 60.2%	46 42.6%	24 22.2%	22 20.4%	2 1.9%	0 0.0%
		非正規雇用者	31 41.9%	7 22.6%	13 41.9%	8 25.8%	15 48.4%	17 54.8%	9 29.0%	9 29.0%	8 25.8%	0 0.0%	0 0.0%
		自営業者	38 42.1%	6 15.8%	27 71.1%	16 42.1%	14 36.8%	17 44.7%	12 31.6%	7 18.4%	8 21.1%	1 2.6%	1 2.6%
		無職	84 38.1%	14 16.7%	48 57.1%	29 34.5%	28 33.3%	41 48.8%	16 19.0%	19 22.6%	16 19.0%	2 2.4%	4 4.8%

「◎その他」

- ・ 家事・育児の「抵抗感」ではなく「意識をかえる、なくす」(40代女性)
- ・ 学校・家庭で男女平等を幼児から教える。(70代女性)
- ・ 家事は生きるために必要なこと。育児も当然保護者の責任です。(40代女性)
- ・ 仕事をしている、していないもあり、バランスが夫婦やその周りの家庭環境によっても違うと思う。男性もその時間を作る環境必要。(40代男性)
- ・ 女性の給料を倍以上にする。(40代男性)
- ・ 男性と女性に隠し事がないように(60代男性)
- ・ 本人の考え次第(70代男性)
- ・ 妊婦健診の時父親学級で家事・育児に対する意識付けをする。(80歳以上女性)

・戦後の復興は日本人がよく働いたからだと思う。労働時間の短縮は日本の力を弱めると思うので、海外に合わせる必要はない。(60代男性)

3 子育てに関する考え方について

Q9 次のアからウの子育ての考え方についての賛否【問8】

ア 「男女ともに同等に経済的自立ができるよう職業人としての教育が必要」という考え方

『男女同等に経済的自立ができるための教育』

イ 「男女ともに炊事・掃除・洗濯など生活に必要な技術を身につけるほうがよい」という考え方

『男女ともに家事など生活に必要な技術の習得』

ウ 「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい」という考え方

『男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる』

①賛成 ②どちらかという賛成 ③どちらかという反対 ④反対

ア 総計 (図表 3-1~3)

- 子育ての考え方について訊いたところ、『男女同等に経済的自立ができるための教育』と『男女ともに家事など生活に必要な技術の習得』について、「賛成」又は「どちらかといえば賛成」(『賛成計』)と回答した割合は、それぞれ91.9%と95.1%となっている。
- 『男女同等に経済的自立ができるための教育』より『男女ともに家事など生活に必要な技術の習得』の方が、「賛成」と回答した人の割合が高い。
- 『男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる』考え方については、「反対」又は「どちらかといえば反対」(『反対計』)と回答した割合は43.7%、賛成計の割合は52.6%。

イ 性別 (図表 3-1~3)

- 女性では、男性に比べて『男女同等に経済的自立ができるための教育』と『男女ともに家事など生活に必要な技術の習得』について、「賛成」と回答した割合が高い。
- 『男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる』考え方について、女性は「反対」「どちらかといえば反対」と回答した割合(23.6%、32.5%)が「賛成」「どちらかといえば賛成」(8.5%、30.2%)より高く、男性では「賛成」「どちらかという賛成」と回答した割合(24.9%、40.8%)が「反対」「どちらかといえば反対」(11.8%、20.4%)より高い。

ウ 奄美4町村・全国調査との比較 (図表 3-1~3)

- 奄美4町村の調査と比較すると、ほぼ同様の傾向。
- 『男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる』考え方について全国調査と比較すると、「反対」「どちらかといえば反対」と回答した割合が低く、「賛成」「どちらかという賛成」が高い。

図表 3-1 子育ての考え方 (男女同等に経済的自立ができるための教育) 【総計、性別、奄美大島4町村】

瀬戸内町			賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	無回答	賛成	反対
今回調査	総計	(n=607)	53.9%	38.1%	3.1%	0.5%	4.4%	91.9%	3.6%
	女性	(n=305)	56.1%	35.7%	2.6%	0.0%	5.6%	91.8%	2.6%
	男性	(n=289)	52.2%	40.5%	3.5%	1.0%	2.8%	92.7%	4.5%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	51.1%	39.8%	2.9%	0.7%	5.4%	90.9%	3.6%
	女性	(n=1,109)	52.5%	39.3%	2.5%	0.3%	5.4%	91.8%	2.8%
	男性	(n=990)	50.4%	40.8%	3.3%	1.0%	4.4%	91.2%	4.3%

図表 3-2 子育ての考え方 (男女ともに家事など生活に必要な技術の習得) 【総計、性別、奄美大島4町村】

瀬戸内町			賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	無回答	賛成	反対
今回調査	総計	(n=607)	69.5%	25.5%	2.3%	0.3%	2.3%	95.1%	2.6%
	女性	(n=305)	72.1%	23.0%	1.3%	0.3%	3.3%	95.1%	1.6%
	男性	(n=289)	68.2%	27.7%	2.8%	0.3%	1.0%	95.8%	3.1%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	64.0%	29.5%	2.6%	0.3%	3.6%	93.5%	2.8%
	女性	(n=1,109)	68.0%	26.7%	1.7%	0.1%	3.5%	94.7%	1.8%
	男性	(n=990)	60.7%	32.7%	3.2%	0.4%	2.9%	93.4%	3.6%

図表 3-3 子育ての考え方（男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる）【総計、性別、奄美大島4町村、全国調査】

瀬戸内町			賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	無回答	賛成	反対
今回調査	総計	(n=607)	16.8%	35.7%	26.2%	17.5%	3.8%	52.6%	43.7%
	女性	(n=305)	8.5%	30.2%	32.5%	23.6%	5.2%	38.7%	56.1%
	男性	(n=289)	24.9%	40.8%	20.4%	11.8%	2.1%	65.7%	32.2%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	16.6%	33.6%	27.8%	16.9%	5.2%	50.2%	44.7%
	女性	(n=1,109)	9.9%	28.8%	33.8%	21.7%	5.8%	38.7%	55.5%
	男性	(n=990)	23.7%	39.0%	21.7%	11.8%	3.7%	62.7%	33.5%
全国調査	総計	(n=4,621)	6.4%	36.4%	35.1%	22.1%	0.0%	42.8%	57.2%

※「全国調査」は、2022年社会保障・人口問題基本調査「第7回全国家庭意向調査」（国立社会保障・人口問題研究所）

エ 性・年代別（図表 3-4）

- 『男女同等に経済的自立ができるための教育』について、「賛成」と回答した割合が高いのは29歳以下の男性(71.4%)、次いで40代の女性(70.0%)。
- 『男女ともに家事など生活に必要な技術の習得』について「賛成」と回答した割合は、女性では60代以下で7割を超え、29歳以下は93.8%、50代は90.2%、30代と40代は8割超。男性は50代以下で7割を超え、30代が100.0%、29歳以下が78.6%。
- 『男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる』考え方について、「賛成」と回答した割合が高いのは、女性は70代で12.7%で、「どちらかといえば賛成を合わせると50.9%。男性で「賛成」と回答した割合が高いのは、29歳以下(50.0%)と70代(43.3%)で、「どちらかといえば賛成を合わせると、80歳以上(94.5%)と70代(77.6%)が高い。
- 『男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる』考え方について、「反対」と回答した割合が女性で最も高いのは40代の女性(42.5%)で、「どちらかといえば反対」を合わせる30代(77.4%)、40代(72.5%)。男性は30代(29.4%)が最も高く、「どちらかといえば反対」を合わせると40代(48.5%)で、すべての年代で『賛成計』の割合が『反対計』以上。

オ 中学生以下の子どもがいる人（図表 3-4）

- 中学生以下の子どもがいる人は、『男女ともに家事など生活に必要な技術の習得』について「賛成」と回答した割合(81.4%)が総計の割合(69.5%)より高くなっている。
- 『男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる』考え方については、「反対」と「どちらかといえば反対」と回答した割合(25.7%、35.7%)が総計のそれぞれの割合より高く、『反対計』と『賛成計』の差は22.8ポイントとなっている。

図表 3-4 子育ての考え方【性・年代別、中学生以下の子どもがいる者】

	サンプル数	男女同等に経済的自立ができるための教育					男女ともに家事など生活に必要な技術の習得					男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる				
		賛成	いど えち ばら 賛か 成と	いど えち ばら 反か 対と	反対	無 回 答	賛成	いど えち ばら 賛か 成と	いど えち ばら 反か 対と	反対	無 回 答	賛成	いど えち ばら 賛か 成と	いど えち ばら 反か 対と	反対	無 回 答
総計	607	327	231	19	3	27	422	155	14	2	14	102	217	159	106	23
	100.0%	53.9%	38.1%	3.1%	0.5%	4.4%	69.5%	25.5%	2.3%	0.3%	2.3%	16.8%	35.7%	26.2%	17.5%	3.8%
女性	305	171	109	8	0	17	220	70	4	1	10	26	92	99	72	16
	100.0%	56.1%	35.7%	2.6%	0.0%	5.6%	72.1%	23.0%	1.3%	0.3%	3.3%	8.5%	30.2%	32.5%	23.6%	5.2%
18～29歳	16	8	7	0	0	1	15	1	0	0	0	2	4	7	3	0
	100.0%	50.0%	43.8%	0.0%	0.0%	6.3%	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	43.8%	18.8%	0.0%
30～39歳	31	17	14	0	0	0	25	6	0	0	0	0	7	16	8	0
	100.0%	54.8%	45.2%	0.0%	0.0%	0.0%	80.6%	19.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.6%	51.6%	25.8%	0.0%
40～49歳	40	28	12	0	0	0	34	6	0	0	0	3	8	12	17	0
	100.0%	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.5%	20.0%	30.0%	42.5%	0.0%
50～59歳	41	28	12	1	0	0	37	4	0	0	0	3	14	11	12	1
	100.0%	68.3%	29.3%	2.4%	0.0%	0.0%	90.2%	9.8%	0.0%	0.0%	0.0%	7.3%	34.1%	26.8%	29.3%	2.4%
60～69歳	80	41	32	3	0	4	57	19	2	0	2	6	28	26	15	5
	100.0%	51.3%	40.0%	3.8%	0.0%	5.0%	71.3%	23.8%	2.5%	0.0%	2.5%	7.5%	35.0%	32.5%	18.8%	6.3%
70～79歳	55	26	21	2	0	6	29	22	0	1	3	7	21	14	9	4
	100.0%	47.3%	38.2%	3.6%	0.0%	10.9%	52.7%	40.0%	0.0%	1.8%	5.5%	12.7%	38.2%	25.5%	16.4%	7.3%
80歳以上	34	19	8	2	0	5	18	10	2	0	4	4	7	11	7	5
	100.0%	55.9%	23.5%	5.9%	0.0%	14.7%	52.9%	29.4%	5.9%	0.0%	11.8%	11.8%	20.6%	32.4%	20.6%	14.7%
男性	289	151	117	10	3	8	197	80	8	1	3	72	118	59	34	6
	100.0%	52.2%	40.5%	3.5%	1.0%	2.8%	68.2%	27.7%	2.8%	0.3%	1.0%	24.9%	40.8%	20.4%	11.8%	2.1%
18～29歳	14	10	3	1	0	0	11	3	0	0	0	7	3	3	1	0
	100.0%	71.4%	21.4%	7.1%	0.0%	0.0%	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	21.4%	21.4%	7.1%	0.0%
30～39歳	17	9	6	0	1	1	17	0	0	0	0	3	5	3	5	1
	100.0%	52.9%	35.3%	0.0%	5.9%	5.9%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	29.4%	17.6%	29.4%	5.9%
40～49歳	33	16	16	0	1	0	25	8	0	0	0	5	11	11	5	1
	100.0%	48.5%	48.5%	0.0%	3.0%	0.0%	75.8%	24.2%	0.0%	0.0%	0.0%	15.2%	33.3%	33.3%	15.2%	3.0%
50～59歳	51	30	19	0	2	2	36	14	0	0	1	5	25	13	8	0
	100.0%	58.8%	37.3%	0.0%	0.0%	3.9%	70.6%	27.5%	0.0%	0.0%	2.0%	9.8%	49.0%	25.5%	15.7%	0.0%
60～69歳	73	40	29	2	1	1	47	21	3	1	1	14	34	16	8	1
	100.0%	54.8%	39.7%	2.7%	1.4%	1.4%	64.4%	28.8%	4.1%	1.4%	1.4%	19.2%	46.6%	21.9%	11.0%	1.4%
70～79歳	67	31	30	4	0	2	42	21	3	0	1	29	23	8	5	2
	100.0%	46.3%	44.8%	6.0%	0.0%	3.0%	62.7%	31.3%	4.5%	0.0%	1.5%	43.3%	34.3%	11.9%	7.5%	3.0%
80歳以上	18	8	7	2	0	1	10	6	2	0	0	7	10	1	0	0
	100.0%	44.4%	38.9%	11.1%	0.0%	5.6%	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	38.9%	55.6%	5.6%	0.0%	0.0%
中学生以下の子どもあり	70	37	32	1	0	0	57	13	0	0	0	6	21	25	18	0
	100.0%	52.9%	45.7%	1.4%	0.0%	0.0%	81.4%	18.6%	0.0%	0.0%	0.0%	8.6%	30.0%	35.7%	25.7%	0.0%

※全国調査では、「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがいい」という考え方について、「反対」と「どちらかといえば反対」の割合は、29歳以下70.0%、30代72.9%、40代67.1%、50代58.3%、60代54.6%、70歳以上38.7%

4 職業生活について

(1) 職場における性別による格差の状況

Q10 職場における性別による格差の状況（複数回答）【問10】

①募集・採用の機会に男女で格差がある	『募集・採用の機会』
②賃金に男女で格差がある	『賃金』
③女性を補助的な業務や雑用に従事させる傾向にある	『女性に補助・雑用業務』
④昇進・昇格に男女で格差がある	『昇進・昇格』
⑤管理職の登用に男女で差がある	『管理職登用』
⑥女性に結婚や出産により退職する慣例や雰囲気がある	『女性の結婚・出産退職の慣行・雰囲気』
⑦中高年女性には退職を促すような雰囲気がある	『中年女性に退職を促す雰囲気』
⑧研修や教育訓練、出張・視察などの機会に男女で差がある	『研修、出張等の機会』
⑨男性は育児休業や介護休業を取りにくい雰囲気がある	『男性が育児・介護休業を取得しづらい』
⑩男女ともに育児休業や介護休業を取りにくい雰囲気がある	『男女とも育児・介護休業を取得しづらい』
⑪同じ職場に夫婦が働いている場合、どちらかは働き続けにくい雰囲気がある	『夫婦で同じ職場で働き続けにくい雰囲気』
⑫正規雇用と非正規雇用で処遇の格差が大きい	『正規と非正規による処遇格差』
⑬その他	
⑭性別による格差はない	『男女格差なし』

ア 総計（図表4-(1)-1）

- ・雇用されて仕事をしている人に職場における性別による格差について聞いたところ、『正規と非正規による処遇の格差』(29.7%)と回答した割合が最も高く、次いで『男女格差なし』(27.1%)、『男性が育児・介護休業を取得しづらい』(23.8%)。
- ・『女性に補助・雑用業務』、『昇進・昇格の男女格差』、『賃金』、『募集・採用』は11～15%。

イ 性別・性・年代別（図表4-(1)-1,2）

- ・男女でほぼ同様の傾向だが、『女性に補助・雑用業務』と『昇進・昇格』で女性が男性を6.5ポイントと5.7ポイント上回り、『男性が育児・介護休業を取得しづらい』で男性が女性を8.7ポイント上回っている。
- ・40代の女性は、『正規と非正規による処遇の格差』(41.4%)、『昇進・昇格の男女格差』(37.9%)、『募集・採用の男女格差』(24.1%)が、性・年代の中で回答した割合が最も高いなど、回答した割合が高い項目が多く、格差の認識が高い傾向がみられる。
- ・『正規と非正規による処遇の格差』と回答した割合が高いのは、40代の女性以外に、50代と70代の男性(ともに40.0%)。
- ・『男性が育児・介護休業を取得しづらい』と回答した割合が高いのは、40代の男性(42.3%)、次いで50～60代の男性と40代の女性が約3割。
- ・『管理職登用の男女格差』と回答した割合が最も高いのは、30代と40代の女性(35.0%、34.5%)。
- ・『男女格差なし』と回答した割合が最も高いのは、29歳以下の女性(53.8%)、次いで29歳以下の男性と70代以上の女性(ともに50.0%)。

ウ 奄美大島4町村・県調査との比較（図表4-(1)-1）

- ・奄美大島4町村の調査と比較すると、ほぼ同様の傾向だが、『管理職登用』と回答した男性の割合(21.6%)が7.5ポイント高く、『男女格差なし』と回答した男性の割合(21.6%)が7.3ポイント低くなっている。
- ・県調査と比較すると、『男性が育児・介護休業を取得しづらい』、『管理職登用』をはじめほとんどの項目で回答した割合が高く、その2項目では、その差がそれぞれ12.0ポイントと6.9ポイント。『男女格差なし』と回答した割合は18.6ポイント低くなっている。

図表 4-(1)-1 職場における性別による格差の状況 (複数回答)【総計、性別、奄美大島4町村、県調査】

調査対象	項目	回答数	募集・採用	賃金	女性に補助・雑用業務	昇進・昇格	管理職登用	女性の結婚・出産退職の慣行・雰囲気	中年女性に退職を促す雰囲気	研修、出張等の機会	男性が育児・介護休業を取得しづらい	男女とも育児・介護休業を取得しづらい	夫婦で同じ職場で働き続けにくい雰囲気	正規と非正規による処遇格差	その他	男女格差なし	無回答
瀬戸内町 今回調査	総計 (n=273)	11.4%	12.1%	15.4%	15.0%	20.1%	6.2%	1.8%	4.4%	23.8%	10.6%	5.1%	29.7%	1.1%	27.1%	11.7%	
	女性 (n=134)	12.7%	11.9%	18.7%	17.9%	18.7%	6.7%	3.0%	4.5%	19.4%	11.2%	6.0%	28.4%	2.2%	32.8%	11.2%	
	男性 (n=139)	10.1%	12.2%	12.2%	12.2%	21.6%	5.8%	0.7%	4.3%	28.1%	10.1%	4.3%	30.9%	0.0%	21.6%	12.2%	
奄美大島 4町村	総計 (n=958)	9.4%	10.4%	15.3%	10.8%	15.1%	6.1%	2.0%	4.2%	23.7%	9.7%	4.3%	26.4%	1.6%	29.9%	12.5%	
	女性 (n=494)	8.7%	10.5%	17.0%	13.0%	16.0%	5.7%	2.8%	4.9%	22.1%	12.1%	5.1%	26.9%	1.8%	30.8%	12.1%	
	男性 (n=461)	10.2%	10.4%	13.4%	8.5%	14.1%	6.3%	1.1%	3.5%	25.2%	6.9%	3.5%	25.6%	1.3%	28.9%	13.0%	
県調査	総計 (n=1,023)	8.0%	15.1%	12.7%	12.4%	13.2%	6.2%	2.0%	3.6%	11.8%	...	3.6%	...	2.6%	45.7%	11.1%	
	女性 (n=585)	4.1%	13.2%	12.3%	10.8%	9.9%	6.0%	2.4%	3.2%	8.7%	...	3.9%	...	2.6%	50.8%	10.9%	
	男性 (n=431)	13.2%	17.6%	13.0%	14.4%	17.4%	6.3%	1.4%	3.9%	16.0%	...	3.0%	...	2.8%	39.2%	11.6%	

※各項目回答者数÷雇用者数

※県調査では、「男性が育児・介護休業を取得しづらい」は「育児・介護休業で取りやすさに男女格差がある」、選択項目がないものもある。

図表 4-(1)-2 職場における性別による格差の状況 (複数回答)【性・年代別】

調査対象	性別	年齢	サンプル数	募集・採用の男女格差	賃金の男女格差	女性に補助・雑用業務	昇進・昇格の男女格差	管理職登用の男女格差	女性の慣行・結婚・出産退職	中年女性に退職を促す雰囲気	研修、出張等の機会	男性が育児・介護休業を取得しづらい	男女とも育児・介護休業を取得しづらい	夫婦で同じ職場で働き続けにくい雰囲気	正規と非正規による処遇格差	その他	男女格差なし	無回答	
																			割合
総計			273	31	33	42	41	55	17	5	12	65	29	14	81	3	74	32	
性・年代別	女性		134	17	16	25	24	25	9	4	6	26	15	8	38	3	44	15	
		18~29歳	13	0	0	2	1	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0	7	1
		30~39歳	20	3	2	5	3	7	2	1	1	3	3	3	0	3	0	4	3
		40~49歳	29	7	5	7	11	10	2	0	3	8	4	5	12	2	10	1	
		50~59歳	27	3	4	5	4	3	1	1	4	5	0	9	0	9	3		
		60~69歳	36	2	3	5	4	3	2	1	0	8	2	2	11	0	10	5	
		70~79歳	6	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1
		80歳以上	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		男性		139	14	17	17	17	30	8	1	6	39	14	6	43	0	30	17
	18~29歳		10	2	2	1	2	2	1	0	1	1	1	1	1	0	5	0	
	30~39歳		15	0	2	4	1	4	3	0	0	3	2	1	3	0	4	1	
	40~49歳		26	3	2	5	6	7	2	1	11	6	2	9	0	3	3		
	50~59歳		40	3	2	2	2	9	0	0	12	3	0	16	0	8	6		
	60~69歳		37	5	7	4	5	5	1	0	3	11	2	2	10	0	8	3	
	70~79歳		10	1	2	1	1	2	1	0	0	1	0	0	4	0	2	4	
80歳以上	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

「③その他」

- 潜在的に、湯茶の準備は女性、力仕事は男性という感覚があると思う。(40代女性)
- 扶養手当がない、シングルにはきつい。(40代女性)

(2) 女性が職業生活で能力を発揮するために必要なこと

Q11 女性が職業生活で能力を発揮するために特に必要なこと（回答は1つ）【問11】

- | | |
|---|---------------------------|
| ①長時間労働の是正やテレワークに推進など、男女がともに育児や介護、家事などを担うことができる職場環境の整備 | 『男女が家事・育児・介護等を担える職場環境の整備』 |
| ②休業制度や短時間勤務制度など、仕事と育児や介護の両立を支援するための施策の整備 | 『仕事と育児・介護の両立支援施策の整備』 |
| ③保育所や放課後学童クラブ施設、介護施設など、育児や介護をサポートする施設やサービスの整備 | 『育児・介護の施設やサービスの整備』 |
| ④経営者や管理職の意識改革 | 『経営者や管理職の意識改革』 |
| ⑤男性の家事や育児、介護などへの参画を促進するための意識啓発 | 『男性の家事・育児・介護参加促進の意識啓発』 |
| ⑥女性のキャリアアップを図るための研修やネットワークづくり | 『女性の研修・ネットワークづくり』 |
| ⑦女性の就職・再就職の支援 | 『女性の就職・再就職支援』 |
| ⑧その他 | |

ア 総計（図表4-(2)-1)

女性が職業生活で能力を発揮するために特に必要なことを訊いたところ、『仕事と育児・介護の両立支援施策の整備』(18.6%)と回答した割合が最も高く、次いで『育児・介護の施設やサービスの整備』(18.1%)、『男女が家事・育児・介護等を担える職場環境の整備』(14.5%)。なお、回答は1つのところを複数の項目を選択した人の回答は「その他」としたため、これらに含まれていない。

イ 性別・性・年代別（図表4-(2)-1,2)

- ・ 女性では、『育児・介護の施設やサービスの整備』と回答した割合(21.6%)が最も高く、男性より6.4ポイント高い。
- ・ 男性では、『男女が家事・育児・介護等を担える職場環境の整備』と回答した割合(17.3%)が最も高く、『経営者や管理職の意識改革』と回答した割合(12.8%)は女性より5.6ポイント高い。
- ・ 『仕事と育児・介護の両立支援施策の整備』と回答した割合が高いのは、50代の女性(31.7%)。
- ・ 『育児・介護の施設やサービスの整備』と回答した割合が高いのは、30代の男女(女性29.0%、男性29.4%)。次いで60～70代の女性と80代の男性が高い。
- ・ 『男女が家事・育児・介護等を担える職場環境の整備』と回答した割合が高いのは、29歳以下と30代の男性(42.9%と29.4%)。

ウ 奄美大島4町村調査との比較（図表4-(2)-1)

奄美大島4町村の調査と比較すると、同様の傾向にある。

図表4-(2)-1 女性が職業生活で能力を発揮するために必要なこと（1つ回答）【総計、性別、奄美大島4町村】

調査対象	性別	サンプル数	男女が家事・育児・介護等を担える職場環境の整備	仕事と育児・介護の両立支援施策の整備	育児・介護の施設やサービスの整備	経営者や管理職の意識改革	男性の家事・育児・介護参加促進の意識啓発	女性の研修・ネットワークづくり	女性の就職・再就職支援	その他	無回答
瀬戸内町	今回調査 総計	(n=607)	14.5%	18.6%	18.1%	9.7%	3.1%	2.3%	6.1%	18.6%	8.9%
	女性	(n=305)	12.5%	21.0%	21.6%	7.2%	2.6%	1.0%	5.9%	20.7%	7.5%
	男性	(n=289)	17.3%	17.0%	15.2%	12.8%	3.8%	3.8%	6.2%	16.6%	7.3%
奄美大島4町村	総計	(n=2,147)	13.9%	17.3%	19.5%	8.9%	4.2%	2.0%	6.5%	16.4%	11.2%
	女性	(n=1,109)	14.2%	18.7%	20.0%	7.2%	3.7%	1.6%	6.9%	17.2%	10.4%
	男性	(n=990)	13.9%	16.5%	19.7%	11.2%	5.1%	2.5%	6.1%	16.1%	9.0%

※「その他」には、1つのみ選択するところを2つ以上選択した者を含む。

図表 4-(2)-2 女性が職業生活で能力を発揮するために必要なこと【性・年代別】

	サンプル数	育児・介護環境等の整備	男性・女性の就業・再就	子どもの発達・教育	経営者や管理職の意識改革	男性・女性の意識啓発・促進	女性の研究・修得・ネット	女性の就業・再就	その他	無回答	
総計	607 100.0%	88 14.5%	113 18.6%	110 18.1%	59 9.7%	19 3.1%	14 2.3%	37 6.1%	113 18.6%	54 8.9%	
性・年代別	女性	305 100.0%	38 12.5%	64 21.0%	66 21.6%	22 7.2%	8 2.6%	3 1.0%	18 5.9%	63 20.7%	23 7.5%
	18~29歳	16 100.0%	4 25.0%	3 18.8%	2 12.5%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%	4 25.0%	0 0.0%
	30~39歳	31 100.0%	5 16.1%	5 16.1%	9 29.0%	2 6.5%	1 3.2%	1 3.2%	2 6.5%	6 19.4%	0 0.0%
	40~49歳	40 100.0%	5 12.5%	6 15.0%	7 17.5%	2 5.0%	1 2.5%	1 2.5%	0 0.0%	16 40.0%	2 5.0%
	50~59歳	41 100.0%	4 9.8%	13 31.7%	7 17.1%	3 7.3%	3 7.3%	1 2.4%	4 9.8%	5 12.2%	1 2.4%
	60~69歳	80 100.0%	8 10.0%	18 22.5%	19 23.8%	3 3.8%	1 1.3%	0 0.0%	6 7.5%	18 22.5%	7 8.8%
	70~79歳	55 100.0%	6 10.9%	11 20.0%	15 27.3%	3 5.5%	1 1.8%	0 0.0%	4 7.3%	8 14.5%	7 12.7%
	80歳以上	34 100.0%	5 14.7%	6 17.6%	5 14.7%	7 20.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.9%	4 11.8%	6 17.6%
	男性	289 100.0%	50 17.3%	49 17.0%	44 15.2%	37 12.8%	11 3.8%	11 3.8%	18 6.2%	48 16.6%	21 7.3%
	18~29歳	14 100.0%	6 42.9%	4 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	3 21.4%	0 0.0%
	30~39歳	17 100.0%	5 29.4%	1 5.9%	5 29.4%	1 5.9%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	4 23.5%	0 0.0%
	40~49歳	33 100.0%	3 9.1%	4 12.1%	6 18.2%	6 18.2%	1 3.0%	0 0.0%	2 6.1%	7 21.2%	4 12.1%
	50~59歳	51 100.0%	4 7.8%	8 15.7%	7 13.7%	8 15.7%	5 9.8%	2 3.9%	4 7.8%	12 23.5%	1 2.0%
	60~69歳	73 100.0%	13 17.8%	14 19.2%	12 16.4%	7 9.6%	2 2.7%	4 5.5%	6 8.2%	13 17.8%	2 2.7%
	70~79歳	67 100.0%	8 11.9%	16 23.9%	9 13.4%	11 16.4%	2 3.0%	1 1.5%	4 6.0%	5 7.5%	11 16.4%
	80歳以上	18 100.0%	4 22.2%	0 0.0%	4 22.2%	2 11.1%	1 5.6%	2 11.1%	0 0.0%	2 11.1%	3 16.7%

「⑧その他」

- ・ すべてに当てはまる。(70代女性)
- ・ まず管理職の女性になる。男性と同じ給料。(40代男性)
- ・ 意識改革と法や環境の整備を同時に行うべき。(40代女性)

5 ジェンダーに起因する暴力について

(1) 交際相手や元交際相手から暴力を受けた経験

- Q12 10代又は20代に交際相手や元交際相手から次のような暴力や嫌がらせを受けた経験【問12(1)】
- ①なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力 『身体的暴力』
 - ②人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの嫌がらせ、あるいは、家族に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫をするなどの精神的な暴力 『精神的暴力』
 - ③嫌がっているのに性的な行為を強要するなどの性的な暴力 『性的暴力』
 - ④①～③のいずれもなかった
 - ⑤10～20代の時に交際相手や元交際相手はいなかった（いない）。

ア 性別（図表5-(1)-1）

- 10代又は20代に交際相手や元交際相手から暴力や嫌がらせを受けた経験について訊いたところ、女性では『身体的暴力』、『精神的暴力』、『性的暴力』について「あった」と回答した割合は、それぞれ8.9%、7.2%、3.9%で、それらの暴力の『いずれかの暴力』を受けた経験は14.8%となっている。
- 男性では、それらの暴力のいずれについても、「あった」と回答した割合は女性より低い。

イ 奄美大島4町村・県の調査との比較（図表5-(1)-1）

- 奄美大島4町村と県調査の調査と比較すると、傾向はほぼ同様。

図表5-(1)-1 10代又は20代に交際相手や元交際相手からの暴力や嫌がらせを受けた経験【性別、奄美大島4町村、県調査】

				あった	なかった	交際相手がいなかった(いない)	無回答
瀬戸内町	身体的暴力	女性	(n=305)	8.9%	71.1%	4.9%	15.1%
		男性	(n=289)	4.2%	73.0%	8.3%	14.5%
	精神的暴力	女性	(n=305)	7.2%	72.8%	4.9%	15.1%
		男性	(n=289)	3.1%	74.0%	8.3%	14.5%
	性的暴力	女性	(n=305)	3.9%	76.1%	4.9%	15.1%
		男性	(n=289)	0.7%	76.5%	8.3%	14.5%
いずれかの暴力	女性	(n=305)	14.8%	65.2%	4.9%	15.1%	
	男性	(n=289)	7.6%	69.6%	8.3%	14.5%	
奄美大島4町村	身体的暴力	女性	(n=1,109)	8.7%	67.6%	5.8%	17.9%
		男性	(n=990)	3.1%	70.4%	8.7%	17.8%
	精神的暴力	女性	(n=1,109)	7.9%	68.3%	5.8%	17.9%
		男性	(n=990)	2.5%	71.0%	8.7%	17.8%
	性的暴力	女性	(n=1,109)	3.3%	72.9%	5.8%	17.9%
		男性	(n=990)	0.7%	72.8%	8.7%	17.8%
いずれかの暴力	女性	(n=1,109)	14.6%	61.7%	5.8%	17.9%	
	男性	(n=990)	6.2%	67.4%	8.7%	17.8%	
県調査	身体的暴力	女性	(n=1,200)	6.1%	71.1%	22.8%	
		男性	(n=875)	2.2%	73.6%	24.2%	
	精神的暴力	女性	(n=1,200)	7.0%	68.6%	24.4%	
		男性	(n=875)	2.3%	72.3%	25.4%	
	性的暴力	女性	(n=1,200)	5.6%	69.4%	25.0%	
		男性	(n=875)	0.6%	74.3%	25.1%	
いずれかの暴力	女性	(n=1,200)	12.2%	63.8%	24.0%		
	男性	(n=875)	3.7%	70.5%	25.8%		

※「いずれかの暴力」とは、身体的暴力、精神的暴力、性的暴力のいずれかの暴力や嫌がらせのこと。

ウ 性・年代別（図表 5-(1)-2）

- ・『いずれかの暴力』について、「あった」と回答した割合、女性では50代、30代、70代、40代(19.5%、19.4%、18.2%、17.5%)の順に高い。なお、70代以上では4分の1以上が無回答。
- ・男性では、『いずれかの暴力』を受けた経験が「あった」と回答した割合が最も高いのは、40代(15.2%)。
- ・「無回答」の割合が高いのは、29歳以下の男性(28.6%)と70歳以上の男女。

図表 5-(1)-2 10代又は20代に交際相手や元交際相手から暴力や嫌がらせを受けた経験【性・年代別】

		サ ン プ ル 数	あ い づ つ た れ か の 暴 力 が	な か つ た	か 交 際 相 手 が い な い な い	無 回 答
総計		607 100.0%	68 11.2%	401 66.1%	41 6.8%	97 16.0%
性・ 年 代 別	女性	305 100.0%	45 14.8%	199 65.2%	15 4.9%	46 15.1%
	18～29歳	16 100.0%	0 0.0%	16 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30～39歳	31 100.0%	6 19.4%	20 64.5%	3 9.7%	2 6.5%
	40～49歳	40 100.0%	7 17.5%	26 65.0%	2 5.0%	5 12.5%
	50～59歳	41 100.0%	8 19.5%	31 75.6%	0 0.0%	2 4.9%
	60～69歳	80 100.0%	11 13.8%	54 67.5%	5 6.3%	10 12.5%
	70～79歳	55 100.0%	10 18.2%	29 52.7%	1 1.8%	15 27.3%
	80歳以上	34 100.0%	2 5.9%	19 55.9%	4 11.8%	9 26.5%
	男性	289 100.0%	22 7.6%	201 69.6%	24 8.3%	42 14.5%
	18～29歳	14 100.0%	1 7.1%	8 57.1%	1 7.1%	4 28.6%
	30～39歳	17 100.0%	0 0.0%	14 82.4%	2 11.8%	1 5.9%
	40～49歳	33 100.0%	5 15.2%	23 69.7%	4 12.1%	1 3.0%
	50～59歳	51 100.0%	1 2.0%	45 88.2%	0 0.0%	5 9.8%
	60～69歳	73 100.0%	6 8.2%	50 68.5%	7 9.6%	10 13.7%
	70～79歳	67 100.0%	8 11.9%	35 52.2%	8 11.9%	16 23.9%
80歳以上	18 100.0%	1 5.6%	12 66.7%	1 5.6%	4 22.2%	

(2) 配偶者や元配偶者からの暴力を受けた経験

Q13 配偶者や元配偶者（「配偶者」には、事実婚や別居中の配偶者を含む。）に『身体的暴力』、『精神的暴力』及び『性的暴力』を受けた経験【問 12(2)】

- ① 1, 2度あった ② 何度もあった ③ まったくなかった

ア 性別（図表 5-(2)-1）

- 配偶者や元配偶者から暴力を受けた経験について訊いたところ、「何どもあった」及び「1, 2度あった」と回答した人が受けた暴力は、男女とも『身体的暴力』、『精神的暴力』、『性的暴力』の順に回答した割合が高い。それらの暴力の『いずれかの暴力』を受けた経験が「何どもあった」と回答した割合は、女性は9.8%、男性は2.3%となっている。
- 「何どもあった」と回答した割合は、いずれの暴力も女性が男性より高く、「1, 2度あった」と回答した割合を合わせても、女性が男性より高くなっている。
- いずれかの暴力についても「無回答」の割合が高く、特に女性では『精神的暴力』と『性的暴力』で「無回答」の割合が高くなっている（43.9%、48.1%）。
- いずれの暴力についても「無回答」の割合が高いことから、暴力を受けた経験のある割合は、この結果より高い可能性があると思われる。

図表 5-(2)-1 配偶者や元配偶者等から暴力を受けた経験【性別】

瀬戸内町			何どもあった	1, 2度あった	全くなかった	無回答
身体的暴力	女性	(n=264)	6.8%	9.1%	46.6%	37.5%
	男性	(n=216)	1.4%	13.4%	51.9%	33.3%
精神的暴力	女性	(n=264)	5.3%	9.1%	41.7%	43.9%
	男性	(n=216)	0.9%	6.9%	50.0%	42.1%
性的暴力	女性	(n=264)	3.8%	3.4%	44.7%	48.1%
	男性	(n=216)	0.5%	2.8%	54.6%	42.1%
いずれかの暴力	女性	(n=264)	9.8%	11.4%	46.6%	32.2%
	男性	(n=216)	2.3%	17.6%	49.1%	31.0%

※母数nは、結婚経験者（未婚者を除く）。

※「いずれかの暴力」の1, 2度あったは、『身体的暴力』、『精神的暴力』、『性的暴力』のうちいずれかで「1, 2度あった」人（「何どもあった」人を除く。）

「何どもあった」は、『身体的暴力』、『精神的暴力』、『性的暴力』のうちいずれかで「何どもあった」人

「全くなかった」は、『身体的暴力』、『精神的暴力』、『性的暴力』のいずれもなかった人

イ 前回調査、奄美大島4町村、県・内閣府調査との比較（図表 5-(2)-2～5）

※「無回答」の割合が、県・内閣府調査より20～40%高く、前回調査は不明であることから、比較が困難。

(ア) 身体的暴力

- 前回調査と比較すると、「1, 2度もあった」と回答した女性の割合が7.8ポイント低下。
- 奄美大島4町村の調査と比較すると、同様の傾向。
- 県及び内閣府の調査と比較すると、「何どもあった」と回答した女性の割合と「1, 2度あった」男性の割合が高く、「1, 2度あった」女性の割合は低い。

(イ) 精神的暴力

- 前回調査と比較すると、暴力を受けた経験があると回答した割合は同程度か若干低下。
- 奄美大島4町村の調査と比較すると、暴力を受けた経験があると回答した人の割合は同程度か若干高い。
- 県及び内閣府の調査と比較すると、同様の傾向。

(ウ) 性的暴力

- 前回調査と比較すると、「1, 2度あった」と回答した割合は若干低下。
- 奄美大島4町村の調査と比較すると、同様の傾向。
- 県及び内閣府の調査と比較すると、同程度か、女性の割合が若干低く、男性は若干高い。

(エ) いずれかの暴力

- 奄美大島4町村の調査と比較すると、同様の傾向。
- 県及び内閣府の調査と比較すると、同程度か、女性の割合が若干低く、男性は「1, 2度あった」が高い。

図表 5-(2)-2 配偶者や元配偶者等から身体的暴力を受けた経験【総計、性別、前回調査、奄美大島4町村、県・内閣府調査】

瀬戸内町			何度もあった	1、2度あった	全くなかった	無回答
今回調査	総計	(n=481)	4.4%	11.2%	48.9%	35.6%
	女性	(n=264)	6.8%	9.1%	46.6%	37.5%
	男性	(n=216)	1.4%	13.4%	51.9%	33.3%
前回調査	総計	(n=366)	4.9%	14.2%	80.9%	
	女性	(n=207)	6.8%	16.9%	76.3%	
	男性	(n=152)	2.0%	11.2%	86.8%	
奄美大島 4町村	総計	(n=1,728)	4.7%	10.4%	51.0%	33.9%
	女性	(n=938)	7.1%	9.3%	49.0%	34.5%
	男性	(n=782)	1.9%	11.6%	53.6%	32.9%
県調査	総計	(n=1,718)	3.5%	9.5%	76.6%	10.3%
	女性	(n=1,015)	4.7%	13.9%	71.9%	9.5%
	男性	(n=761)	2.0%	3.7%	82.9%	11.4%
内閣府調査	総計	(n=2,591)	2.5%	12.1%	83.8%	1.5%
	女性	(n=1,400)	3.4%	13.6%	81.2%	1.8%
	男性	(n=1,191)	1.5%	10.6%	86.8%	1.1%

図表 5-(2)-3 配偶者や元配偶者等から精神的暴力や嫌がらせを受けた経験【総計、性別、前回調査、奄美大島4町村、県・内閣府調査】

瀬戸内町			何度もあった	1、2度あった	全くなかった	無回答
今回調査	総計	(n=481)	3.3%	8.3%	45.3%	43.0%
	女性	(n=264)	5.3%	9.1%	41.7%	43.9%
	男性	(n=216)	0.9%	6.9%	50.0%	42.1%
前回調査	総計	(n=366)	5.2%	7.9%	86.9%	
	女性	(n=207)	6.8%	8.7%	84.5%	
	男性	(n=152)	2.6%	7.2%	90.2%	
奄美大島 4町村	総計	(n=1,728)	4.0%	6.7%	47.9%	41.4%
	女性	(n=938)	6.3%	7.6%	42.9%	43.3%
	男性	(n=782)	1.3%	5.5%	54.2%	39.0%
県総計	総計	(n=1,718)	5.5%	6.9%	75.9%	11.7%
	女性	(n=1,015)	7.4%	8.7%	73.2%	10.7%
	男性	(n=761)	2.9%	4.5%	79.5%	13.1%
内閣府調査	総計	(n=2,591)	4.8%	7.8%	85.4%	2.0%
	女性	(n=1,400)	6.7%	7.9%	82.9%	2.5%
	男性	(n=1,191)	2.5%	7.6%	88.3%	1.1%

図表 5-(2)-4 配偶者や元配偶者等から性的暴力を受けた経験【総計、性別、前回調査、奄美大島4町村、県・内閣府調査】

瀬戸内町			何度もあった	1、2度あった	全くなかった	無回答
今回調査	総計	(n=481)	2.3%	3.1%	49.1%	45.5%
	女性	(n=264)	3.8%	3.4%	44.7%	48.1%
	男性	(n=216)	0.5%	2.8%	54.6%	42.1%
前回調査	総計	(n=366)	4.4%	7.4%	88.2%	
	女性	(n=207)	6.3%	9.2%	84.5%	
	男性	(n=152)	1.3%	4.6%	94.1%	
奄美大島 4町村	総計	(n=1,728)	2.4%	3.1%	50.2%	44.3%
	女性	(n=938)	3.8%	3.8%	45.5%	46.8%
	男性	(n=782)	0.6%	2.3%	55.9%	41.2%
県調査	総計	(n=1,718)	3.6%	4.1%	79.7%	12.6%
	女性	(n=1,015)	6.3%	6.2%	75.4%	12.1%
	男性	(n=761)	0.1%	1.2%	85.4%	13.3%
内閣府調査	総計	(n=2,591)	1.9%	3.4%	92.6%	2.2%
	女性	(n=1,400)	3.1%	5.4%	88.7%	2.7%
	男性	(n=1,191)	0.4%	0.9%	97.1%	1.5%

図表 5-(2)-5 配偶者や元配偶者等からいずれかの暴力や嫌がらせを受けた経験【総計、性別、奄美大島4町村、県・内閣府調査】

瀬戸内町			何度もあった	1、2度あった	全くなかった	無回答
今回調査	総計	(n=481)	6.4%	14.3%	47.6%	31.6%
	女性	(n=264)	9.8%	11.4%	46.6%	32.2%
	男性	(n=216)	2.3%	17.6%	49.1%	31.0%
奄美大島 4町村	総計	(n=1,728)	6.9%	12.5%	50.8%	29.9%
	女性	(n=938)	10.6%	10.8%	48.8%	29.9%
	男性	(n=782)	2.7%	14.5%	53.3%	29.7%
県調査	総計	(n=1,718)	8.6%	11.2%	68.4%	11.7%
	女性	(n=1,015)	12.1%	15.1%	62.8%	10.0%
	男性	(n=761)	3.8%	6.2%	76.0%	14.1%
内閣府調査	総計	(n=2,591)	7.4%	15.1%	76.3%	1.3%
	女性	(n=1,400)	10.3%	15.6%	72.5%	1.6%
	男性	(n=1,191)	4.0%	14.4%	80.7%	0.9%

ウ 性・年代別 (図表 5-(2)-6)

(ア) 身体的暴力

- ・「無回答」が4割を超えるのは、女性は29歳以下(77.8%)、40代(50.0%)、80歳以上(47.1%)。男性は50代(42.2%)。
- ・「何度もあった」と回答した割合が最も高いのは70代の女性(13.7%)、次いで50代の女性(8.1%)。「1、2度あった」を合わせると、それぞれ27.4%と18.9%。
- ・男性は「何度もあった」と回答した人はほとんどいないが、「1、2度あった」と回答した割合を合わせると80歳以上が23.5%、70代が22.4%。

(イ) 精神的暴力

- ・「無回答」が4割を超えるのは、女性は29歳以下(77.8%)、40代(53.3%)、50代(45.9%)、80歳以上(44.1%)、60代(42.3%)。男性は80歳以上(52.9%)、50代(46.7%)、60代(45.3%)。
- ・「何度もあった」と回答した割合が最も高いのは70代の女性(7.8%)、次いで40代の女性(6.7%)、60代の女性(6.4%)。「1、2度あった」を合わせると、それぞれ13.7%、16.7%、16.7%。
- ・男性では、「何度もあった」と回答した人はほとんどいない。「1、2度あった」を合わせると回答した割合が高いのは40代で20.9%。

(ウ) 性的暴力

- ・「無回答」が4割を超えるのは、女性は29歳以下(77.8%)、40代(56.7%)、50代(48.6%)、60代(47.4%)、80歳以上(47.1%)、70代(41.2%)。男性は80歳以上(47.1%)、50代(46.7%)、60代(45.3%)、70代(41.4%)。
- ・「何度もあった」と回答した割合が最も高いのは40代の女性(6.7%)、次いで60代の女性(6.4%)。「1、2度あった」と回答した割合を合わせると、それぞれ10.0%、10.2%。
- ・男性では、「何度もあった」「1、2度あった」とも回答した人はほとんどいない。

(エ) いずれかの暴力

- ・いずれかの暴力を受けた経験が「何度もあった」と回答した割合が最も高いのは70代の女性(15.7%)、次いで60代(14.1%)、50代の女性(10.8%)。「1、2度あった」を合わせると、それぞれ31.4%、21.8%、24.3%。
- ・男性では、「何度もあった」と回答した人はほとんどいないが、「1、2度あった」を合わせると回答した割合が高いのは70代(25.9%)、40代(25.0%)、80歳以上(23.5%)。

図表 5-(2)-6 配偶者や元配偶者等から暴力や嫌がらせを受けた経験【性・年代別】

	サンプル数	いずれかの暴力				身体的暴力				精神的暴力				性的暴力				
		あ 何 つ た も	あ 1 つ 、 た 2 度	か 全 つ く た な	無 回 答	あ 何 つ た も	あ 1 つ 、 た 2 度	か 全 つ く た な	無 回 答	あ 何 つ た も	あ 1 つ 、 た 2 度	か 全 つ く た な	無 回 答	あ 何 つ た も	あ 1 つ 、 た 2 度	か 全 つ く た な	無 回 答	
総計	481	31	69	229	152	21	54	235	171	16	40	218	207	11	15	236	219	
	100.0%	6.4%	14.3%	47.6%	31.6%	4.4%	11.2%	48.9%	35.6%	3.3%	8.3%	45.3%	43.0%	2.3%	3.1%	49.1%	45.5%	
性・年代別	女性	264	26	30	123	85	18	24	123	99	14	24	110	116	10	9	118	127
		100.0%	9.8%	11.4%	46.6%	32.2%	6.8%	9.1%	46.6%	37.5%	5.3%	9.1%	41.7%	43.9%	3.8%	3.4%	44.7%	48.1%
	18~29歳	9	0	0	2	7	0	0	2	7	0	0	2	7	0	0	2	7
		100.0%	0.0%	0.0%	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%	22.2%	77.8%
	30~39歳	23	1	2	16	4	1	1	17	4	1	2	12	8	0	1	13	9
		100.0%	4.3%	8.7%	69.6%	17.4%	4.3%	4.3%	73.9%	17.4%	4.3%	8.7%	52.2%	34.8%	0.0%	4.3%	56.5%	39.1%
	40~49歳	30	2	3	12	13	1	2	12	15	2	3	9	16	2	1	10	17
		100.0%	6.7%	10.0%	40.0%	43.3%	3.3%	6.7%	40.0%	50.0%	6.7%	10.0%	30.0%	53.3%	6.7%	3.3%	33.3%	56.7%
	50~59歳	37	4	5	17	11	3	4	18	12	2	5	13	17	0	1	18	18
		100.0%	10.8%	13.5%	45.9%	29.7%	8.1%	10.8%	48.6%	32.4%	5.4%	13.5%	35.1%	45.9%	0.0%	2.7%	48.6%	48.6%
	60~69歳	78	11	6	37	24	6	5	42	25	5	8	32	33	5	3	33	37
		100.0%	14.1%	7.7%	47.4%	30.8%	7.7%	6.4%	53.8%	32.1%	6.4%	10.3%	41.0%	42.3%	6.4%	3.8%	42.3%	47.4%
	70~79歳	51	8	8	23	12	7	7	18	19	4	3	26	18	3	1	26	21
		100.0%	15.7%	15.7%	45.1%	23.5%	13.7%	13.7%	35.3%	37.3%	7.8%	5.9%	51.0%	35.3%	5.9%	2.0%	51.0%	41.2%
	80歳以上	34	0	6	15	13	0	5	13	16	0	3	16	15	0	2	16	16
		100.0%	0.0%	17.6%	44.1%	38.2%	0.0%	14.7%	38.2%	47.1%	0.0%	8.8%	47.1%	44.1%	0.0%	5.9%	47.1%	47.1%
	男性	216	5	38	106	67	3	29	112	72	2	15	108	91	1	6	118	91
	100.0%	2.3%	17.6%	49.1%	31.0%	1.4%	13.4%	51.9%	33.3%	0.9%	6.9%	50.0%	42.1%	0.5%	2.8%	54.6%	42.1%	
18~29歳	3	0	0	2	1	0	0	2	1	0	0	2	1	0	0	2	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	
30~39歳	12	0	1	10	1	0	0	11	1	0	1	9	2	0	0	10	2	
	100.0%	0.0%	8.3%	83.3%	8.3%	0.0%	0.0%	91.7%	8.3%	0.0%	8.3%	75.0%	16.7%	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%	
40~49歳	24	1	5	11	7	0	2	15	7	1	4	10	9	0	1	14	9	
	100.0%	4.2%	20.8%	45.8%	29.2%	0.0%	8.3%	62.5%	29.2%	4.2%	16.7%	41.7%	37.5%	0.0%	4.2%	58.3%	37.5%	
50~59歳	45	1	6	21	17	1	5	20	19	0	2	22	21	0	2	22	21	
	100.0%	2.2%	13.3%	46.7%	37.8%	2.2%	11.1%	44.4%	42.2%	0.0%	4.4%	48.9%	46.7%	0.0%	4.4%	48.9%	46.7%	
60~69歳	53	0	9	25	19	0	6	27	20	0	3	26	24	0	1	28	24	
	100.0%	0.0%	17.0%	47.2%	35.8%	0.0%	11.3%	50.9%	37.7%	0.0%	5.7%	49.1%	45.3%	0.0%	1.9%	52.8%	45.3%	
70~79歳	58	3	12	27	16	2	11	27	18	1	5	29	23	1	1	32	24	
	100.0%	5.2%	20.7%	46.6%	27.6%	3.4%	19.0%	46.6%	31.0%	1.7%	8.6%	50.0%	39.7%	1.7%	1.7%	55.2%	41.4%	
80歳以上	17	0	4	8	5	0	4	8	5	0	0	8	9	0	0	9	8	
	100.0%	0.0%	23.5%	47.1%	29.4%	0.0%	23.5%	47.1%	29.4%	0.0%	0.0%	47.1%	52.9%	0.0%	0.0%	52.9%	47.1%	

(3) 暴力を受けたときの相談先

Q14 交際相手や元交際相手、配偶者や元配偶者から暴力を受けたことがある人の打ち明けたり、相談した先（複数回答）【問 13】

- ① 家族や親戚
- ② 友人、知人
- ③ 学校関係者（教員、養護教員、スクールカウンセラーなど）
- ④ 医療関係者（医師、看護師、助産師など）
- ⑤ 民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー、カウンセリング機関、民間シェルターなど）
- ⑥ 犯罪被害者支援センターや配偶者暴力相談支援センター（県女性相談センター、県男女共同参画センター、大島支庁福祉課など）
- ⑦ 警察（連絡を含む）
- ⑧ 法務局や人権擁護委員
- ⑨ 町の相談窓口(住民相談など)
- ⑩ 他の市町村の相談窓口(婦人相談員など)
- ⑪ 上記 6～10 以外の公的な機関
- ⑫ その他
- ⑬ どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)

ア 総計（図表 5-(3)-1）

- ・ Q12 又は 13 で暴力や嫌がらせを受けた経験があると回答した人の相談先について訊いたところ、「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」と回答した割合(38.9%)が最も高く、次いで「友人、知人」(25.4%)、「家族や親戚」(21.4%)。
- ・ 町の相談窓口にご相談したと回答した人はいなかった。

イ 性別、性・年代別（図表 5-(3)-1,2）

- ・ 男性では、「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」と回答した割合(43.1%)が最も高く、次いで「家族や親戚」と「友人、知人」(ともに 17.6%)。
- ・ 女性では、「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」と回答した割合(35.1%)が最も高く、次いで「友人、知人」(31.1%)、「家族や親戚」(24.3%)。
- ・ 女性では、80 歳以上、30 代、60 代が「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」と回答した割合が高い(57.1%、42.9%、35.0%)。一方、40 代は「友人、知人」と「家族や親戚」に相談したと回答した割合がともに 62.5%、50 代と 70 代は「友人、知人」に相談したと回答した割合が 41.7%と 35.3%。
- ・ 男性では、40 代が「友人、知人」に相談したと回答した割合が 57.1%、「家族や親戚」と「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」と回答した割合がともに 28.6%。その他の年代は、「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」と回答した割合が最も高い。

ウ 奄美大島 4 町村、県・内閣府調査との比較（図表 5-(3)-1）

- ・ 奄美大島 4 町村の調査と比較すると、女性の「家族や親戚」と「友人、知人」に相談したと回答した割合が低い。
- ・ 県・内閣府調査と比較すると、男女とも「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」と回答した割合は低い。

図表 5-(3)-1 暴力や嫌がらせを受けたときの相談先（複数回答）【総計、性別、奄美大島4町村、県・内閣府調査】

調査対象	性別	サンプル数	家族や親戚	友人、知人	学校関係者	医療関係者	民間の専門家や専門機関	犯罪被害者支援センターや配偶者暴力相談支援センター	警察	法務局や人権擁護委員	自町村の相談窓口	他市町村の相談窓口	その他の公的機関	その他	どこにも相談しなかった	無回答
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
瀬戸内町	今回調査	総計 (n=126)	21.4%	25.4%	0.0%	1.6%	6.3%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	38.9%	17.5%
		女性 (n=74)	24.3%	31.1%	0.0%	2.7%	9.5%	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	35.1%	13.5%
		男性 (n=51)	17.6%	17.6%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	43.1%	23.5%
奄美大島4町村	総計	(n=430)	25.3%	28.6%	1.4%	1.9%	4.7%	0.5%	4.9%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	39.8%	14.4%
	女性	(n=262)	32.1%	38.2%	0.8%	2.7%	6.5%	0.8%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	35.9%	7.6%
	男性	(n=164)	15.2%	14.0%	2.4%	0.6%	1.8%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	46.3%	24.4%
県調査	総計	(n=454)	21.8%	24.4%	0.7%	2.9%	1.8%	1.5%	2.0%	0.2%	1.5%	0.0%	0.0%	2.0%	53.1%	8.6%
	女性	(n=358)	22.1%	27.7%	0.6%	3.1%	2.0%	1.7%	2.5%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	2.0%	50.6%	8.1%
	男性	(n=92)	20.7%	12.0%	1.1%	2.2%	1.1%	1.1%	0.0%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	2.2%	63.0%	10.9%
内閣府調査	総計	(n=582)	25.3%	24.7%	0.3%	2.2%	2.9%	2.1%	2.9%	0.2%	1.2%	0.0%	0.0%	1.0%	47.4%	7.2%
	女性	(n=363)	31.1%	28.9%	0.6%	1.9%	4.1%	2.8%	4.7%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.8%	41.6%	4.7%
	男性	(n=219)	15.5%	17.8%	0.0%	2.7%	0.9%	0.9%	0.0%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%	1.4%	57.1%	11.4%

※内閣府DV調査の当該対象等者はDV被害経験者で、「犯罪被害者支援センターや配偶者暴力相談支援センター」に犯罪被害者支援センターは含まない。

図表 5-(3)-2 暴力や嫌がらせを受けたときの相談先（複数回答）【性・年代別】

性・年代別	サンプル数	家族や親戚	友人、知人	学校関係者	医療関係者	民間の専門家や専門機関	偶発犯罪被害者相談支援センターや配偶者暴力相談支援センター	警察	法務局や人権擁護委員	村の相談窓口	他の市町村の相談窓口	その他の公的機関	その他	どこにも相談しなかった	無回答	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
総計	126	21.4%	25.4%	0.0%	1.6%	6.3%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.8%	0.8%	1.6%	38.9%	17.5%	
女性	74	24.3%	31.1%	0.0%	2.7%	9.5%	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	35.1%	13.5%	
	18~29歳	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	30~39歳	7	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	14.3%	
	40~49歳	8	62.5%	62.5%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	
	50~59歳	12	25.0%	41.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%	8.3%	
	60~69歳	20	20.0%	25.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	35.0%	15.0%	
	70~79歳	17	17.6%	35.3%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	29.4%	17.6%	
	80歳以上	7	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	28.6%	
	男性	51	17.6%	17.6%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	3.9%	0.0%	0.0%	2.0%	2.0%	0.0%	43.1%	23.5%
		18~29歳	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
30~39歳		1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
40~49歳		7	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	
50~59歳		7	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	28.6%	
60~69歳		11	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	54.5%	18.2%	
70~79歳		18	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	5.6%	44.4%	22.2%	
80歳以上		4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	

6 男性の生きづらさや不便さについて

(1) 男性としての生きづらさや不便さの有無

Q15 職場や学校、家庭などの場で、「男だから」という固定観念やプレッシャーにより生きづらさや不便さを感じるものの有無【問15】
 ①頻繁に感じる ②たまに感じる ③あまり感じない ④まったく感じない

ア 総計 (図表 6-(1)-1)

- 男性に、職場や学校、家庭などの場で、「男だから」という固定観念やプレッシャーにより生きづらさや不便さを感じるかについて訊いたところ、「まったく感じない」と回答した割合は 31.8%、「あまり感じない」は 38.1%、「たまに感じる」は 23.2%、「頻繁に感じる」は 3.5%となっている。

イ 年代別、結婚の状況別、夫婦の就労状況別、職業別 (図表 6-(1)-1,2)

- 若い年代ほど「頻繁に感じる」と回答した割合が高い傾向にあり、「頻繁に感じる」と回答した割合は 29 歳以下では 21.4%、30 代は 11.8%。「たまに感じる」を合わせると、29 歳以下は 21.4%、30 代は 35.3%、40 代は 42.5%。
- 「まったく感じない」と回答した割合が高いのは、80 歳以上(44.4%)、30 代(41.2%)、70 代(35.8%)、29 歳以下(35.7%)。
- 結婚の状況別では、「頻繁に感じる」と「たまに感じる」を合わせた『感じる』と回答した割合は、「未婚」の人が最も高い(47.5%)。
- 夫婦の就労状況別で「まったく感じない」と回答した割合が最も高いのは、「自分のみ仕事がある」人(50.0%)。
- 職業別で『感じる』と回答した割合は、「非正規雇用者」が最も高い(32.2%)。
- 性別による固定的な役割分担の考え方に反対の人の方が、『感じる』と回答した割合が高い(30.0%)。

ウ 奄美大島 4 町村調査との比較 (図表 6-(1)-1)

- 奄美大島 4 町村の調査と比較すると、総計は同様の傾向にあるものの、年代別の『感じる』と回答した割合は、30 代以下は低く、40～70 代は高い。

図表 6-(1)-1 男性としての生きづらさや不便さ【総計、年代別、奄美大島 4 町村、全国調査】

瀬戸内町			頻繁に感じる	たまに感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
今回調査	18～29歳	(n=14)	21.4%	0.0%	42.9%	35.7%	0.0%
	30～39歳	(n=17)	11.8%	23.5%	23.5%	41.2%	0.0%
	40～49歳	(n=33)	6.1%	36.4%	33.3%	21.2%	3.0%
	50～59歳	(n=51)	0.0%	29.4%	39.2%	29.4%	2.0%
	60～69歳	(n=73)	1.4%	23.3%	46.6%	26.0%	2.7%
	70～79歳	(n=67)	1.5%	22.4%	32.8%	35.8%	7.5%
	80歳以上	(n=18)	0.0%	11.1%	38.9%	44.4%	5.6%
	総計	(n=289)	3.5%	23.2%	38.1%	31.8%	3.5%
奄美大島 4 町村	18～29歳	(n=64)	7.8%	25.0%	32.8%	29.7%	4.7%
	30～39歳	(n=90)	5.6%	38.9%	33.3%	22.2%	0.0%
	40～49歳	(n=141)	7.1%	31.2%	38.3%	20.6%	2.8%
	50～59歳	(n=193)	2.1%	25.9%	40.4%	26.9%	4.7%
	60～69歳	(n=269)	1.9%	18.2%	44.2%	31.6%	4.1%
	70～79歳	(n=270)	0.7%	17.0%	40.7%	34.1%	7.4%
	80歳以上	(n=128)	1.6%	13.3%	28.9%	38.3%	18.0%
	総計	(n=1,199)	2.9%	22.0%	38.4%	30.6%	6.0%
民間 全国調査	～19歳		50%	50%	0%	0%	0%
	20～29歳		17%	36%	19%	27%	0%
	30～39歳		23%	29%	30%	18%	0%
	40～49歳		25%	31%	31%	13%	0%
	50～59歳		2%	39%	44%	15%	0%
	60歳～		8%	30%	27%	35%	0%
	総計	(n=309)	17%	34%	27%	22%	0%

※全国調査は、「男性が職場や学校、家庭で感じる生きづらさに関する調査」(一般社団法人 Lean in Tokyo 2019 年)

図表 6-(1)-2 男性としての生きづらさや不便さ【結婚の状況別、夫婦の就労状況別、職業別、固定的性別役割分担意識別】

		ル サ 数 ン ブ	感 頻 じ 繁 る に	感 た じ ま る に	い 感 あ じ ま な り	な く ま い 感 つ じ た	無 回 答
結 婚 の 状 況	結婚している(事実婚を含む)	190 100.0%	5 2.6%	36 18.9%	76 40.0%	66 34.7%	7 3.7%
	離別・死別	26 100.0%	0 0.0%	4 15.4%	13 50.0%	6 23.1%	3 11.5%
	未婚	59 100.0%	4 6.8%	24 40.7%	17 28.8%	14 23.7%	0 0.0%
夫 婦 の 就 労 状 況	どちらも仕事がある	92 100.0%	4 4.3%	23 25.0%	36 39.1%	27 29.3%	2 2.2%
	自分のみ仕事がある	38 100.0%	0 0.0%	5 13.2%	14 36.8%	19 50.0%	0 0.0%
	配偶者のみ仕事がある	8 100.0%	0 0.0%	2 25.0%	3 37.5%	3 37.5%	0 0.0%
	どちらも仕事がない	34 100.0%	1 2.9%	6 17.6%	15 44.1%	8 23.5%	4 11.8%
職 業 別	正規雇用者	108 100.0%	6 5.6%	24 22.2%	45 41.7%	32 29.6%	1 0.9%
	非正規雇用者	31 100.0%	1 3.2%	9 29.0%	14 45.2%	7 22.6%	0 0.0%
	自営業者	43 100.0%	0 0.0%	11 25.6%	8 18.6%	22 51.2%	2 4.7%
	無職	84 100.0%	2 2.4%	20 23.8%	33 39.3%	22 26.2%	7 8.3%
担 別 固 意 役 定 識 割 的 別 分 性	賛成	97 100.0%	1 1.0%	19 19.6%	38 39.2%	34 35.1%	5 5.2%
	反対	190 100.0%	9 4.7%	48 25.3%	72 37.9%	56 29.5%	5 2.6%

(2) 男性として生きづらさや不便さを感じる事

Q16 Q15 で生きづらさや不便さを「頻繁に感じる」又は「たまに感じる」と回答した人が、そう感じる事（最大3つまで）【問 16(1)】	
①デートで、男性がお金を多く負担したり女性をリードすべきという風潮	『デートでの金銭的負担や女性をリード』
②男性は定年までフルタイムの正社員で働くべきという考え	『定年まで正社員』
③力仕事や危険な仕事は男の仕事という考え	『力仕事や危険な仕事』
④高収入でなければならないというプレッシャー	『高収入』
⑤「一家の大黒柱」でいなければならないというプレッシャー	『一家の大黒柱』
⑥男性は弱音を吐いたり、悩みを打ち明けることは恥ずかしいと考え	『弱音を吐いたり悩みを打ち明けられない』
⑦職場で出世したり、活躍しなければならないというプレッシャー	『職場での出世や活躍』
⑧職場や地域活動等でリーダーは男性という考え	『職場や地域でのリーダー』
⑨働きながらも、家事や育児、介護など家庭の事をすることが求められること	『働きながら家庭のことも求められる』
⑩仕事中心の生活で、家事や育児、介護など家庭のことに十分関われないこと	『仕事中心で家庭のことに関われない』
⑪家庭のことに関わりにくくする周囲の意識（家庭のことは女性の仕事という意識など）や環境（男性用トイレにおむつ交換台がないなど）	『家庭のことに関わりにくい環境』
⑫その他	

ア 総計 (図表 6-(2)-1)

- Q15 で職場や学校、家庭などの場で、「男だから」という固定観念やプレッシャーにより生きづらさや不便さを「頻繁に感じる」又は「たまに感じる」（『感じる』）と回答した男性に、そう感じることを3つまで訊いたところ、『力仕事や危険な仕事』と回答した割合が最も高く(35.1%)、次いで『定年まで正社員』(23.4%)、『弱音を吐いたり悩みを打ち明けられない』(20.8%)となっている。

イ 奄美大島4町村・民間調査との比較 (図表 6-(2)-1)

- 奄美大島4町村の調査と比較すると、ほとんどの項目で回答した割合が高く、特に『定年まで正社員』『職場で出世や活躍』『弱音を吐いたり悩みを打ち明けられない』が7ポイント前後上回っている。
- 民間の全国調査と比較すると、『力仕事や危険な仕事』と回答した割合は高いが、『デートでの金銭的負担や女性をリード』『一家の大黒柱』『高収入』『弱音を吐いたり悩みを打ち明けられない』『定年まで正社員』と回答した割合は低くなっている。

図表 6-(2)-1 男性として生きづらさや不便さを感じる事（3つまでの複数回答）【総計、奄美大島4町村、全国調査】

	今回調査	奄美大島4町村	民間全国調査
	(n=77)	(n=299)	(n=240)
デートでの金銭的負担や女性をリード	9.1%	5.7%	30.4%
定年まで正社員	23.4%	16.1%	29.6%
力仕事や危険な仕事	35.1%	31.1%	32.1%
高収入	14.3%	10.0%	25.4%
一家の大黒柱	11.7%	15.7%	27.5%
弱音を吐いたり悩みを打ち明けられない	20.8%	14.0%	27.1%
職場での出世や活躍	15.6%	8.7%	…
職場や地域でのリーダー	15.6%	15.1%	…
働きながら家庭のことも求められる	11.7%	8.7%	9.6%
仕事中心で家庭のことに関われない	10.4%	8.4%	7.1%
家庭のことに関わりにくい環境	6.5%	3.7%	3.8%
その他	0.0%	3.0%	…
無回答	3.9%	5.0%	1.7%

※各項目選択者数÷Q15①②（ただし、全国調査は③を含む。）

※全国調査は、「男性が職場や学校、家庭で感じる生きづらさに関する調査」（一般社団法人 Lean in Tokyo 2019年）

ウ 年代別 (図表 6-(2)-2)

- 年代別では、30代と50代以上で『力仕事や危険な仕事』と回答した割合が高く、30～60代では『定年まで正社員』、50代では『弱音を吐いたり悩みを打ち明けられない』、60代では『高収入』と『職場や地域でのリーダー』、70代では『一家の大黒柱』と『デートでの金銭的負担や女性をリード』と回答した割合が高い。

Ⅱ 結婚の状況別、夫婦の就労状況別、職業別 (図表 6-(2)-2)

- 結婚の状況別では、「離別・死別」の人は『高収入』(75.0%)、「未婚」の人は『力仕事や危険な仕事』(46.4%)、「結婚している」人は『定年まで正社員』(34.1%)と回答した割合が高い。
- 夫婦の就労状況別では、「どちらも仕事がある」人は、『定年まで正社員』と回答した割合(44.4%)が最も高くなっている。
- 職業別では、いずれの職業でも『力仕事や危険な仕事』と回答した割合は高いが、その他に「正規雇用者」は『定年まで正社員』(36.7%)、「自営業者」は『定年まで正社員』と『職場や地域でのリーダー』と回答した割合(ともに 27.3%)も高くなっている。

図表 6-(2)-2 男性として生きづらさや不便さを感じる事(複数回答)【年代別、結婚の状況別、夫婦の就労状況別、職業別】

	サンプル数	子育ての金銭的負担	定年まで正社員	力仕事や危険な仕事	高収入	一家の大黒柱	を打ち明けられない悩み	職場での出世や活躍	職場や地域でのリーダー	働きながら家庭のこ	仕事に関われない家庭のこ	家庭のことに関わり	その他	無回答
総計	77	7	18	27	11	9	16	12	12	9	8	5	0	3
	-	9.1%	23.4%	35.1%	14.3%	11.7%	20.8%	15.6%	15.6%	11.7%	10.4%	6.5%	0.0%	3.9%
年代別	18~29歳	3	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
		-	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30~39歳	6	0	2	3	1	0	2	2	0	1	0	1	0
		-	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
	40~49歳	14	1	4	2	0	2	3	2	2	1	2	1	0
		-	7.1%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	21.4%	14.3%	14.3%	7.1%	14.3%	7.1%	0.0%
	50~59歳	15	1	5	5	2	0	6	1	2	2	1	3	0
	-	6.7%	33.3%	33.3%	13.3%	0.0%	40.0%	6.7%	13.3%	13.3%	6.7%	20.0%	0.0%	
60~69歳	18	0	6	7	5	3	0	3	5	4	4	0	0	
	-	0.0%	33.3%	38.9%	27.8%	16.7%	0.0%	16.7%	27.8%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	
70~79歳	16	4	0	6	2	4	3	2	2	1	1	0	0	
	-	25.0%	0.0%	37.5%	12.5%	25.0%	18.8%	12.5%	12.5%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%	
80歳以上	2	1	1	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	
	-	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
結婚の状況	結婚している(事実婚を含む)	41	4	14	11	4	2	7	7	7	3	4	2	1
		-	9.8%	34.1%	26.8%	9.8%	4.9%	17.1%	17.1%	17.1%	7.3%	9.8%	4.9%	0.0%
	離別・死別	4	0	1	1	3	0	1	0	0	1	0	1	0
	-	0.0%	25.0%	25.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	
未婚	28	3	3	13	4	6	7	3	5	4	3	2	0	
	-	10.7%	10.7%	46.4%	14.3%	21.4%	25.0%	10.7%	17.9%	14.3%	10.7%	7.1%	0.0%	
夫婦の就労状況	どちらも仕事がある	27	0	12	5	4	0	6	4	4	1	2	1	1
		-	0.0%	44.4%	18.5%	14.8%	0.0%	22.2%	14.8%	14.8%	3.7%	7.4%	3.7%	0.0%
	自分のみ仕事がある	5	1	0	2	0	0	0	1	2	1	1	0	0
		-	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
配偶者のみ仕事がある	2	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	
	-	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
どちらも仕事がない	7	2	1	4	0	2	1	1	1	0	1	0	0	
	-	28.6%	14.3%	57.1%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	
職業別	正規雇用者	30	0	11	7	4	0	7	5	4	3	2	0	1
		-	0.0%	36.7%	23.3%	13.3%	0.0%	23.3%	16.7%	13.3%	10.0%	6.7%	0.0%	
	非正規雇用者	10	2	1	4	2	2	1	1	1	0	2	0	2
		-	20.0%	10.0%	40.0%	20.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	20.0%	0.0%
自営業者	11	1	3	3	2	1	2	1	3	2	2	0	0	
	-	9.1%	27.3%	27.3%	18.2%	9.1%	18.2%	9.1%	27.3%	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%	
無職	22	4	2	11	3	5	5	2	4	3	3	1	0	
	-	18.2%	9.1%	50.0%	13.6%	22.7%	22.7%	9.1%	18.2%	13.6%	13.6%	4.5%	0.0%	

(3) 男性として生きづらさや不便さを感じたエピソード

Q17 男性として「生きづらさ」や「不便さ」を感じた具体的なエピソード【問 16(2)】

- まだまだ島の人の考え方が古い。保守的である。(何かチャレンジしようとしても無理だ、できないがまず出てくる。) 島愛が強いので固執しやすい。(40代男性)
- 特別何かあるわけではないが、周囲の無言の圧力を感じる。(50代男性)
- 年齢が年齢だけに、今の世の中についていけない。(70代男性)
- 病気になった時(70代男性)
- 男性は率先して物事に取り組むべきという雰囲気(20代男性)

7 生活上の困難について

(1) 相談窓口に必要な配慮

Q18 性別に起因する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などに求める配慮（複数回答）【問 14】

①DV やストーカー、セクシュアルハラスメント、性暴力など性別に起因する暴力に関する専門相談員がいる	『ジェンダーに起因する暴力の専門相談員』
②メールによる相談ができる	『メールで相談可能』
③チャット、SNS（フェイスブックやツイッター、ラインなど）による相談ができる	『チャットや SNS で相談可能』
④電話による相談ができる	『電話による相談可能』
⑤通話料が無料	『通話料が無料』
⑥24 時間相談ができる	『24 時間相談』
⑦医療費、カウンセリング費用、弁護士費用などが無料で支援が受けられる	『医療、カウンセリング、弁護士の費用が無料』
⑧相談内容に応じて関連する他の相談窓口との連携が行われる	『関連相談窓口で連携して対応』
⑨同性の相談員がいる	『同性の相談員』
⑩匿名で相談ができる	『匿名で相談可能』
⑪弁護士など法的知識のある相談員がいる	『法的知識のある相談員』
⑫臨床心理士や公認心理士など、心理専門職の相談員がいる	『心理専門職の相談員』
⑬その他	

ア 総計（図表 7-(1)-1）

- 性別に起因する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などで配慮してもらいたいことについて訊いたところ、『ジェンダーに起因する暴力の専門相談員』(41.2%)、『匿名で相談可能』(40.5%)、『24 時間相談』(38.6%)、『電話による相談可能』(34.9%)、『医療、カウンセリング、弁護士の費用が無料』(34.9%)の順に回答した割合が高い。

イ 性別（図表 7-(1)-1）

- 性別でみると、ほとんどの項目について女性の方が男性より回答した割合が高い。
- 女性では、『匿名で相談可能』(43.6%)、『24 時間相談』(42.3%)、『ジェンダーに起因する暴力の専門相談員』(41.6%)、『医療、カウンセリング、弁護士の費用が無料』(36.7%)、『電話による相談可能』(34.8%)の順に回答した割合が高くなっている。
- 男性では、『ジェンダーに起因する暴力の専門相談員』(42.2%)、『匿名で相談可能』(38.8%)、『電話による相談可能』(36.7%)、『24 時間相談』(36.0%)の順に回答した割合が高くなっている。
- 男女で差が大きいのは『同性の相談員』で、女性が 11.6 ポイント高くなっている。

ウ 奄美大島 4 町村・内閣府調査との比較（図表 7-(1)-1）

- 奄美大島 4 町村の調査と比較すると、ほぼ同様の傾向であるが、ほとんどの項目（13 項目中 10 項目）で回答した割合が高くなっている。
- 内閣府調査と比較すると、全ての項目で回答した割合が低くなっている。

図表 7-(1)-1 性別に起因する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などでも求める配慮（複数回答）

【総計、性別、奄美大島4町村、内閣府調査】

	今回調査			奄美大島4町村			内閣府調査		
	総計	女性	男性	総計	女性	男性	総計	女性	男性
	(n=607)	(n=305)	(n=289)	(n=2,147)	(n=1,109)	(n=990)	(n=2,847)	(n=1,534)	(n=1,313)
ジェンダーに起因する暴力の専門相談員	41.2%	41.6%	42.2%	38.8%	40.0%	39.1%	43.7%	44.3%	43.0%
メールで相談可能	22.9%	24.3%	22.5%	24.1%	25.6%	23.5%	34.5%	31.8%	37.7%
チャットやSNSで相談可能	17.5%	20.3%	15.2%	18.7%	20.5%	17.4%	30.7%	28.7%	33.0%
電話による相談可能	34.9%	34.8%	36.7%	40.3%	40.6%	41.8%	50.2%	47.8%	52.9%
通話料が無料	28.8%	32.5%	26.3%	25.9%	29.7%	22.8%	55.2%	58.0%	51.9%
24時間相談	38.6%	42.3%	36.0%	33.0%	37.2%	29.5%	65.8%	66.1%	65.3%
医療、カウンセリング、弁護士の費用が無料	34.9%	36.7%	34.6%	31.1%	33.2%	30.3%	60.4%	63.0%	57.5%
関連相談窓口で連携して対応	24.4%	27.9%	21.8%	21.3%	23.4%	19.7%	37.0%	39.2%	34.4%
同性の相談員	26.9%	33.1%	21.5%	24.0%	28.1%	20.2%	49.4%	51.3%	47.2%
匿名で相談可能	40.5%	43.6%	38.8%	38.4%	41.6%	36.3%	57.3%	59.3%	54.8%
法的知識のある相談員	30.3%	30.5%	31.1%	27.9%	28.0%	28.8%	50.3%	48.9%	51.9%
心理専門職の相談員	26.5%	29.8%	23.9%	22.5%	26.1%	19.3%	37.8%	40.5%	34.6%
その他	1.2%	1.3%	1.0%	1.1%	1.2%	1.1%	-	-	-
無回答	17.0%	15.1%	15.9%	17.3%	15.8%	15.9%	4.3%	3.9%	4.6%

※各項目回答者数÷調査回答者数

Ⅰ 年代別（図表 7-(1)-2）

- 30～40 代の回答した割合が高く、『ジェンダーに起因する暴力の専門相談員』と回答した割合は 40 代、『24 時間相談』は 40 代以下、『匿名で相談可能』は 30～40 代、『同性の相談員』は 30 代、『医療、カウンセリング、弁護士の費用が無料』は 29 歳以下と 40 代で 5 割を超えている。
- 『チャットや SNS で相談可能』と『通話料が無料』は 40 代以下、『メールで相談可能』と『法的知識のある相談員』、『心理専門職の相談員』は 30～50 代が、他の年代に比べて回答した割合が高い。

Ⅱ 配偶者等からの暴力を受けた経験のある人（図表 7-(1)-2）

- 配偶者等からの暴力を受けたことがあると Q13 で回答した人は、『ジェンダーに起因する暴力の専門相談員』と回答した割合が高い（50.0%）。

図表 7-(1)-2 性別に起因する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などに求める配慮（複数回答）

【年代別、暴力を受けた経験のある者】

瀬戸内町	n	ジェンダーに起因する暴力の専門相談員	メールで相談可能	チャットや SNS で相談可能	電話による相談可能	通話料が無料	24時間相談	医療、カウンセリング、弁護士の費用が無料	関連相談窓口で連携して対応	同性の相談員	匿名で相談可能	法的知識のある相談員	心理専門職の相談員	その他	無回答	M.T
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総計	607	41.2	22.9	17.5	34.9	28.8	38.6	34.9	24.4	26.9	40.5	30.3	26.5	1.2	17.0	385.5
[性別]																
女性	305	41.6	24.3	20.3	34.8	32.5	42.3	36.7	27.9	33.1	43.6	30.5	29.8	1.3	15.1	413.8
男性	289	42.2	22.5	15.2	36.7	26.3	36.0	34.6	21.8	21.5	38.8	31.1	23.9	1.0	15.9	367.5
[年代]																
18～29歳	30	40.0	23.3	36.7	30.0	46.7	60.0	60.0	23.3	23.3	36.7	13.3	30.0	3.3	3.3	430.0
30～39歳	48	41.7	37.5	41.7	22.9	47.9	58.3	37.5	25.0	54.2	66.7	37.5	39.6	0.0	2.1	512.5
40～49歳	73	52.1	35.6	35.6	41.1	41.1	58.9	56.2	32.9	45.2	60.3	47.9	32.9	2.7	9.6	552.1
50～59歳	92	48.9	39.1	22.8	43.5	35.9	39.1	40.2	29.3	31.5	46.7	39.1	43.5	0.0	5.4	465.2
60～69歳	153	45.8	19.6	10.5	35.9	19.0	34.0	32.0	28.8	21.6	34.0	28.8	21.6	1.3	10.5	343.1
70～79歳	122	28.7	8.2	4.1	34.4	23.0	27.9	24.6	14.8	14.8	28.7	20.5	14.8	1.6	32.8	278.7
80歳以上	52	34.6	11.5	3.8	28.8	19.2	23.1	13.5	15.4	15.4	30.8	17.3	11.5	0.0	36.5	261.5
[DV経験]																
あり	100	50.0	25.0	13.0	29.0	29.0	29.0	22.0	20.0	22.0	39.0	21.0	22.0	3.0	21.0	345.0

※「DV経験あり」とは、Q13でDVを受けた経験があると回答した人

(2) 生活上の不安や困難

Q19 最近の生活で、次のアからキについて感じる不安や困難の程度【問 17】

ア 生活に困窮している	『生活の困窮』
イ 十分働けていない、働く場や機会がない	『働く場や機会』
ウ 健康に不安を感じる	『健康』
エ 近くに頼れる人がいないなど、自分は孤独であると感じる	『孤独』
オ 困っていても、支援が受けられないと感じる	『困ったときの支援』
カ 家族との関係が難しいと感じる	『家族関係』
キ 災害や事件・事故の不安がある	『災害や事件・事故』
①とても感じる	
②ある程度感じる（どちらかというと感じる）	
③あまり感じない（どちらかというと感じない）	
④まったく感じない	

ア 総計・性別（図表 7-(2)-1～7）

- 生活の場面での 7 項目の様々な不安や困難について訊いたところ、『健康』への不安を「とても感じる」と回答した割合が最も高く (16.8%)、次いで『災害や事件・事故』(13.7%)、『生活の困窮』(9.1%)。それぞれ、「ある程度感じる」を合わせると、61.6%、50.3%、33.5%となっている。
- 不安や困難を「まったく感じない」と回答した割合が高い項目は、『家族関係』(32.9%)。
- 困難や不安を「とても感じる」と「ある程度感じる」と回答した割合は、『働く場や機会』(男性が女性より 0.2 ポイント高い。)以外で男性より女性のほうが高く、特に『健康』で男女の差が大きい(6.7 ポイント)。

イ 前回調査との比較（図表 7-(2)-1～3）

- 前回調査と比較すると、『生活の困窮』、『働く場や機会』、『健康』についての不安や困難を感じる割合が大きく上昇している。

ウ 奄美大島 4 町村調査との比較（図表 7-(2)-1～7）

- 奄美大島 4 町村の調査と比較すると、不安や困難を「とても感じる」と回答した割合は、『孤独』以外では男女とも高い。
- 「とても感じる」と「ある程度感じる」を合わせると回答した割合は、総計では『災害や事件・事故』(女性が『災害や事件・事故』で、男性が『生活の困窮』)で低い以外は、本町の方が高い。

エ 生活の困窮（図表 7-(2)-1、8）

(ア) 性別、性・年代別

- 生活の困窮の不安・困難について、「とても感じる」と回答した割合は女性は 9.8%、男性は 8.7%で、「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると女性は 36.4%、男性は 31.5%。
- 性・年代別では、「とても感じる」と回答した割合が最も高いのは、29 歳以下の男性(14.3%)、次いで 70 代と 40 代の女性(12.7%、12.5%)。「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると 50 代と 60 代の女性(53.6%、40.1%)が高くなっている。

(イ) 性・世帯の状況別、性・結婚の状況別

- 世帯の状況別では、「とても感じる」と回答した割合は「単身世帯」の男性が高く(20.0%)、「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると 47.4%。「単身世帯」の女性でも高くなっている。(40.6%)。
- 結婚の状況別では、「とても感じる」と回答した割合は男女とも「離別・死別」が高く(女性 17.5%、男性 23.1%)、「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると、女性は 48.8%、男性はそれぞれ 50.0%。

オ 働く場や機会（図表 7-(2)-2、8）

(ア) 性別、性・年代別

- 働く場や機会がないことの不安・困難について、男女とも「とても感じる」と回答した割合は約 8%、「ある程度感じる」を合わせると約 23%で男女の差はみられない。
- 性・年代別では、「とても感じる」と回答した人の割合が最も高いのは、40 代の男性で 18.2%。「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると 36.4%で、次いで高いのが 70 代の男性で 29.8%。

(イ) 性・世帯の状況別、性・結婚の状況別

- 世帯の状況別では、「単身世帯」の男性が「とても感じる」と回答した割合が高く(18.5%)、「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると 47.4%。

せると30.8%。

- ・結婚の状況別では、「未婚」の男性が「とても感じる」と回答した割合(23.7%)が最も高い。「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると35.6%で、「離別・死別」の男女も高い(女性28.8%、男性30.7%)。

カ 健康 (図表7-(2)-3、9)

(ア) 性別、性・年代別

- ・健康への不安について、「まったく感じない」と回答した割合は男女とも低く、女性が7.9%、男性が11.1%。
- ・「とても感じる」と回答した割合は女性が18.0%、男性が16.3%、「ある程度感じる」を合わせると女性は65.9%、男性は59.2%。
- ・性・年代別では、年代が高いほど不安を感じる割合が高い傾向にあり、「とても感じる」と回答した割合が高いのは、50代と70代の女性(26.8%、23.6%)、70代の男性(25.4%)。「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると、60代以上の女性と70代以上の男性で7割以上。

(イ) 性・世帯の状況別、性・結婚の状況別

- ・世帯の状況別で「とても感じる」と回答した割合が最も高いのは「単身世帯」の男性(27.7%)。それ以外で世帯の状況による差はほとんどみられない。
- ・結婚の状況別では、「とても感じる」と回答した割合が高いのは「離別・死別」の男女(女性25.0%、男性30.8%)で、「ある程度感じる」を合わせると、「離別・死別」の女性が78.8%と最も高い。

キ 孤独 (図表7-(2)-4、9)

(ア) 性別、性・年代別

- ・孤独への不安について、「とても感じる」と回答した割合は女性は2.6%、男性は4.8%で、「ある程度感じる」を合わせると、女性は25.2%、男性は21.8%。一方、「まったく感じない」と回答した割合は女性は25.9%、男性は24.9%。
- ・性・年代別では、「とても感じる」と回答した割合が最も高いのは40代の男性(12.1%)、次いで30代の女性(9.7%)。「ある程度感じる」を合わせると、50代の女性が39.0%で最も高い。

(イ) 性・世帯の状況別、性・結婚の状況別

- ・世帯の状況別では、「単身世帯」の男性が「とても感じる」と「ある程度感じる」と回答した割合(13.8%、24.6%)が最も高い。
- ・結婚の状況別では「離別・死別」の男性が「とても感じる」と「ある程度感じる」と回答した割合(11.5%、30.8%)が最も高い。次いで「未婚」の男性(8.5%、28.8%)。

ク 困ったときの支援 (図表7-(2)-5、10)

(ア) 性別、性・年代別

- ・困っていても、支援が受けられないことへの不安や困難について、「とても感じている」と回答した割合は、女性は8.9%、男性6.6%で、「ある程度感じる」を合わせると、女性は32.2%、男性30.8%。一方、「まったく感じない」と回答した割合が、女性が26.2%、男性が27.2%。
- ・性・年代別では、「とても感じている」と回答した割合は29歳以下の男性が最も高く(21.4%)、次いで50代の女性(14.6%)。「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると、それぞれ35.7%と48.7%で、他に80代の女性が高い(41.2%)。

(イ) 性・世帯の状況別、性・結婚の状況別

- ・世帯の状況別では、「とても感じる」と「ある程度感じる」と回答した割合が最も高いのは、「単身世帯」の男性(10.8%と36.9%)で、女性は世帯状況でほとんど差がない。
- ・結婚の状況別では、「とても感じる」と回答した割合が高いのは「未婚」の男性(11.9%)で、「ある程度感じる」を合わせると44.1%。同様に合わせて割合は「離別・死別」の男性も高く、50.0%。

ケ 家族関係 (図表7-(2)-6、10)

(ア) 性別、性・年代別

- ・家族との関係が難しいことについて、男女とも「まったく感じない」と回答した割合が3割を超えて他の項目に比べて高い。
- ・「とても感じる」と回答した割合と「ある程度感じる」と回答した割合は、それぞれ女性は6.2%と15.4%、男性は4.8%と15.6%。
- ・性・年代別で「とても感じる」と回答した割合が高いのは、30代と40代の女性(12.9%、12.5%)。「ある程度感じる」を合わせるとそれぞれ29.0%と22.5%で、70代の男性の方が高い(31.4%)。

(イ) 世帯の状況別・結婚の状況別

- ・世帯の状況別では、「とても感じる」と「ある程度感じる」と回答した割合が高いのは、「単身世帯」の男性で9.2%と21.5%。
- ・結婚の状況別で「とても感じる」と「ある程度感じる」と回答した割合が最も高いのは、「離別・死別」の男性(11.5%と42.3%)。

コ 災害や事件・事故 (図表 7-(2)-7, 11)

(ア) 性別、性・年代別

- ・ 災害や事件・事故の不安について、「とても感じる」と回答した割合が女性は 17.0%、男性は 10.4%。「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると、女性は 54.0%、男性は 48.1%。
- ・ 性・年代別では、「とても感じる」と回答した割合が高いのは、29 歳以下の男性と 50 代の女性(35.7%と 31.7%)。「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると、それぞれ 64.3%と 58.5%で、70 代の男女も高い(男性 59.7%、女性 58.1%)。

(イ) 世帯の状況別・結婚の状況別

- ・ 女性は世帯の状況でほとんど差はないが、男性では「単身世帯」で「とても感じる」と「ある程度感じる」と回答した割合が他より高くなっている。
- ・ 結婚の状況別では、「とても感じる」と回答した割合が高いのは、「離別・死別」の女性と「未婚」の男性(26.3%と 16.9%)。「ある程度感じる」を合わせると、それぞれ 61.3%と 59.3%。

図表 7-(2)-1 生活上の不安や困難 (生活の困窮) 【総計、性別、前回調査、奄美大島 4 町村】

瀬戸内町			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
今回調査	総計	(n=607)	9.1%	24.4%	40.9%	17.5%	8.2%
	女性	(n=305)	9.8%	26.6%	39.0%	17.0%	7.5%
	男性	(n=289)	8.7%	22.8%	44.3%	18.7%	5.5%
前回調査	総計	(n=281)	11.9%		88.1%		
	女性	(n=152)	12.3%		87.7%		
	男性	(n=124)	11.4%		88.6%		
奄美大島 4 町村	総計	(n=2,147)	7.7%	25.6%	42.1%	17.4%	7.2%
	女性	(n=1,109)	7.3%	28.7%	41.4%	15.6%	7.0%
	男性	(n=990)	8.2%	23.1%	44.0%	20.3%	4.3%

図表 7-(2)-2 生活上の不安や困難 (働く場や機会) 【総計、性別、前回調査、奄美大島 4 町村】

瀬戸内町			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
今回調査	総計	(n=607)	8.1%	14.3%	37.4%	24.7%	15.5%
	女性	(n=305)	8.2%	14.4%	37.7%	21.0%	18.7%
	男性	(n=289)	8.3%	14.5%	38.4%	29.8%	9.0%
前回調査	総計	(n=281)	7.4%		92.6%		
	女性	(n=152)	7.7%		92.3%		
	男性	(n=124)	7.2%		92.8%		
奄美大島 4 町村	総計	(n=2,147)	6.4%	15.6%	37.4%	26.1%	14.3%
	女性	(n=1,109)	6.3%	15.6%	37.2%	23.8%	17.0%
	男性	(n=990)	6.7%	16.1%	38.9%	29.9%	8.5%

図表 7-(2)-3 生活上の不安や困難 (健康) 【総計、性別、前回調査、奄美大島 4 町村】

瀬戸内町			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
今回調査	総計	(n=607)	16.8%	44.8%	22.1%	9.2%	7.1%
	女性	(n=305)	18.0%	47.9%	19.7%	7.9%	6.6%
	男性	(n=289)	16.3%	42.9%	25.6%	11.1%	4.2%
前回調査	総計	(n=281)	15.4%		84.6%		
	女性	(n=152)	14.5%		85.5%		
	男性	(n=124)	16.5%		83.5%		
奄美大島 4 町村	総計	(n=2,147)	15.5%	44.6%	25.4%	8.4%	6.1%
	女性	(n=1,109)	16.2%	46.5%	24.0%	7.4%	5.9%
	男性	(n=990)	14.8%	43.8%	28.1%	10.0%	3.2%

図表 7-(2)-4 生活上の不安や困難（孤独）【総計、性別、奄美大島4町村】

瀬戸内町			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
今回調査	総計	(n=607)	3.6%	19.4%	45.0%	24.9%	7.1%
	女性	(n=305)	2.6%	22.6%	42.0%	25.9%	6.9%
	男性	(n=289)	4.8%	17.0%	49.5%	24.9%	3.8%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	3.8%	17.3%	44.5%	28.1%	6.3%
	女性	(n=1,109)	3.2%	19.0%	43.8%	27.3%	6.6%
	男性	(n=990)	4.3%	16.0%	46.4%	30.3%	3.0%

図表 7-(2)-5 生活上の不安や困難（困ったときの支援）【総計、性別、奄美大島4町村】

瀬戸内町			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
今回調査	総計	(n=607)	7.6%	23.4%	32.9%	26.4%	9.7%
	女性	(n=305)	8.9%	23.3%	30.5%	26.2%	11.1%
	男性	(n=289)	6.6%	24.2%	36.7%	27.7%	4.8%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	5.8%	21.5%	34.2%	30.3%	8.2%
	女性	(n=1,109)	6.1%	20.6%	33.6%	30.5%	9.2%
	男性	(n=990)	5.7%	23.0%	36.0%	31.3%	4.0%

図表 7-(2)-6 生活上の不安や困難（家族関係）【総計、性別、奄美大島4町村】

瀬戸内町			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
今回調査	総計	(n=607)	5.4%	15.2%	36.6%	32.9%	9.9%
	女性	(n=305)	6.2%	15.4%	36.1%	32.8%	9.5%
	男性	(n=289)	4.8%	15.6%	38.1%	34.6%	6.9%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	3.8%	15.7%	36.1%	36.7%	7.7%
	女性	(n=1,109)	3.8%	16.0%	36.1%	36.7%	7.5%
	男性	(n=990)	3.8%	16.0%	37.0%	38.2%	5.1%

図表 7-(2)-7 生活上の不安や困難（災害や事件・事故）【総計、性別、奄美大島4町村】

瀬戸内町			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
今回調査	総計	(n=607)	13.7%	36.6%	32.6%	9.6%	7.6%
	女性	(n=305)	17.0%	37.0%	29.8%	7.9%	8.2%
	男性	(n=289)	10.4%	37.7%	36.7%	11.8%	3.5%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	11.6%	39.8%	31.5%	10.6%	6.5%
	女性	(n=1,109)	14.1%	43.0%	26.9%	9.6%	6.4%
	男性	(n=990)	8.9%	37.8%	37.9%	12.1%	3.3%

図表 7-(2)-8 生活上の不安や困難（生活の困窮、働く場や機会）【性・年代別、性・世帯の状況別、性・結婚の状況別】

		サンプル数	生活の困窮					働く場や機会					
			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答	とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答	
総計		607	55	148	248	106	50	49	87	227	150	94	
		100.0%	9.1%	24.4%	40.9%	17.5%	8.2%	8.1%	14.3%	37.4%	24.7%	15.5%	
性・年代別	女性	305	30	81	119	52	23	25	44	115	64	57	
		100.0%	9.8%	26.6%	39.0%	17.0%	7.5%	8.2%	14.4%	37.7%	21.0%	18.7%	
		18~29歳	16	0	2	7	5	2	0	0	7	5	4
		100.0%	0.0%	12.5%	43.8%	31.3%	12.5%	0.0%	0.0%	43.8%	31.3%	25.0%	
		30~39歳	31	1	7	15	7	1	1	5	12	12	1
		100.0%	3.2%	22.6%	48.4%	22.6%	3.2%	3.2%	16.1%	38.7%	38.7%	3.2%	
		40~49歳	40	5	8	15	10	2	3	7	16	12	2
		100.0%	12.5%	20.0%	37.5%	25.0%	5.0%	7.5%	17.5%	40.0%	30.0%	5.0%	
	50~59歳	41	3	19	16	3	0	4	6	25	4	2	
	100.0%	7.3%	46.3%	39.0%	7.3%	0.0%	9.8%	14.6%	61.0%	9.8%	4.9%		
	60~69歳	80	9	23	30	9	9	7	14	32	14	13	
	100.0%	11.3%	28.8%	37.5%	11.3%	11.3%	8.8%	17.5%	40.0%	17.5%	16.3%		
	70~79歳	55	7	11	25	8	4	5	8	18	8	16	
	100.0%	12.7%	20.0%	45.5%	14.5%	7.3%	9.1%	14.5%	32.7%	14.5%	29.1%		
	80歳以上	34	3	8	10	9	4	4	4	3	6	17	
	100.0%	8.8%	23.5%	29.4%	26.5%	11.8%	11.8%	11.8%	8.8%	17.6%	50.0%		
男性	289	25	66	128	54	16	24	42	111	86	26		
	100.0%	8.7%	22.8%	44.3%	18.7%	5.5%	8.3%	14.5%	38.4%	29.8%	9.0%		
	18~29歳	14	2	3	7	2	0	1	2	2	9		
	100.0%	14.3%	21.4%	50.0%	14.3%	0.0%	7.1%	14.3%	14.3%	64.3%	0.0%		
	30~39歳	17	1	4	6	6	0	1	1	4	11		
	100.0%	5.9%	23.5%	35.3%	35.3%	0.0%	5.9%	5.9%	23.5%	64.7%	0.0%		
	40~49歳	33	3	7	19	3	1	6	6	14	6	1	
	100.0%	9.1%	21.2%	57.6%	9.1%	3.0%	18.2%	18.2%	42.4%	18.2%	3.0%		
50~59歳	51	4	10	27	9	1	1	3	27	18	2		
100.0%	7.8%	19.6%	52.9%	17.6%	2.0%	2.0%	5.9%	52.9%	35.3%	3.9%			
60~69歳	73	8	19	32	12	2	8	10	36	16	3		
100.0%	11.0%	26.0%	43.8%	16.4%	2.7%	11.0%	13.7%	49.3%	21.9%	4.1%			
70~79歳	67	7	15	22	15	8	7	13	17	16	14		
100.0%	10.4%	22.4%	32.8%	22.4%	11.9%	10.4%	19.4%	25.4%	23.9%	20.9%			
80歳以上	18	0	2	10	4	2	0	3	6	5	4		
100.0%	0.0%	11.1%	55.6%	22.2%	11.1%	0.0%	16.7%	33.3%	27.8%	22.2%			
性・世帯状況別	女性	単身世帯	64	7	19	27	7	4	8	23	13	16	
		100.0%	10.9%	29.7%	42.2%	10.9%	6.3%	6.3%	12.5%	35.9%	20.3%	25.0%	
		夫婦世帯	118	10	30	48	23	7	10	16	46	24	22
		100.0%	8.5%	25.4%	40.7%	19.5%	5.9%	8.5%	13.6%	39.0%	20.3%	18.6%	
	二世帯世帯	97	9	23	37	19	9	7	15	37	22	16	
	100.0%	9.3%	23.7%	38.1%	19.6%	9.3%	7.2%	15.5%	38.1%	22.7%	16.5%		
	三世帯世帯	5	2	0	2	0	1	1	1	2	1	0	
	100.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%		
男性	単身世帯	65	13	18	26	4	4	12	24	13	8		
	100.0%	20.0%	27.7%	40.0%	6.2%	6.2%	18.5%	12.3%	36.9%	20.0%	12.3%		
	夫婦世帯	117	5	22	55	28	7	7	13	51	35	11	
	100.0%	4.3%	18.8%	47.0%	23.9%	6.0%	6.0%	11.1%	43.6%	29.9%	9.4%		
二世帯世帯	78	6	15	39	15	3	5	13	28	28	4		
100.0%	7.7%	19.2%	50.0%	19.2%	3.8%	6.4%	16.7%	35.9%	35.9%	5.1%			
三世帯世帯	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0		
100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%		
性・結婚の状況別	女性	結婚している(事実婚を含む)	184	14	44	74	37	15	15	27	65	45	32
		100.0%	7.6%	23.9%	40.2%	20.1%	8.2%	8.2%	14.7%	35.3%	24.5%	17.4%	
		離別・死別	80	14	25	27	8	6	8	15	28	8	21
	100.0%	17.5%	31.3%	33.8%	10.0%	7.5%	10.0%	18.8%	35.0%	10.0%	26.3%		
	未婚	34	0	10	17	6	1	1	2	20	9	2	
	100.0%	0.0%	29.4%	50.0%	17.6%	2.9%	2.9%	5.9%	58.8%	26.5%	5.9%		
男性	結婚している(事実婚を含む)	190	9	35	95	42	9	9	25	81	61	14	
	100.0%	4.7%	18.4%	50.0%	22.1%	4.7%	4.7%	13.2%	42.6%	32.1%	7.4%		
	離別・死別	26	6	7	10	2	1	1	7	12	2	4	
100.0%	23.1%	26.9%	38.5%	7.7%	3.8%	3.8%	26.9%	46.2%	7.7%	15.4%			
未婚	59	10	19	20	7	3	14	7	15	18	5		
100.0%	16.9%	32.2%	33.9%	11.9%	5.1%	23.7%	11.9%	25.4%	30.5%	8.5%			

図表 7-(2)-9 生活上の不安や困難（健康、孤独）【性・年代別、性・世帯の状況別、性・結婚の状況別】

		サンプル数	健康					孤独					
			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答	とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答	
総計		607 100.0%	102 16.8%	272 44.8%	134 22.1%	56 9.2%	43 7.1%	22 3.6%	118 19.4%	273 45.0%	151 24.9%	43 7.1%	
性・年代別	女性	305 100.0%	55 18.0%	146 47.9%	60 19.7%	24 7.9%	20 6.6%	8 2.6%	69 22.6%	128 42.0%	79 25.9%	21 6.9%	
		18～29歳	16 100.0%	0 0.0%	4 25.0%	7 43.8%	3 18.8%	2 12.5%	0 0.0%	3 18.8%	4 25.0%	7 43.8%	2 12.5%
		30～39歳	31 100.0%	2 6.5%	13 41.9%	9 29.0%	6 19.4%	1 3.2%	3 9.7%	5 16.1%	14 45.2%	8 25.8%	1 3.2%
		40～49歳	40 100.0%	6 15.0%	18 45.0%	9 22.5%	5 12.5%	2 5.0%	0 0.0%	8 20.0%	18 45.0%	12 30.0%	2 5.0%
		50～59歳	41 100.0%	11 26.8%	17 41.5%	10 24.4%	3 7.3%	0 0.0%	1 2.4%	15 36.6%	19 46.3%	6 14.6%	0 0.0%
		60～69歳	80 100.0%	15 18.8%	43 53.8%	11 13.8%	3 3.8%	8 10.0%	0 0.0%	19 23.8%	29 36.3%	24 30.0%	8 10.0%
		70～79歳	55 100.0%	13 23.6%	29 52.7%	6 10.9%	3 5.5%	4 7.3%	3 5.5%	11 20.0%	24 43.6%	12 21.8%	5 9.1%
		80歳以上	34 100.0%	7 20.6%	17 50.0%	7 20.6%	1 2.9%	2 5.9%	1 2.9%	7 20.6%	16 47.1%	8 23.5%	2 5.9%
	男性	289 94.8%	47 16.3%	124 42.9%	74 25.6%	32 11.1%	12 4.2%	14 4.8%	49 17.0%	143 49.5%	72 24.9%	11 3.8%	
		18～29歳	14 100.0%	1 7.1%	4 28.6%	4 28.6%	5 35.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 28.6%	2 14.3%	8 57.1%	0 0.0%
		30～39歳	17 100.0%	2 11.8%	2 11.8%	6 35.3%	7 41.2%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	8 47.1%	8 47.1%	0 0.0%
		40～49歳	33 100.0%	6 18.2%	9 27.3%	14 42.4%	3 9.1%	1 3.0%	4 12.1%	6 18.2%	16 48.5%	6 18.2%	1 3.0%
		50～59歳	51 100.0%	6 11.8%	28 54.9%	12 23.5%	4 7.8%	1 2.0%	0 0.0%	14 27.5%	24 47.1%	12 23.5%	1 2.0%
		60～69歳	73 100.0%	12 16.4%	35 47.9%	20 27.4%	3 4.1%	3 4.1%	4 5.5%	11 15.1%	46 63.0%	10 13.7%	2 2.7%
		70～79歳	67 100.0%	17 25.4%	31 46.3%	10 14.9%	5 7.5%	4 6.0%	4 6.0%	12 17.9%	27 40.3%	19 28.4%	5 7.5%
		80歳以上	18 100.0%	2 11.1%	10 55.6%	3 16.7%	2 11.1%	1 5.6%	1 5.6%	0 0.0%	12 66.7%	4 22.2%	1 5.6%
性・世帯状況別	女性	单身世帯	64 100.0%	11 17.2%	33 51.6%	11 17.2%	6 9.4%	3 4.7%	2 3.1%	16 25.0%	26 40.6%	17 26.6%	3 4.7%
		夫婦世帯	118 100.0%	23 19.5%	56 47.5%	24 20.3%	8 6.8%	7 5.9%	2 1.7%	29 24.6%	48 40.7%	31 26.3%	8 6.8%
		二世帯世帯	97 100.0%	15 15.5%	46 47.4%	20 20.6%	8 8.2%	8 8.2%	3 3.1%	19 19.6%	40 41.2%	26 26.8%	9 9.3%
		三世帯世帯	5 100.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%
	男性	单身世帯	65 100.0%	18 27.7%	26 40.0%	13 20.0%	6 9.2%	2 3.1%	9 13.8%	16 24.6%	23 35.4%	15 23.1%	2 3.1%
		夫婦世帯	117 100.0%	15 12.8%	55 47.0%	35 29.9%	8 6.8%	4 3.4%	3 2.6%	11 9.4%	70 59.8%	29 24.8%	4 3.4%
		二世帯世帯	78 100.0%	9 11.5%	35 44.9%	20 25.6%	11 14.1%	3 3.8%	2 2.6%	16 20.5%	39 50.0%	18 23.1%	3 3.8%
		三世帯世帯	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
性・結婚の状況別	女性	結婚している(事実婚を含む)	184 100.0%	32 17.4%	80 43.5%	40 21.7%	17 9.2%	15 8.2%	2 1.1%	40 21.7%	76 41.3%	50 27.2%	16 8.7%
		離別・死別	80 100.0%	20 25.0%	43 53.8%	13 16.3%	2 2.5%	2 2.5%	3 3.8%	21 26.3%	35 43.8%	18 22.5%	3 3.8%
		未婚	34 100.0%	3 8.8%	19 55.9%	6 17.6%	5 14.7%	1 2.9%	2 5.9%	7 20.6%	15 44.1%	9 26.5%	1 2.9%
	男性	結婚している(事実婚を含む)	190 100.0%	24 12.6%	85 44.7%	56 29.5%	19 10.0%	6 3.2%	6 3.2%	23 12.1%	107 56.3%	48 25.3%	6 3.2%
		離別・死別	26 100.0%	8 30.8%	9 34.6%	7 26.9%	2 7.7%	0 0.0%	3 11.5%	8 30.8%	12 46.2%	3 11.5%	0 0.0%
		未婚	59 100.0%	14 23.7%	27 45.8%	7 11.9%	9 15.3%	2 3.4%	5 8.5%	17 28.8%	19 32.2%	16 27.1%	2 3.4%

図表 7-(2)-10 生活上の不安や困難（困ったときの支援、家族関係）【性・年代別、性・世帯の状況別、性・結婚の状況別】

	サンプル数	困ったときの支援					家族関係						
		とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答	とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答		
総計	607	46	142	200	160	59	33	92	222	200	60		
	100.0%	7.6%	23.4%	32.9%	26.4%	9.7%	5.4%	15.2%	36.6%	32.9%	9.9%		
性・年代別	女性	305	27	71	93	80	34	19	47	110	100	29	
		100.0%	8.9%	23.3%	30.5%	26.2%	11.1%	6.2%	15.4%	36.1%	32.8%	9.5%	
	18～29歳	16	0	2	6	6	2	0	3	5	6	2	
		100.0%	0.0%	12.5%	37.5%	37.5%	12.5%	0.0%	18.8%	31.3%	37.5%	12.5%	
	30～39歳	31	2	7	11	9	2	4	5	7	14	1	
		100.0%	6.5%	22.6%	35.5%	29.0%	6.5%	12.9%	16.1%	22.6%	45.2%	3.2%	
	40～49歳	40	2	12	14	10	2	5	4	11	18	2	
		100.0%	5.0%	30.0%	35.0%	25.0%	5.0%	12.5%	10.0%	27.5%	45.0%	5.0%	
	50～59歳	41	6	14	12	6	3	3	8	18	10	2	
		100.0%	14.6%	34.1%	29.3%	14.6%	7.3%	7.3%	19.5%	43.9%	24.4%	4.9%	
	60～69歳	80	9	15	26	21	9	3	10	36	22	9	
		100.0%	11.3%	18.8%	32.5%	26.3%	11.3%	3.8%	12.5%	45.0%	27.5%	11.3%	
	70～79歳	55	3	10	18	15	9	2	9	20	20	4	
		100.0%	5.5%	18.2%	32.7%	27.3%	16.4%	3.6%	16.4%	36.4%	36.4%	7.3%	
	80歳以上	34	4	10	4	10	6	1	7	10	9	7	
		100.0%	11.8%	29.4%	11.8%	29.4%	17.6%	2.9%	20.6%	29.4%	26.5%	20.6%	
	男性	289	19	70	106	80	14	14	45	110	100	20	
	100.0%	6.6%	24.2%	36.7%	27.7%	4.8%	4.8%	15.6%	38.1%	34.6%	6.9%		
18～29歳	14	3	2	3	6	0	0	3	7	4	0		
	100.0%	21.4%	14.3%	21.4%	42.9%	0.0%	0.0%	21.4%	50.0%	28.6%	0.0%		
30～39歳	17	1	3	3	10	0	1	2	3	11	0		
	100.0%	5.9%	17.6%	17.6%	58.8%	0.0%	5.9%	11.8%	17.6%	64.7%	0.0%		
40～49歳	33	2	8	13	9	1	2	4	8	18	1		
	100.0%	6.1%	24.2%	39.4%	27.3%	3.0%	6.1%	12.1%	24.2%	54.5%	3.0%		
50～59歳	51	2	16	21	10	2	2	8	20	19	2		
	100.0%	3.9%	31.4%	41.2%	19.6%	3.9%	3.9%	15.7%	39.2%	37.3%	3.9%		
60～69歳	73	3	18	33	17	2	2	11	33	22	5		
	100.0%	4.1%	24.7%	45.2%	23.3%	2.7%	2.7%	15.1%	45.2%	30.1%	6.8%		
70～79歳	67	5	18	24	14	6	4	17	23	15	8		
	100.0%	7.5%	26.9%	35.8%	20.9%	9.0%	6.0%	25.4%	34.3%	22.4%	11.9%		
80歳以上	18	1	1	6	8	2	1	0	8	6	3		
	100.0%	5.6%	5.6%	33.3%	44.4%	11.1%	5.6%	0.0%	44.4%	33.3%	16.7%		
性・世帯状況別	女性	単身世帯	64	4	17	20	17	6	2	8	23	24	7
			100.0%	6.3%	26.6%	31.3%	26.6%	9.4%	3.1%	12.5%	35.9%	37.5%	10.9%
		夫婦世帯	118	11	25	38	32	12	8	18	45	38	9
			100.0%	9.3%	21.2%	32.2%	27.1%	10.2%	6.8%	15.3%	38.1%	32.2%	7.6%
	二世帯世帯	97	8	22	27	27	13	5	16	36	30	10	
		100.0%	8.2%	22.7%	27.8%	27.8%	13.4%	5.2%	16.5%	37.1%	30.9%	10.3%	
	三世帯世帯	5	1	1	2	1	0	0	0	2	2	1	
		100.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	
男性	単身世帯	65	7	24	21	11	2	6	14	21	16	8	
		100.0%	10.8%	36.9%	32.3%	16.9%	3.1%	9.2%	21.5%	32.3%	24.6%	12.3%	
	夫婦世帯	117	4	20	53	34	6	3	10	51	47	6	
		100.0%	3.4%	17.1%	45.3%	29.1%	5.1%	2.6%	8.5%	43.6%	40.2%	5.1%	
二世帯世帯	78	6	18	24	26	4	3	14	30	27	4		
	100.0%	7.7%	23.1%	30.8%	33.3%	5.1%	3.8%	17.9%	38.5%	34.6%	5.1%		
三世帯世帯	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0		
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%		
性・結婚の状況別	女性	結婚している(事実婚を含む)	184	16	38	56	52	22	14	29	65	59	17
			100.0%	8.7%	20.7%	30.4%	28.3%	12.0%	7.6%	15.8%	35.3%	32.1%	9.2%
		離別・死別	80	8	23	23	17	9	3	14	31	24	8
		100.0%	10.0%	28.8%	28.8%	21.3%	11.3%	3.8%	17.5%	38.8%	30.0%	10.0%	
	未婚	34	2	9	12	9	2	2	3	11	16	2	
		100.0%	5.9%	26.5%	35.3%	26.5%	5.9%	5.9%	8.8%	32.4%	47.1%	5.9%	
男性	結婚している(事実婚を含む)	190	9	37	77	57	10	5	21	77	78	9	
		100.0%	4.7%	19.5%	40.5%	30.0%	5.3%	2.6%	11.1%	40.5%	41.1%	4.7%	
	離別・死別	26	2	11	9	4	0	3	11	3	6	3	
	100.0%	7.7%	42.3%	34.6%	15.4%	0.0%	11.5%	42.3%	11.5%	23.1%	11.5%		
未婚	59	7	19	17	14	2	4	12	25	12	6		
	100.0%	11.9%	32.2%	28.8%	23.7%	3.4%	6.8%	20.3%	42.4%	20.3%	10.2%		

図表 7-(2)-11 生活上の不安や困難（災害や事件・事故）【性・年代別、性・世帯の状況別、性・結婚の状況別】

		サンプル数	災害や事件・事故					
			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答	
総計		607 100.0%	83 13.7%	222 36.6%	198 32.6%	58 9.6%	46 7.6%	
性・年代別	女性	305 100.0%	52 17.0%	113 37.0%	91 29.8%	24 7.9%	25 8.2%	
		18～29歳	16 100.0%	2 12.5%	3 18.8%	9 56.3%	0 0.0%	2 12.5%
		30～39歳	31 100.0%	4 12.9%	15 48.4%	7 22.6%	4 12.9%	1 3.2%
		40～49歳	40 100.0%	3 7.5%	17 42.5%	12 30.0%	6 15.0%	2 5.0%
		50～59歳	41 100.0%	13 31.7%	11 26.8%	14 34.1%	3 7.3%	0 0.0%
		60～69歳	80 100.0%	16 20.0%	26 32.5%	24 30.0%	5 6.3%	9 11.3%
		70～79歳	55 100.0%	8 14.5%	24 43.6%	15 27.3%	3 5.5%	5 9.1%
		80歳以上	34 100.0%	6 17.6%	13 38.2%	8 23.5%	3 8.8%	4 11.8%
	男性	289 94.8%	30 10.4%	109 37.7%	106 36.7%	34 11.8%	10 3.5%	
		18～29歳	14 100.0%	5 35.7%	4 28.6%	3 21.4%	2 14.3%	0 0.0%
		30～39歳	17 100.0%	1 5.9%	6 35.3%	4 23.5%	6 35.3%	0 0.0%
		40～49歳	33 100.0%	3 9.1%	10 30.3%	16 48.5%	3 9.1%	1 3.0%
		50～59歳	51 100.0%	3 5.9%	17 33.3%	23 45.1%	7 13.7%	1 2.0%
		60～69歳	73 100.0%	3 4.1%	28 38.4%	33 45.2%	6 8.2%	3 4.1%
		70～79歳	67 100.0%	10 14.9%	30 44.8%	17 25.4%	7 10.4%	3 4.5%
		80歳以上	18 100.0%	2 11.1%	8 44.4%	4 22.2%	3 16.7%	1 5.6%
性・世帯状況別	女性	単身世帯	64 100.0%	9 14.1%	27 42.2%	18 28.1%	5 7.8%	5 7.8%
		夫婦世帯	118 100.0%	19 16.1%	44 37.3%	41 34.7%	6 5.1%	8 6.8%
		二世帯世帯	97 100.0%	16 16.5%	30 30.9%	28 28.9%	13 13.4%	10 10.3%
		三世帯世帯	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	単身世帯	65 100.0%	11 16.9%	26 40.0%	22 33.8%	4 6.2%	2 3.1%
		夫婦世帯	117 100.0%	11 9.4%	44 37.6%	45 38.5%	14 12.0%	3 2.6%
		二世帯世帯	78 100.0%	6 7.7%	25 32.1%	31 39.7%	13 16.7%	3 3.8%
		三世帯世帯	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
性・結婚の状況別	女性	結婚している(事実婚を含む)	184 100.0%	25 13.6%	70 38.0%	57 31.0%	16 8.7%	16 8.7%
		離別・死別	80 100.0%	21 26.3%	28 35.0%	19 23.8%	5 6.3%	7 8.8%
		未婚	34 100.0%	5 14.7%	11 32.4%	14 41.2%	3 8.8%	1 2.9%
	男性	結婚している(事実婚を含む)	190 100.0%	16 8.4%	68 35.8%	75 39.5%	26 13.7%	5 2.6%
		離別・死別	26 100.0%	2 7.7%	9 34.6%	11 42.3%	2 7.7%	2 7.7%
		未婚	59 100.0%	10 16.9%	25 42.4%	16 27.1%	6 10.2%	2 3.4%

8 役場の男女共同参画施策について

男女共同参画社会を実現するために役場が力を入れていくべきこと

Q20 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、役場が力を入れていくべきだと思うこと（複数回答）【問 18】	
①地域が男女平等になるよう制度や事業の見直しを行う	『制度や事業の見直し』
②役場の管理職や審議会委員など、政策決定の場に女性を積極的に登用する	『政策決定の場への女性登用』
③民間企業や団体などの管理職に女性の登用が進むように支援する	『企業等管理職への女性登用』
④女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する	『相談の場の提供』
⑤女性が少ない分野への女性の参加、男性が少ない分野への男性の参加を支援する	『男女のそれぞれ少ない分野への参加支援』
⑥保育の施設やサービス、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する	『保育・介護サービスの充実』
⑦子どもたちへの男女平等や人権についての学習機会を充実する	『子どもの学習機会の充実』
⑧労働時間の短縮や在宅勤務制度の導入など働き方の見直しを事業所に働きかける	『働き方の見直しの事業所への働きかけ』
⑨仕事と育児・介護等との両立支援制度の充実を事業所に働きかける	『仕事と育児・介護等の両立支援制度の事業所への働きかけ』
⑩育児や介護などで一旦仕事を辞めた人の再就職や就労に困難を抱えている人の就職を支援する	『再就職や就労支援』
⑪住民への男女平等や人権についての生涯学習や啓発活動を進める	『住民への生涯学習・啓発活動』
⑫女性に対する暴力を根絶するための取組を進める	『女性に対する暴力根絶の取組』
⑬男女共同参画に関する行政・教育関係者の研修を充実する	『行政・教育関係者の研修充実』
⑭その他	

ア 総計（図表 8-1）

- 男女共同参画社会の実現のために役場が力を入れるべきことについて訊いたところ、『保育・介護サービスの充実』と回答した割合が最も高く(52.9%)、次いで『政策決定の場への女性登用』(45.1%)、『再就職や就労支援』(43.0%)、『仕事と育児・介護等の両立支援制度の事業所への働きかけ』(35.7%)。

イ 性別、性・年代別（図表 8-1,2）

- 女性は『保育・介護サービスの充実』(59.3%)と『仕事と育児・介護等の両立支援制度の事業所への働きかけ』(40.0%)を回答した割合が男性より高いが、それら以外ほとんどの項目で男性の方が回答した割合が高い。
- 29歳以下では、男女とも『働き方の見直しの事業所への働きかけ』と回答した割合(女性43.8%、男性57.1%)が高く、男性は『相談の場の提供』も高い(50.0%)。
- 40代以下と60代の女性、80代の男女では、『保育・介護サービスの充実』と回答した割合が6割を超えている。
- 40～50代の男女と80歳以上の男性では、『再就職や就労支援』と回答した割合が4割を超え、40代の女性と80歳以上の男性が特に高い(57.5%と55.6%)。
- 80歳以上の男性は、その他にも『企業等管理職への女性の登用』、『住民への生涯学習・啓発活動』、『行政・教育関係者の研修充実』を回答した割合が他の年代より高い。(38.9%、44.4%、38.9%)
- 30～40代の女性では、『仕事と育児・介護等の両立支援制度の事業所への働きかけ』と回答した割合が5割を超えている。
- 40代と60代の女性、70代の男性では、『政策決定の場への女性登用』で5割を超えている。
- 40代の女性はほとんどの項目でどの年代より回答した割合が高く、役場への期待が大きい傾向がみられる。

ウ 奄美大島4町村・県・内閣府調査との比較（図表 8-1）

- 奄美大島4町村の調査と比較すると、総計ではすべての項目で回答した割合が高い。特に、『政策決定の場への女性登用』が女性では9.9ポイント高い。
- 県調査と比較すると、選択項目が異なり、「3つ以内で選択する」となっているため単純に比較はできないが、本町の方が『保育・介護サービスの充実』、『再就職や就労支援』を回答した割合が大きく上回り、『子どもの学習機会の充実』が下回っている。
- 内閣府調査の共通した項目と比較すると、『政策決定の場への女性登用』以外の項目で回答した割合が低い。特に、『仕事と育児・介護等の両立支援制度の事業所への働きかけ』、『働き方の見直しの事業所への働きかけ』及び『再就職や就労支援』の差が大きい。

工 職業別・中学生以下の子どもの有無別（図表 8-2）

- ・ 職業別で見ると、非正規雇用者の女性は、『保育・介護サービスの充実』と回答した人の割合が64.4%、『仕事と育児・介護等の両立支援制度の事業所への働きかけ』、『再就職や就労支援』及び『政策決定の場への女性登用』も5割を超えるなど、役場への期待が大きい傾向がみられる。
- ・ 「中学校以下の子どもがいる」人は、「いない」人比べて総じて回答した割合が低い。

図表 8-1 男女共同参画社会を実現するために役場が力を入れていくべきこと（複数回答）

【総計、性別、奄美大島4町村、県・内閣府調査】

	今回調査			奄美大島4町村			県調査			内閣府調査		
	総計	女性	男性	総計	女性	男性	総計	女性	男性	総計	女性	男性
	(n=607)	(n=305)	(n=289)	(n=2,147)	(n=1,109)	(n=990)	(n=2,094)	(n=1,200)	(n=875)	(n=2,847)	(n=1,534)	(n=1,313)
制度や事業の見直し	32.6%	28.5%	38.4%	32.1%	30.3%	35.5%	47.9%	46.8%	49.1%
政策決定の場への女性登用	45.1%	44.3%	48.1%	36.7%	34.4%	40.8%	6.6%	4.4%	6.1%	44.9%	45.8%	43.7%
企業等管理職への女性登用	27.7%	24.6%	31.8%	23.5%	21.6%	26.4%	38.6%	37.3%	39.6%
相談の場の提供	21.4%	21.6%	22.1%	21.1%	20.6%	22.3%	26.6%	27.6%	25.4%
男女のそれぞれ少ない分野への参加支援	30.0%	30.2%	30.8%	28.1%	28.5%	28.7%	30.4%	32.5%	28.0%
保育・介護サービスの充実	52.9%	59.3%	48.4%	47.6%	51.2%	45.3%	25.0%	32.1%	30.0%	59.3%	64.6%	53.0%
子どもの学習機会の充実	30.8%	31.8%	31.1%	28.5%	28.4%	29.7%	51.0%	43.0%	49.4%
働き方の見直しの事業所への働きかけ	26.0%	25.6%	27.7%	24.9%	25.2%	25.5%	29.4%	32.8%	33.9%	50.2%	50.3%	50.1%
仕事と育児・介護等の両立支援制度の事業所への働きかけ	35.7%	40.0%	32.9%	33.2%	36.7%	30.5%				63.5%	66.6%	59.9%
再就職や就労支援	43.0%	45.6%	42.2%	38.8%	40.8%	38.0%	6.8%	6.8%	8.3%	62.7%	65.3%	59.3%
住民への生涯学習・啓発活動	22.7%	23.0%	23.5%	20.3%	20.0%	21.5%	12.9%	12.1%	15.1%	25.5%	24.6%	26.6%
女性に対する暴力根絶の取組	15.3%	13.8%	17.6%	13.6%	13.1%	14.6%	17.3%	15.3%	18.5%	28.5%	28.9%	28.0%
行政・教育関係者の研修充実	26.0%	24.9%	28.4%	22.0%	21.7%	23.1%
その他	0.7%	1.0%	0.3%	1.1%	0.8%	1.4%
無回答	8.1%	7.5%	5.2%	10.1%	9.9%	7.1%	18.1%	15.8%	18.6%	1.1%	1.1%	1.0%

※県及び内閣府の調査では選択項目がないものがある。

※県調査では、県が力を入れていくべきことを訊いている。その調査での「女性の就業支援」は「再就職や就労支援」と読み替え、「無回答」には「特になし」「わからない」を含む。

※内閣府調査では、行政が力を入れていくべきことを訊いている。その調査での「女性の少ない分野への進出支援」は「男女のそれぞれ少ない分野の参加支援」、「住民の学習機会」は「住民への生涯学習・啓発活動」、「育児や介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援」は「再就職や就労支援」にそれぞれ読み替える。

図表 8-2 男女共同参画社会を実現するために役場が力を入れていくべきこと（複数回答）

〔性・年代別、性・職業別、中学生以下の子どもの有無別〕

	サンプル数	制度や事業の見直し	政策決定の場への女性登用	企業等管理職への女性登用	相談の場の提供	男女のそれぞれ少ない分野への参加支援	保育・介護サービスの充実	子どもの学習機会の充実	働きかき方の見直しの事業所への働きかけ	仕事と育児・介護等の両立支援	再就職や就労支援	住民への生涯学習・啓発活動	女性に対する暴力根絶の取組	行政・教育関係者の研修充実	その他	無回答		
総計	607	198 32.6%	274 45.1%	168 27.7%	130 21.4%	182 30.0%	321 52.9%	187 30.8%	158 26.0%	217 35.7%	261 43.0%	138 22.7%	93 15.3%	158 26.0%	4 0.7%	49 8.1%		
性・年代別	女性	305	87 28.5%	135 44.3%	75 24.6%	66 21.6%	92 30.2%	181 59.3%	97 31.8%	78 25.6%	122 40.0%	139 45.6%	70 23.0%	42 13.8%	76 24.9%	3 1.0%	23 7.5%	
	18~29歳	16	6 37.5%	6 37.5%	3 18.8%	4 25.0%	4 25.0%	10 62.5%	6 37.5%	7 43.8%	6 37.5%	6 37.5%	3 18.8%	2 12.5%	2 12.5%	0 0.0%	2 12.5%	
	30~39歳	31	10 32.3%	13 41.9%	10 32.3%	6 19.4%	12 38.7%	19 61.3%	10 32.3%	9 29.0%	17 54.8%	13 41.9%	7 22.6%	3 9.7%	6 19.4%	0 0.0%	1 3.2%	
	40~49歳	40	15 37.5%	23 57.5%	16 40.0%	11 27.5%	19 47.5%	24 60.0%	19 47.5%	16 40.0%	22 55.0%	23 57.5%	10 25.0%	14 35.0%	14 35.0%	1 2.5%	1 2.5%	
	50~59歳	41	16 39.0%	16 39.0%	11 26.8%	9 22.0%	15 36.6%	23 56.1%	10 24.4%	11 26.8%	20 48.8%	20 48.8%	11 26.8%	5 12.2%	12 29.3%	1 2.4%	2 4.9%	
	60~69歳	80	17 21.3%	43 53.8%	17 21.3%	15 18.8%	21 26.3%	53 66.3%	26 32.5%	20 25.0%	32 40.0%	34 42.5%	19 23.8%	11 13.8%	19 23.8%	0 0.0%	3 3.8%	
	70~79歳	55	15 27.3%	20 36.4%	8 14.5%	16 29.1%	14 25.5%	26 47.3%	15 27.3%	10 18.2%	13 23.6%	24 43.6%	11 20.0%	4 7.3%	14 25.5%	0 0.0%	8 14.5%	
	80歳以上	34	5 14.7%	12 35.3%	9 26.5%	3 8.8%	7 20.6%	21 61.8%	8 23.5%	4 11.8%	9 26.5%	13 38.2%	8 23.5%	2 5.9%	8 23.5%	1 2.9%	4 11.8%	
	男性	289	111 36.4%	139 45.6%	92 30.2%	64 21.0%	89 29.2%	140 45.9%	90 29.5%	80 26.2%	95 31.1%	122 40.0%	68 22.3%	51 16.7%	82 26.9%	1 0.3%	15 4.9%	
	18~29歳	14	5 35.7%	2 14.3%	1 7.1%	7 50.0%	3 21.4%	7 50.0%	2 14.3%	8 57.1%	3 21.4%	6 42.9%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	
	30~39歳	17	8 47.1%	7 41.2%	6 35.3%	5 29.4%	7 41.2%	9 52.9%	2 11.8%	5 29.4%	8 47.1%	5 29.4%	5 29.4%	4 23.5%	6 35.3%	0 0.0%	0 0.0%	
	40~49歳	33	15 45.5%	14 42.4%	10 30.3%	10 30.3%	13 39.4%	12 36.4%	14 42.4%	12 36.4%	13 39.4%	15 45.5%	7 21.2%	6 18.2%	7 21.2%	0 0.0%	2 6.1%	
	50~59歳	51	19 37.3%	24 47.1%	18 35.3%	11 21.6%	12 23.5%	23 45.1%	13 25.5%	13 25.5%	18 35.3%	18 35.3%	9 17.6%	9 17.6%	9 17.6%	0 0.0%	2 3.9%	
	60~69歳	73	24 32.9%	36 49.3%	20 27.4%	13 17.8%	25 34.2%	35 47.9%	25 34.2%	16 21.9%	21 28.8%	26 35.6%	14 19.2%	14 19.2%	18 24.7%	0 0.0%	3 4.1%	
	70~79歳	67	25 37.3%	37 55.2%	22 32.8%	9 13.4%	20 29.9%	32 47.8%	20 29.9%	16 23.9%	21 31.3%	26 38.8%	18 26.9%	11 16.4%	26 38.8%	0 0.0%	5 7.5%	
	80歳以上	18	5 27.8%	8 44.4%	7 38.9%	3 16.7%	6 33.3%	14 77.8%	7 38.9%	3 16.7%	4 22.2%	10 55.6%	8 44.4%	2 11.1%	7 38.9%	1 5.6%	2 11.1%	
	性・職業別	女性	正規雇用者	61	22 36.1%	24 39.3%	18 29.5%	15 24.6%	24 39.3%	35 57.4%	21 34.4%	21 34.4%	26 42.6%	24 39.3%	15 24.6%	21 34.4%	2 3.3%	2 3.3%
非正規雇用者			73	25 34.2%	37 50.7%	26 35.6%	16 21.9%	26 35.6%	47 64.4%	27 37.0%	25 34.2%	40 54.8%	40 54.8%	22 30.1%	13 17.8%	20 27.4%	1 1.4%	2 2.7%
自営業者			50	14 28.0%	25 50.0%	8 16.0%	14 28.0%	13 26.0%	30 60.0%	14 28.0%	10 20.0%	21 42.0%	22 44.0%	7 14.0%	5 10.0%	10 20.0%	0 0.0%	3 6.0%
無職			103	22 21.4%	44 42.7%	21 20.4%	17 16.5%	28 27.2%	59 57.3%	33 32.0%	19 18.4%	33 32.0%	42 40.8%	24 23.3%	8 7.8%	23 22.3%	0 0.0%	12 11.7%
男性		正規雇用者	108	41 38.0%	50 46.3%	37 34.3%	28 25.9%	33 30.6%	51 47.2%	32 29.6%	34 31.5%	44 40.7%	50 46.3%	21 19.4%	20 18.5%	27 25.0%	0 0.0%	3 2.8%
		非正規雇用者	31	9 29.0%	16 51.6%	8 25.8%	10 32.3%	10 32.3%	17 54.8%	9 29.0%	11 35.5%	11 35.5%	10 32.3%	6 19.4%	7 22.6%	7 22.6%	0 0.0%	0 0.0%
		自営業者	43	20 46.5%	18 41.9%	13 30.2%	7 16.3%	16 37.2%	19 44.2%	14 32.6%	8 18.6%	15 32.6%	18 41.9%	10 23.3%	7 16.3%	11 25.6%	0 0.0%	5 11.6%
		無職	84	29 34.5%	39 46.4%	24 28.6%	14 16.7%	24 28.6%	42 50.0%	27 32.1%	19 22.6%	18 21.4%	35 41.7%	23 27.4%	14 16.7%	26 31.0%	1 1.2%	6 7.1%
中学生以下の子ども	いる	94	27 28.7%	28 29.8%	22 23.4%	15 16.0%	27 28.7%	42 44.7%	27 28.7%	19 20.2%	35 37.2%	27 28.7%	15 16.0%	12 12.8%	16 17.0%	0 0.0%	2 2.1%	
	いない	513	171 33.3%	246 48.0%	146 28.5%	115 22.4%	155 30.2%	279 54.4%	160 31.2%	139 27.1%	182 35.5%	234 45.6%	123 24.0%	81 15.8%	142 27.7%	4 0.8%	47 9.2%	

※中学生以下の子どもが「いない」は、総計からいるを削除した人数

- 「②その他」
- ・ まずはひとりひとりの固定観念を問い、学び合うことによって個人が生きやすくなるための方法を考える。(40代女性)
 - ・ 昭和時代の固定観念があり難しい。(80歳以上男性)
 - ・ 男性に対する暴力を根絶するための取組み(50代女性)

9 男女共同参画社会の実現に向けての意見・要望

Q21 男女共同参画社会の実現に向けての意見・要望【問 19】

■男女共同参画に関する考え方（意識・風潮）

- ・若い人たちは男女共同参画（男女平等）は普通・当たり前で意識していないが、昭和生まれの方々の社会通念がまだまだ崩せない。(60代女性)
- ・町民のジェンダー等に関する理解が低い。シンパシーからエンパシーへの共感ができるといいなあと思う。(50代女性)
- ・男女関係なく、自分のやりたいこと、能力を発揮できることに取り組めるようになってほしい。(30代女性)
- ・本人が選択した生き方をできていければ良いと思う。(40代男性)
- ・計画、意見を言葉にしても、女一人では無理と言われ続けながらも自営してきて理不尽な事も多々あり、結婚しているかしていないだけでいろいろな場所で信用してもらえなかったりした。現在もそんなに変わっていない様な気がする。(60代女性)
- ・理想と現在はかなりかけ離れているが、どのような人にも人権があるので、自分の周りの（自分と関わる）人との関係を良好に、互いが尊重されるよう生活したいと思う。(40代女性)
- ・この先も男女平等は無理な社会です。悲しいことです。国もできない、政治でもできないからです。女性は両立、三立、五立 etc...ボランティア、奉仕です！賃金が安い。悲しいことです。(年代不明女性)
- ・男女の地位の平等は当然だが、昨今は何かにつけて男性と女性の対立をあおる論陣を張る方が多い。また LGBT の問題をそれに絡めて問題を複雑化させて論点をずらして利を得ようともくろむ方もいる。人間は男性でも女性でも各々能力は違うので、「男性が、女性が」ではなく能力本位で物事を進めれば、ある程度問題は解決できると思う。(50代男性)
- ・何でもかんでも女性を中心に考えていくのではなく、その場その場にあった話し合いを持つこと。人の意見・要望など、いったん聞いて話し合った結果などをみんなで共有していくことが大事。(年代不明男性)
- ・男女で性の差があるのは当たり前なので、当たり前なことを当たり前にするという意識さえ持てれば良いと思う。(年代不明男性)
- ・男と女は違うようにつくられている。何でも平等はない、不平等でもない。(70代男性)
- ・男女共同参画社会はこれからの時代だとは思いますが、母親を必要としている赤ちゃんとのふれあう時間が少ない現代、これでいいのかなーと不安に思う時がある。(70代女性)
- ・仕事を男・女同じ仕事をやるのか、男女平等とは何なのか線引して教えてほしい。(70代男性)
- ・何が問題なのか分からない。(60代男性)
- ・男女問わず人格的な特性も考慮が必要(50代男性)
- ・男女共同参画社会は実現しつつあると思う。(70代男性)

■子育て・介護

- ・「海の駅」にある保育施設に、夕方や土日の保育所が休みの日に預けられたらいいのと思う。(40代女性)
- ・女性は仕事だけではなく、子どもや家族のために社会参加しなければいけないことがたくさんある。それに介護などが加わると精神的・身体的に無理が出てくる。仕事を休むと金がなくなり、生活が困窮してしまう。悩む。(50代女性)
- ・働いていなくても保育所に預けられるようにしてほしい。女性の社会進出を推進する前に、家事・育児への男性の参加を推進してほしい。1、職場での男性の育児等参加への理解向上 2、男性の家事・育児の参加 3、女性の社会進出のサポート を順に解決しないと、女性は家事・育児・仕事のトリプルワークで苦しい。(30代女性)

■職場・労働

- ・個人的には女性の出産休がキャリアに算定されないのはおかしいと思う。日本人みんなのために出産していると考えれば、幾分キャリアに算定していいと思う。(年代不明男性)
- ・あらゆる仕事において女性も同じ仕事に就けるのがいいと思う。(60代男性)
- ・奄美全体的に仕事の休みが非常に少ないように感じる。家族の時間も取りにくいと思う。まず最低でも週休2日で自身の心と身体環境を整え、家族、友人と過ごす、男女（人）を尊重し合えるかと思えます。(内地では20年前から週休2日制) (40代女性)
- ・現役時代(1990年代)、経営企画部長として男女不平等の解決に取り組んだ。社内には東大をはじめ大学卒業の女性が100人を超えていた。私の秘書の女性が社内結婚(二人とも大学卒、同期入社)して、社員教育、昇格、給与で男女の差別を具体的に話してくれたのがきっかけ。この問題の全社の実態の分析、解決を提案するために「女性フォーラム」を組織し、私がスポンサーになって活動した。活動報告を全社大会で行い、その中で最も印象的だったのは、「社長をはじめ役員意識改革が不可欠」という発言だった。その後、社員教育の平等化、昇級・給与制度の改革が始まった。(80歳以上男性)
- ・高年齢の男女も、年だから、女だからと言って家にばかりいないで外に出て働きましょう。特に仕事がないからといって何もしないではなく、社会にボランティアすると考え、一緒に仕事をしましょうと言いたい。(70代男性)
- ・身近なことでは、子どもを預けられるサポート支援があれば妻は仕事がやりたければできるが、その環境（時間や金銭面）が難しいと

ころがある。それがもっと充実したらいい。(40代男性)

- ・男女は身体、精神的傾向、能力に違いがあるのは明らかなので、男性優位の職業、または女性優位の職業に無理矢理「女（男性枠）などを設けないでほしい。性別に関係なく、その職業に対して能力や情熱のある人が就けばいいと思う。(年代不明女性)
- ・男女別なく、個人の能力に応じた仕事を行うべきであり、育児、介護、家事においても、家族・家庭内で話し合い分担すべき。また、各職場においても能力に対して評価する必要があると考える。(50代男性)
- ・男性の育休取得をもっと進めてほしい。(30代女性)
- ・法律や政策の整備、育児・介護休業など(10代男性)
- ・優秀な人材（特に女性）の採用(60代女性)

■教育・学習・啓発

- ・奄美では男性がもっと男女共同参画について学ぶべきだと思う。そのような機会を作るべき。(70代女性)
- ・学校での男女共同参画に関する教育も必要(60代男性)
- ・女性も男性も一人ひとりが大切にされるように、様々な在り方・生き方を認め合えたらうれしい。セクシュアルマイリティの方も、自己を否定せず、「あたりまえ」に生きられますように。大人がまず研修等で学んで変わること、子ども達がよりよく生きることができると思う。変わらないとあきらめるのではなく、一人ひとりがかけがえのない人生を歩めるように願っている。(40代女性)
- ・体力の差等は認め合いながら、お互いを「個」として尊重する意識を育む教育を小さいうちからしていくことが大事（基本）だと思う。その継続によって、学校や社会、家庭での男女共同の形が整っていくと思う。(60代女性)
- ・男女共同参画社会の言葉は知っていても理解できていない町民が参加し、学べていけたらと思う。(年代不明女性)
- ・男女共同参画社会とはどういうことかをまず、町民に周知してもらおう。(50代女性)

■地域活動や政治・行政の場

- ・女性の社会的地位を向上させるため、また女性の意見を政治の場に反映させるため、地方自治体のみならず国の議会における議員の男女比率を原則半々とするよう世論づくりをすべきだと思う。(70代男性)
- ・女性自身の意識も高めていくことが必要ではないかと感じる。そのためにモデルとなるのが役場で、行政の中で女性登用であると思う。(60代女性)
- ・政治家や経済の場に女性を増やして欲しい。(30代女性)
- ・町議の数を男女が半々位にする。(70代男性)

■取組の方向・方策

- ・管理職や住民の男女平等や人権についての意識改革が必要。(80歳以上女性)
- ・特にお年寄りの方の意識の改革(70代男性)
- ・事務的な作業だけでなく、普段から公の場に出て普及活動してほしい。(50代男性)
- ・女性の地位向上の目標だけでなく、男性の負担軽減からの目標もあって良いのではないかと。(30代男性)
- ・男女と分けることで不平等が育つのだと思う。「個」と「個」をつなげる政策を。「個」というのは「個人」であり、「一つの場所」でもあると思う。(30代男性)
- ・男女共同参画という名称を変えてほしい(40代・50代男性)
- ・へき地診療所を入院できるようにしてほしい(70代女性)
- ・特に瀬戸内町（奄美？）では、女性はあらゆる分野の活動に参画することに遠慮したり周りを気にする傾向がまだまだある。生活においても、男尊女卑の考えは無くなっていないと感じている。自分の得意な分野で能力を発揮することができる場があることを頻りに発信して欲しい。能力のある女性はたくさんいるが、その能力を社会で活かすのはまだまだだ。(50代女性)
- ・差別しない社会の実現に向けて官民一体となって努力すべし。(70代男性)
- ・思い描いていたことが実現へ向けてスタートラインに立てたことをうれしく思う。まずは役場職員が先頭となり住民を引っ張ってほしい。そのためには全職員が部署を超えてコミュニケーションを取ることが何よりも大切ではないでしょうか。「これは管轄外だから」、「これは担当外だから」ではなく、人間として総合的な考えや思いが必要と感じる。私自身も一町民として出来る事は実行したいという思いはある。しかし、以前ボランティアをしたことに対して、ある職員に水を差すような行動をされ、非常に不愉快な気持ちになり、やる気を失ったことがあった。この町が男女共同参画を主体に元気に生き生きと生活できる町に近づける様に願っている。(60代女性)
- ・実施する人がきちんと理解する。(40代男性)
- ・一般の方の話をきちんと聞いていますか？話を聞いてただ受け流すだけ・・・役場の方、上司の方、担当の方それを議会であげて話し合いをしてきていますか？ただ風習に流されず、新時代を奄美のために瀬戸内町のために築いていきましょう。(50代女性)
- ・みんなが平等に生活できる場が必要だと思う。(年代不明男性)
- ・困った時に助けてくれる行政作り、個人情報等の漏洩措置、弱者救済(50代女性)
- ・男女共同参画社会ではなく、楽しく子育て、老後を送れる社会（島）になれば、子育て世代、シニア世代の沢山いる島になると思う。島を出た子ども達が（介護やそれ以外の仕事で）帰って来れる島にしてほしい。(50代男性)

■その他

- ・トイレは男性、女性別にご覧ください。ジェンダーレスの方は別のトイレを専用で使って欲しい。(30代女性)

- ・ Uターンの人々が、我が物顔で老人達を軽視・無視する。権利を振りかざす。住んでいた人は何も言えない。(60代女性)

■ 調査について

- ・ 41円×2600世帯 = 106,600円！！ 役場職員の皆様、10万円とは時給1,000円（東京）だとして、半月分の給料です。意味のあるアンケート結果にして下さい。(50代男性)
- ・ 男性か女性かと質問することも、デリケートな質問であること認識して欲しい。(40代女性)

**奄美大島4町村（大和村/宇検村/瀬戸内町/龍郷町）合同実施
男女共同参画に関する住民意識調査票**

問1 あなたは、次の(1)から(8)の分野及び町全体で見た場合に、男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものに○をつけてください。（それぞれ○は1つ）

(1) 家庭生活

選択肢番号	選択肢の内容
1	男性の方が非常に優遇されている
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている
3	平等である
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている
5	女性の方が非常に優遇されている

(2) 職場

選択肢番号	選択肢の内容
1	男性の方が非常に優遇されている
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている
3	平等である
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている
5	女性の方が非常に優遇されている

(3) 学校教育の場

選択肢番号	選択肢の内容
1	男性の方が非常に優遇されている
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている
3	平等である
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている
5	女性の方が非常に優遇されている

(4) 政治の場

選択肢番号	選択肢の内容
1	男性の方が非常に優遇されている
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている
3	平等である
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている
5	女性の方が非常に優遇されている

(5) 法律や制度の上

選択肢番号	選択肢の内容
1	男性の方が非常に優遇されている
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている
3	平等である
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている
5	女性の方が非常に優遇されている

(6) 社会通念・慣習・しきたりなど

選択肢番号	選択肢の内容
1	男性の方が非常に優遇されている
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている
3	平等である
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている
5	女性の方が非常に優遇されている

(7) 自治会やPTAなどの地域活動の場

選択肢番号	選択肢の内容
1	男性の方が非常に優遇されている
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている
3	平等である
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている
5	女性の方が非常に優遇されている

(8) 町全体で見た場合

選択肢番号	選択肢の内容
1	男性の方が非常に優遇されている
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている
3	平等である
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている
5	女性の方が非常に優遇されている

問2 あなたが男女の地位が不平等と感じていることがありましたら、教えてください。

--

問3 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

選択肢番号	選択肢の内容
1	女性は職業をもたないほうがよい
2	結婚するまでは職業をもつ方がよい
3	子どもができるまでは、職業をもつ方がよい
4	子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい
5	子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら職業をもつ方がよい

問4 「男性(夫)は外で働き、女性(妻)は家庭を守るべきである」といった性別を理由に役割を固定的にわける考え方について、あなたの気持ちに最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

選択肢番号	選択肢の内容	次に回答する問
1	賛成	→問5へ
2	どちらかといえば賛成	→問5へ
3	どちらかといえば反対	→問6へ
4	反対	→問6へ

問5 問4で「1. 賛成」又は「2. どちらかといえば賛成」と答えた方にお聞きします。賛成と思うのはなぜですか。(○はいくつでも)

選択肢番号	選択肢の内容
1	日本の伝統的な考え方や男女・夫婦の在り方だと思うから
2	自分の父親は外で働き、母親は家を守っているから・いたから
3	男性が外で働いた方が、多くの収入が得られると思うから
4	女性が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから
5	育児・介護・家事と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから
6	性別によって特性や能力、向き・不向きが違うと思うから
7	その他(具体的に)

問6 問4で「3. どちらかといえば反対」又は「4. 反対」と答えた方にお聞きます。反対と思うのはなぜですか（〇はいくつでも）

選択肢番号	選択肢の内容から
1	男女平等に反すると思うから
2	自分の両親は共働きだから・だったから
3	共働きする方が、多くの収入が得られると思うから
4	女性が働いて能力を発揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから
5	育児・介護・家事を男女で分担したり、職場環境や社会制度の整備などにより、女性が働き続けることは可能だと思うから
6	個性や能力、向き・不向きは性別では決まらないと思うから
7	その他（具体的に)

問7 あなたは、今後、男性が育児や介護、家事、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

選択肢番号	選択肢の内容
1	男性が育児・家事に参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2	男性が育児・家事に参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
3	夫婦や家族間のコミュニケーション（お互いの気持ちなどを言葉で伝え合い、お互いにわかり合おうとすること）をよくはかること
4	年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
5	社会の中で、男性による育児・家事などについても、その評価を高めること
6	男性による育児・家事などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること
7	労働時間の短縮や休暇制度、テレワーク（情報通信技術を活用し時間や場所の制約を受けずに、柔軟に働く形態）などの多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
8	男性の育児・家事などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと
9	男性が育児・家事などを行うための、仲間づくりやネットワークづくりをすすめること
10	その他（具体的に)

問8 次の(1)から(3)の子育ての考え方について、あなたの気持ちに最も近いものに〇をつけてください。（それぞれ〇は1つ）

(1) 「男女ともに同等に経済的自立ができるよう職業人としての教育が必要」という考え方

選択肢番号	選択肢の内容
1	賛成
2	どちらかといえば賛成
3	どちらかといえば反対
4	反対

(2) 「男女ともに炊事・掃除・洗濯など生活に必要な技術を身につけるほうがよい」という考え方

選択肢番号	選択肢の内容
1	賛成
2	どちらかといえば賛成
3	どちらかといえば反対
4	反対

(3) 「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい」という考え方

選択肢番号	選択肢の内容
1	賛成
2	どちらかといえば賛成
3	どちらかといえば反対
4	反対

問9 現在、結婚している方（事実婚を含む。）にお聞きます。あなたの家庭では、次の(1)から(4)について、どのように分担

していますか。(育児と介護・看護については、現在行っていないでも過去の経験があれば、それをもとに選んでください。)
(○は1つ)

(1) 家事

選択肢番号	選択肢の内容
1	自分と配偶者(パートナー)で半分ずつ分担
2	自分の方が配偶者(パートナー)より多く分担
3	配偶者(パートナー)の方が自分より多く分担
4	1から3以外の方法で分担(具体的に)

(2) 育児

選択肢番号	選択肢の内容
1	自分と配偶者(パートナー)で半分ずつ分担
2	自分の方が配偶者(パートナー)より多く分担
3	配偶者(パートナー)の方が自分より多く分担
4	1から3以外の方法で分担(具体的に)
5	該当しない(子どもがいないなど)

(3) 介護・看護

選択肢番号	選択肢の内容
1	自分と配偶者(パートナー)で半分ずつ分担
2	自分の方が配偶者(パートナー)より多く分担
3	配偶者(パートナー)の方が自分より多く分担
4	1から3以外の方法で分担(具体的に)
5	該当しない(介護・看護が必要な家族が配偶者以外にいないなど)

(4) 自治会やPTAなど地域活動への参加

選択肢番号	選択肢の内容
1	自分と配偶者(パートナー)で半分ずつ分担
2	自分の方が配偶者(パートナー)より多く分担
3	配偶者(パートナー)の方が自分より多く分担
4	1から3以外の方法で分担(具体的に)
5	該当しない(具体的に)

問10 雇用されて仕事をされている方にお聞きします。あなたの職場では、次のようなことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

選択肢番号	選択肢の内容
1	募集・採用の機会に男女で格差がある
2	賃金に男女で格差がある
3	女性を補助的な業務や雑用に従事させる傾向にある
4	昇進・昇格に男女で格差がある
5	管理職の登用に男女で差がある
6	女性は結婚や出産により退職する慣例や雰囲気がある
7	中高年女性には退職を促すような雰囲気がある
8	研修や教育訓練、出張・視察などの機会に男女で差がある
9	男性は育児休業や介護休業を取りにくい雰囲気がある
10	男女ともに育児休業や介護休業を取りにくい雰囲気がある
11	同じ職場に夫婦が働いている場合、どちらかは働き続けにくい雰囲気がある
12	正規雇用と非正規雇用で処遇の格差が大きい
13	その他(具体的に)
14	性別による格差はない

問11 女性が職業生活で能力を発揮するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

選択肢番号	選択肢の内容
1	長時間労働の是正やテレワークの推進など、男女がともに育児や介護、家事などを担うことができる職場環境の整備
2	休業制度や短時間勤務制度など、仕事と育児や介護の両立を支援するための施策の整備
3	保育所や放課後学童クラブ施設、介護施設など、育児や介護をサポートする施設やサービスの整備
4	経営者や管理職の意識改革
5	男性の家事や育児、介護などへの参画を促進するための意識啓発
6	女性のキャリアアップを図るための研修やネットワークづくり
7	女性の就職・再就職の支援
8	その他(具体的に)

問12 あなたはこれまでに、交際相手や元交際相手、配偶者や元配偶者(「配偶者」には、事実婚や別居中の配偶者を含む。)から次のようなことをされたことがありますか。

(1) 10代または20代の時の交際相手や元交際相手について、あてはまるものに○をつけてください。

選択肢番号	選択肢の内容	次に回答する問
1	なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなど、身体に対する暴力があった	→問13へ
2	人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの嫌がらせ、あるいは、あなたやあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫をするなど、精神的な暴力があった	→問13へ
3	嫌がっているのに性的な行為を強要するなど、性的な暴力があった	→問13へ
4	1～3のいずれもなかった	→問14へ
5	10～20代の時に交際相手や元交際相手はいなかった	→問14へ

(2) 配偶者が現在いる方、又は過去にいた方に、お聞きします。配偶者や元配偶者について、あてはまるものに○をつけてください。

ア なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力

選択肢番号	選択肢の内容	次に回答する問
1	1、2度あった	→問13へ
2	何度もあった	→問13へ
3	まったくなかった	→問14へ

イ 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの嫌がらせ、あるいは、あなたやあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫などの精神的な暴力

選択肢番号	選択肢の内容	次に回答する問
1	1、2度あった	→問13へ
2	何度もあった	→問13へ
3	まったくなかった	→問14へ

ウ 嫌がっているのに性的な行為を強要するなどの性的な暴力

選択肢番号	選択肢の内容	次に回答する問
1	1、2度あった	→問13へ
2	何度もあった	→問13へ
3	まったくなかった	→問14へ

問13 問12の(1)で1～3のいずれかを答えた方、あるいは(2)のア～ウのいずれかで1又は2と答えた方にお聞きします。あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

選択肢番号	選択肢の内容
1	家族や親戚に相談した
2	友人、知人に相談した
3	学校関係者（教員、養護教員、スクールカウンセラーなど）に相談した
4	医療関係者（医師、看護師、助産師など）に相談した
5	民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー、カウンセリング機関、民間シェルターなど）に相談した
6	犯罪被害者支援センターや配偶者暴力相談支援センター（県女性相談センター、県男女共同参画センター、大島支庁福祉課など）に相談した
7	警察に連絡・相談した
8	法務局や人権擁護委員に相談した
9	町の相談窓口（住民相談など）に相談した
10	他の市町村の相談窓口（婦人相談員など）に相談した
11	上記6～10以外の公的な機関に相談した
12	その他（具体的に ）
13	どこ（だれ）にも相談しなかった(できなかった)

問14 すべての方にお聞きします。あなたは、性別に起因する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などで配慮してほしいと思うことは何ですか。（〇はいくつでも）

選択肢番号	選択肢の内容
1	DV（配偶者等からの暴力）やストーカー行為、セクシュアルハラスメント、性暴力など性別に起因する暴力に関する専門の相談員がいる
2	メールによる相談ができる
3	チャット（インターネットを介したリアルタイムの会話）、SNS（インターネット上で利用者同士がつながれるような場所を提供するサービスで、フェイスブックやツイッター、ラインなど）による相談ができる
4	電話による相談ができる
5	通話料が無料
6	24時間相談ができる
7	医療費、カウンセリング費用、弁護士費用などが、無料で支援が受けられる
8	相談内容に応じて、関連する他の相談窓口との連携が行われる
9	同性の相談員がいる
10	匿名で相談ができる
11	弁護士など、法的知識のある相談員がいる
12	臨床心理士や公認心理士など、心理専門職の相談員がいる
13	その他（具体的に ）

問15 男性の方にお聞きします。職場や学校、家庭などの場で、「男だから」という固定観念やプレッシャーにより生きづらさや不便さを感じることはありますか。（〇は1つ）

選択肢番号	選択肢の内容	次に回答する問
1	頻繁に感じる	→問16へ
2	たまに感じる	→問16へ
3	あまり感じない	→問17へ
4	まったく感じない	→問17へ

問16 問15で「1. 頻繁に感じる」又は「2. たまに感じる」と答えた方にお聞きします。

(1) どのようなことに対して「生きづらさ」や「不便さ」を感じますか。あてはまるものに最大3つまで〇をつけてください。

選択肢番号	選択肢の内容
1	デートで、男性がお金を多く負担したり女性をリードすべきという風潮
2	男性は定年までフルタイムの正社員で働くべきという考え
3	力仕事や危険な仕事は男の仕事という考え
4	高収入でなければならないというプレッシャー

5	「一家の大黒柱」でいなければならないというプレッシャー
6	男性は弱音を吐いたり、悩みを打ち明けることは恥ずかしいという考え
7	職場で出世したり、活躍しなければならないというプレッシャー
8	職場や地域活動等でリーダーは男性という考え
9	働きながらも、家事や育児、介護など家庭のことをすることが求められること
10	仕事中心の生活で、家事や育児、介護など家庭のことに十分関われないこと
11	家庭のことに関わりにくくする周囲の意識（家庭のことは女性の仕事という意識など）や環境（男性用トイレにおむつ交換台がないなど）
12	その他（具体的に)

(2) 「生きづらさ」や「不便さ」の具体的なエピソードがありましたら、教えてください。

問17 あなたの最近の生活で、次の(1)~(7)について感じるがありますか。あてはまるものに○をつけてください。（それぞれ○は1つ）

(1) 生活に困窮している

選択肢番号	選択肢の内容
1	とても感じる
2	ある程度感じる
3	あまり感じない
4	まったく感じない

(2) 十分に働けていない、働く場や機会がない

選択肢番号	選択肢の内容
1	とても感じる
2	ある程度感じる
3	あまり感じない
4	まったく感じない

(3) 健康に不安を感じる

選択肢番号	選択肢の内容
1	とても感じる
2	ある程度感じる
3	あまり感じない
4	まったく感じない

(4) 近くに頼れる人がいないなど、自分は孤独であると感じる

選択肢番号	選択肢の内容
1	とても感じる
2	ある程度感じる
3	あまり感じない
4	まったく感じない

(5) 困っていても、支援が受けられないと感じる

選択肢番号	選択肢の内容
1	非常にそうである
2	どちらかというそうである
3	どちらかというそうではない
4	そうではない

(6) 家族との関係が難しいと感じる

選択肢番号	選択肢の内容
-------	--------

1	とても感じる
2	ある程度感じる
3	あまり感じない
4	まったく感じない

(7) 災害や事件・事故の不安がある

選択肢番号	選択肢の内容
1	とても感じる
2	ある程度感じる
3	あまり感じない
4	まったく感じない

問18 あなたは「男女共同参画社会」(※)を実現するために、今後、役場はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

(※)「男女共同参画社会」とは、誰もが互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会

選択肢番号	選択肢の内容
1	地域が男女平等になるよう制度や事業の見直しを行う
2	役場の管理職や審議会委員など、政策決定の場に女性を積極的に登用する
3	民間企業や団体などの管理職に女性の登用が進むように支援する
4	女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する
5	女性が少ない分野への女性の参加、男性が少ない分野への男性の参加を支援する
6	保育の施設やサービス、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する
7	子どもたちへの男女平等や人権についての学習機会を充実する
8	労働時間の短縮や在宅勤務制度の導入など働き方の見直しを事業所に働きかける
9	仕事と育児・介護などとの両立支援制度の充実を事業所に働きかける
10	育児や介護などで一旦仕事を辞めた人の再就職や就労に困難を抱えている人の就職を支援する
11	住民への男女平等や人権についての生涯学習や啓発活動を進める
12	女性に対する暴力を根絶するための取組を進める
13	男女共同参画に関する行政・教育関係者の研修を充実する
14	その他(具体的に)

問19 男女共同参画社会の実現に向けて、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

町民の皆様からご回答いただいたものを統計的に集計・分析するために、あなたご自身のことをおうかがいします。

F1 あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

選択肢番号	選択肢の内容
1	女性
2	男性
3	()

F2 あなたの年齢は、2023(令和5)年7月1日現在で満何歳ですか。(〇は1つ)

選択肢番号	選択肢の内容
1	18~19歳

2	20～29歳
3	30～39歳
4	40～49歳
5	50～59歳
6	60～69歳
7	70～79歳
8	80歳以上

F3 あなたのお仕事は、次のどれに当たりますか（○は1つ）

選択肢番号	選択肢の内容
1	役員、正規の社員・職員・従業員
2	期間従業員や契約社員、派遣社員を含む非正規の職員・社員・従業員
3	自分で、または共同で事業を営んでいる自営業主、自由業
4	家族従業者・家族が営んでいる事業を手伝っている者
5	主婦・主夫
6	学生
7	無職
8	その他（具体的に ）

F4 あなたは結婚していますか（○は1つ）

選択肢番号	選択肢の内容	次に回答する問
1	結婚している	→F5へ
2	婚姻届を出していないが、事実上の婚姻関係にある	→F5へ
3	離別・死別	→F6へ
4	未婚	→F6へ

F5 F4で1又は2と答えた方に、お二人の仕事の有無についてお聞きします。なお、仕事とは、F3の1～4などのことをいいます。（○は1つ）

選択肢番号	選択肢の内容
1	二人とも仕事がある
2	自分のみ仕事がある
3	配偶者(パートナー)のみ仕事がある
4	どちらも仕事がない
5	その他（具体的に ）

F6 あなたの世帯の状況は、次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

選択肢番号	選択肢の内容
1	単身世帯
2	夫婦世帯
3	二世帯世帯（親と子など）
4	三世帯世帯（親と子と孫など）
5	その他（具体的に ）

F7 お子さんがいらっしゃる方に、お子さんについてお聞きします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

選択肢番号	選択肢の内容
1	乳幼児
2	小学生（2011(平成23)年4月2日～2017(平成29)年4月1日生まれ）
3	中学生（2008(平成20)年4月2日～2011(平成23)年4月1日生まれ）
4	高校・高専生、専門学校・短大・大学生
5	上記4以外の未婚の子ども（2008(平成20)年4月1日以前生まれ）
6	上記4以外の結婚している子ども（2008(平成20)年4月1日以前生まれ）

男女共同参画に関する住民意識調査報告書

2024年3月

瀬戸内町企画課

〒894-1506 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津23

TEL 0997-72-1111

E-mail kikaku@town.setouchi.lg.jp